



# 仕分け名人 V2.3

---

クイックガイド (FAX 連携版)



## 本書の位置づけ

ダウンロードして頂いた『仕分け名人』には、下記 1, 2 のドキュメントが含まれています。また、仕分け名人アプリケーションをインストールすると、インストール先フォルダーに下記 3, 4 のドキュメントがコピーされます。この 3, 4 のドキュメントはプログラムメニューから表示することができます。以下の順にお読みください。

### 1. 「仕分け名人 アプリケーションインストールマニュアル」



⇒ 仕分け名人アプリケーションのインストール、アンインストール手順とインストールでのトラブル対応方法に関する説明書です。

### 2. 「仕分け名人 受信アプリケーションインストールマニュアル」



⇒ 仕分け名人受信アプリケーションのインストール、アンインストール手順とインストールでのトラブル対応方法に関する説明書です。

### 3. 「クイックガイド (FAX 連携版)」 (本書)



⇒ インストール完了後、複合機で仕分け名人を使用するまでの手順に関する説明書です。

### 4. 「ユーザーズガイド (FAX 連携版)」

⇒ 仕分け名人アプリケーション、仕分け名人受信アプリケーションの設定・操作の詳細な説明書です。

## 目次

1. はじめに .....	1
1.1. 用語一覧 .....	2
2. 作業手順の概要 .....	4
2.1. 仕分け名人設定アプリケーションの起動と表示 .....	4
2.2. 仕分け名人サービスの起動／停止 .....	5
3. 「仕分け名人 PC」の設定確認 .....	6
3.1. ファイアウォールの確認 .....	6
3.2. 仕分け名人アプリケーションが使用するポート番号の確認 .....	6
4. 複合機設定情報の確認 .....	8
4.1. 複合機本体の管理者パスワードを確認してください。 .....	8
4.2. 複合機本体の IP アドレスを確認してください。 .....	8
4.3. 複合機の SSL の設定を確認してください。 .....	9
4.4. 複合機の DNS の設定を確認してください .....	10
5. 仕分け名人の設定 .....	14
6. 仕分けスキャンの設定 .....	16
6.1. 仕分け名人の SSL 設定を複合機と同じ設定に変更する .....	16
6.2. 複合機登録情報設定を変更する .....	17
6.3. 使用する複合機の情報を設定 .....	18
6.4. 複合機のパネルに表示する「書類ボタン」を設定 .....	20
6.5. リネームルールの設定 .....	22
6.6. 仕分け先の設定 .....	27
6.7. お知らせ先の設定 .....	29
6.8. 複合機にアプリケーションを登録する .....	29
6.9. 複合機で仕分け名人を使ってスキャン .....	32
6.10. 仕分け名人受信アプリケーションの操作 .....	36
7. フォルダー監視の設定 .....	37
7.1. 監視フォルダーの設定 .....	37
7.2. リネームルールの設定、仕分け先設定、お知らせ設定 .....	39
7.3. フォルダー監視の確認 .....	39
8. ファクス転送の設定 .....	40
8.1. 複合機の受信ファクス転送先フォルダーを設定する .....	40

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

8.2.	アドレス帳を設定する .....	45
8.3.	使用する複合機の情報を設定 .....	47
8.4.	リネームルールの設定 .....	50
8.5.	仕分け先設定 .....	52
8.6.	お知らせ先の設定 .....	54
9.	BOX スキャンの設定 .....	55
9.1.	複合機の登録 .....	55
9.2.	BOX の設定 .....	57
9.3.	リネームルールの設定、仕分け先設定、お知らせ設定 .....	58
9.4.	BOX スキャンの確認 .....	59
10.	BOX 転送 (TSI) の設定 .....	60
10.1.	複合機の登録 .....	60
10.2.	BOX の設定 .....	62
10.3.	リネームルールの設定、仕分け先設定、お知らせ設定 .....	65
10.4.	BOX 転送 (TSI) の確認 .....	65
11.	こんな時には .....	66
11.1.	複合機にアプリケーション登録できない .....	66
11.2.	複合機のパネルに「接続エラー」と表示される .....	67
11.3.	複合機からのファイル転送に失敗する .....	68
11.4.	WINDOWS ファイアウォールの設定変更 .....	69
11.4.1.	Windows 8.1 以降のファイアウォール設定 .....	69
11.5.	仕分け名人アプリケーションが使用するポート番号を変更する .....	76
11.5.1.	KonicaMinoltaFTP.exe が使用するポート (21) の変更 .....	76
11.5.2.	ScanMfpPanelManager.exe が使用するポート (50002) の変更 .....	77
11.5.3.	SortManager.exe が使用するポート (50004) の変更 .....	78
11.6.	仕分け名人のライセンスコードを確認する .....	79
11.7.	仕分け名人サービスの起動に失敗する .....	80



## 登録商標および商標

商標について

KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、仕分け名人はコニカミノルタの登録商標です。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel および Pentium アメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標です。

その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



## 画面について

本書に記載する画面は、主に Windows 10 の画面を使用しています。装置や設定によって、本書に記載されている画面の内容と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

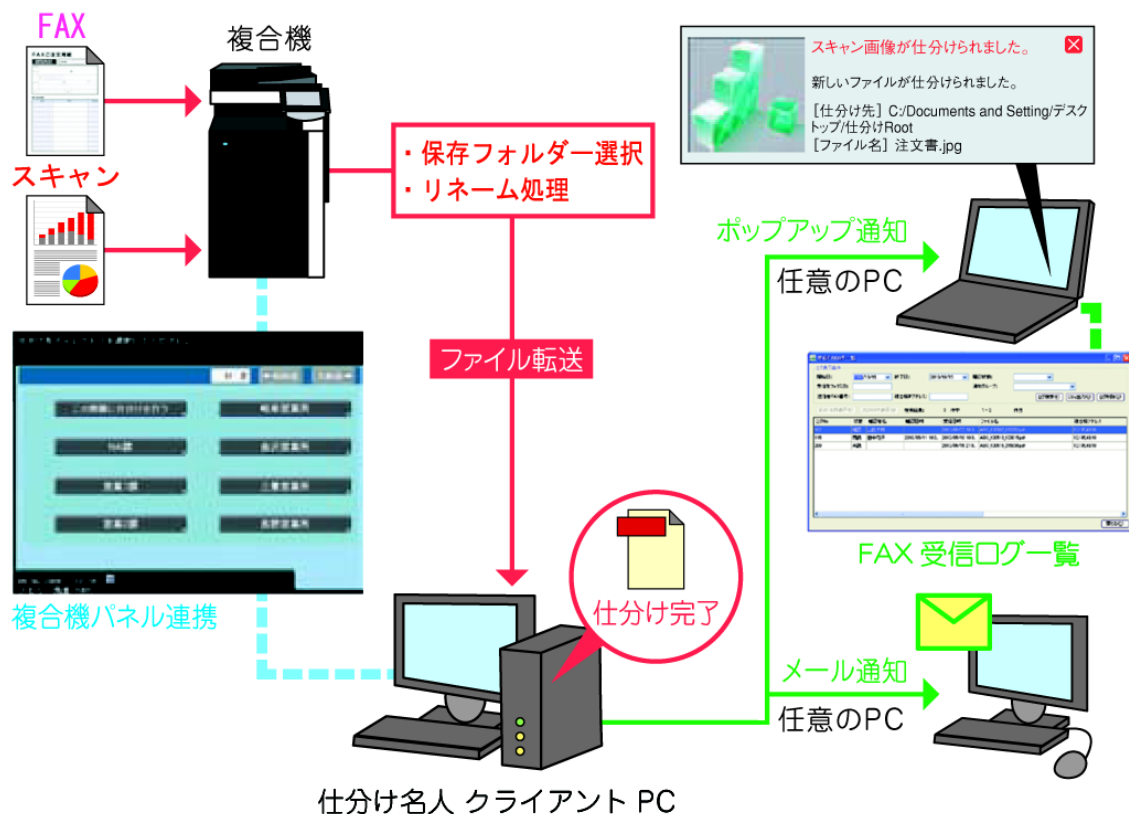


## ご注意

本書の一部または全ての内容を、無断で複製したり、多言語に翻訳したり、引用したりすることは固くお断りします。また、本書の内容に関しては将来予告無しに変更することがありますので、ご了承ください。

## 1. はじめに

本書は『仕分け名人』のインストール完了後に、複合機で仕分け名人を使うまでの手順を説明した簡易マニュアルです。下図のようなシステム構成を想定しています。



システム構成要素	説明
複合機	仕分け名人 アプリケーションがインストールされているコンピュータと接続する複合機です。この複合機でスキャンしたファイルを「仕分け名人 クライアントPC」に転送します。
仕分け名人 PC	本製品（仕分け名人 アプリケーション、仕分け名人 受信アプリケーション）をインストールするコンピュータです。このコンピュータのフォルダーを複合機のパネルに表示します。

『仕分け名人』はインストール直後、試用版として30日間のご使用が可能です。

試用期間終了後(※)は、ライセンス認証を行い、製品版として使用するようお願いいたします。

なお、「試用版」はお客様の責任においてご使用いただくものとし、サポート等につきましては行わないものといたします。詳細はソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

(※)ライセンス認証は、試用期間の終了前でも可能です。ライセンスキーを入手したら、お早目のライセンス認証をお願いいたします。

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

### 1.1. 用語一覧

No.	用語	説明
1	仕分けスキャン機能	複合機でスキャンしたファイルを指定された仕分け先のフォルダーに転送する機能です。
2	フォルダー監視機能	監視対象のフォルダーに格納されたファイルを仕分け先のフォルダーに転送する機能です。
3	ファクス転送機能	複合機で受信したファクスデータファイルを仕分け先のフォルダーに転送する機能です。
4	BOX スキャン機能	複合機で BOX に保存したデータファイルを仕分け先のフォルダーに転送する機能です。
5	BOX 転送 (TSI) 機能	複合機で受信し、TSI 情報を元に発信者の FAX 番号毎に BOX に振り分けたファクスデータファイルを仕分け先のフォルダーに転送する機能です。
6	リネーム機能	仕分け先フォルダーに転送するファイル名を、リネームルールに従って変更する機能です。またリネームルールに従って作成されたフォルダー名で、仕分け先フォルダーの下にフォルダーの作成も行います。
7	お知らせ機能	仕分け先のフォルダーにファイル転送したことを通知する機能。ポップアップメッセージやメールで通知します。
8	リネームルール	ファイル名の変更や、フォルダー作成する場合の名前のつけ方のルールです。
9	通知グループ	複数の新着通知する宛先（通知先ホスト、通知先メールアドレス）をグループ化した設定です。
10	通知先	新着通知する宛先（通知先ホスト、通知先メールアドレス）です。
11	監視フォルダー	仕分けする元のファイルを格納するフォルダーです。仕分け（SCAN）機能の場合は、複合機から転送されたスキャンファイルが格納されるフォルダーです。 仕分け（その他）機能の場合は、監視フォルダーにコピー操作等でファイルを格納すると、ファイルをリネームし、仕分け先フォルダーに転送します。
12	書類ボタン	複合機で仕分け名人にてスキャンを行う際の、スキャン読込設定（ファイルタイプ、カラー、解像度）とリネームルールを組み合わせた設定の名称です。
13	仕分け名人サービス	複合機と連携して本製品を使用するための機能や、仕分けを行う機能を提供する下記 Windows サービスアプリケーションの総称です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ BoxManagerService.exe</li> <li>・ KonicaMinoltaFTP.exe</li> <li>・ KmMonitorAppService.exe</li> </ul>

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ScanMfpPanelManager.exe</li> <li>・ SortManager.exe</li> </ul>
14	仕分けログ	仕分けスキャン、フォルダー監視仕分け機能等で行われた、仕分け処理の結果ログ情報です。
15	仕分け先フォルダー	仕分け名人アプリケーションが、ファイルの仕分けを行う対象のフォルダーの事です。
16	アプリケーション登録	複合機に、仕分け名人の情報（仕分け名人アプリケーションをインストールしたコンピュータと複合機との通信方法や SSL の設定など）を設定する操作です。仕分け名人 設定アプリケーションの「パネル連携設定画面」にて操作します。
17	アプリケーション削除	アプリケーション登録にて、複合機に設定した仕分け名人の情報を削除する操作です。仕分け名人 設定アプリケーションの「パネル連携設定画面」にて操作します。


## 2. 作業手順の概要

### 2.1. 仕分け名人設定アプリケーションの起動と表示


#### ■仕分け名人 設定アプリケーションの起動

下記手順で、プログラムメニューから起動します。

##### Windows8.1 の場合

スタート画面の左下にある  をクリックして、表示されるアプリ一覧から「仕分け名人 設定アプリケーション」のアイコンをクリックします。

##### Windows10 の場合

スタート画面の左下にある  をクリックして、表示されるアプリ一覧から「仕分け名人 設定アプリケーション」のアイコンをクリックします。

タスクトレイに下図のようなアイコンが表示されていれば、仕分け名人 設定アプリケーションは起動しています。



#### ■仕分け名人 設定アプリケーション メイン画面の表示

タスクトレイのアイコンをダブルクリックするとメイン画面が表示されます。アイコンを右クリックして表示されるメニューの「仕分け名人 設定画面表示」をクリックしても表示されます。



#### ご注意

新規にインストールした場合、初回起動時にライセンス認証を求められます。

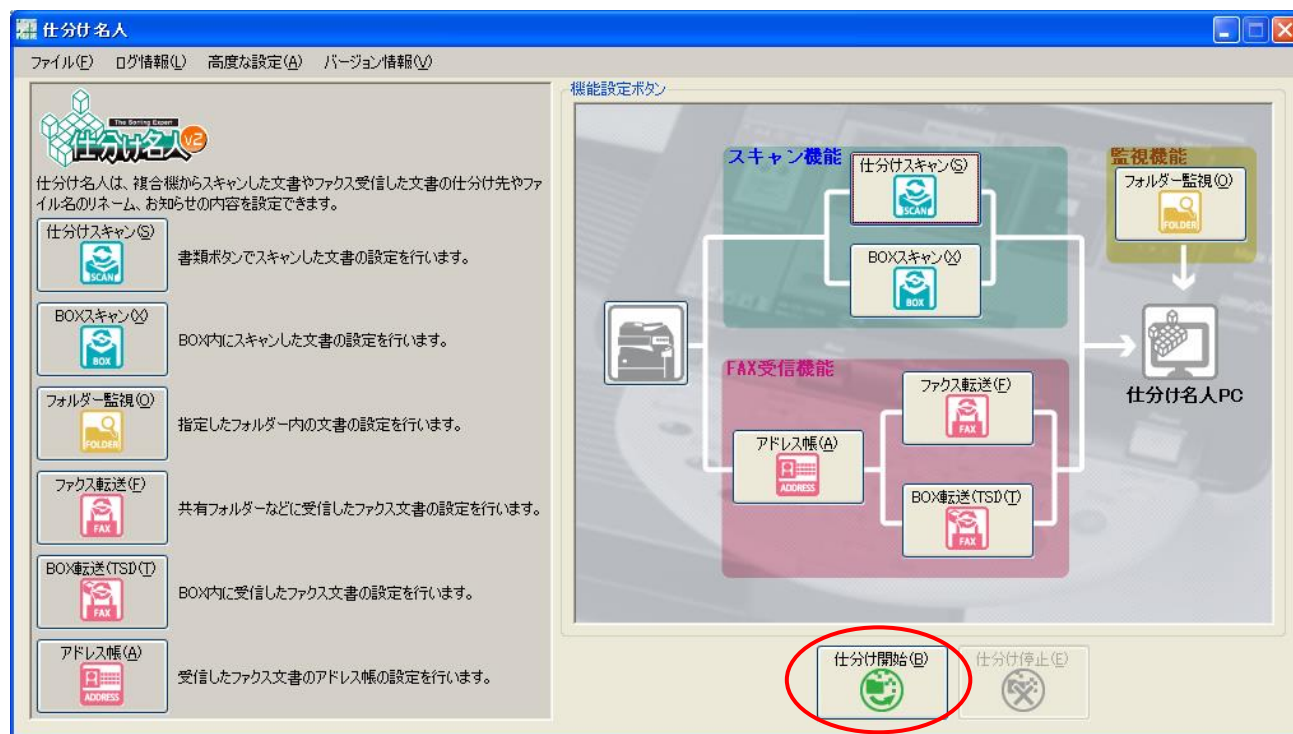
お手持ちのライセンスキーを入力してください。

ライセンスキーについては、『インストールマニュアル（仕分けアプリケーション） 1.8 ライセンスキーについて』を参照してください。

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

### 2.2. 仕分け名人サービスの起動／停止

メイン画面の「仕分け開始」ボタンを押すと、仕分け名人サービスが起動します。起動に失敗する場合は、ユーザズガイドの「付録A.2 仕分け名人アプリケーションでのエラーメッセージ」を参照してください。



仕分けサービスを停止する場合は「仕分け停止」ボタンを押します。

### 3. 「仕分け名人 PC」の設定確認

インストール完了後、本製品をご使用になる前に、ご使用のコンピュータで以下をご確認ください。

#### 3.1. ファイアウォールの確認

仕分け名人アプリケーションの下記アプリケーション プログラムは、複合機や他のコンピュータと通信を行います。この通信が Windows ファイアウォールでブロックされないように、インストール時に Windows ファイアウォールで許可されたプログラムとして自動的に設定を追加しています。

- ◇ KonicaMinoltaFTP.exe
- ◇ ScanMfpPanelManager.exe
- ◇ SortManager.exe
- ◇ BoxManagerService.exe

インストール時に Windows ファイアウォールの設定に失敗した場合や、Windows ファイアウォール以外のファイアウォールアプリケーションがインストールされている場合は、手動でファイアウォールの設定を変更する必要があります。

Windows ファイアウォールの設定方法は「11.4. Windows ファイアウォールの設定変更」をご参照ください。Windows ファイアウォール以外のファイアウォールアプリケーションの場合は、当該アプリケーションのマニュアル等をご参照いただき、上記 3 つのアプリケーション プログラムを許可してください。

#### 3.2. 仕分け名人アプリケーションが使用するポート番号の確認

仕分け名人アプリケーションでは、複合機との通信に 4 個のポート番号を使用します。インストール直後は下記のポートを使用する設定になっています。ご使用のコンピュータでこれらのポートが既に使用されている場合、複合機で仕分け名人を使用すると、コンピュータとの接続に失敗します。

- KonicaMinoltaFTP.exe → ポート番号 21
- ScanMfpPanelManager.exe → ポート番号 50002
- SortManager.exe → ポート番号 50004

上記のポート番号が使用されていないか、以下の方法でご確認ください。

【使用中のポート番号確認方法】

- ① [スタートメニュー]→[プログラム]→[アクセサリ]→[コマンド プロンプト]より、コマンドプロンプトを起動します。

※ Windows 8 以降の場合は[スタート画面]→[すべてのアプリ]→[コマンド プロンプト]

- ② コマンドプロンプトが表示されたら、" netstat -a" と入力します。

" LocalAddress" 欄には、「ホスト名:ポート番号」表示されます。" Proto" 欄が" TCP" で、" State" 欄が" LISTENING" の状態のものが現在使用中のポートになります。

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

上記のポート番号が使用中の場合、「9.5. 仕分け名人アプリケーションが使用するポート番号の変更」に記載されている方法で、未使用のポート番号を使用するように変更してください。

```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:\Documents and Settings\sales01>netstat -a

Active Connections

Proto Local Address          Foreign Address        State
TCP    sales0008:smtp          sales0008:0            LISTENING
TCP    sales0008:http          sales0008:0            LISTENING
TCP    sales0008:epmap         sales0008:0            LISTENING
TCP    sales0008:https         sales0008:0            LISTENING
TCP    sales0008:microsoft-ds  sales0008:0            LISTENING
TCP    sales0008:1028          sales0008:0            LISTENING
TCP    sales0008:ms-sql-s      sales0008:0            LISTENING
TCP    sales0008:3389          sales0008:0            LISTENING
TCP    sales0008:5001          sales0008:0            LISTENING
TCP    sales0008:8009          sales0008:0            LISTENING
TCP    sales0008:8080          sales0008:0            LISTENING
TCP    sales0008:netbios-ssn   sales0008:0            LISTENING
TCP    sales0008:427           sales0008:0            LISTENING
TCP    sales0008:1130          10.201.117.100:1107 ESTABLISHED
TCP    sales0008:1494          shidc01.kmj           mb06.kmj           ESTABLISHED
TCP    sales0008:1501          shidc02.kmj           mb01.kmj           ESTABLISHED
TCP    sales0008:1502          shidc02.kmj           local:1026         ESTABLISHED
TCP    sales0008:1517          mb01.kmj           local:18585        ESTABLISHED
TCP    sales0008:2315          15.55.192.61:http     SYN_SENT
TCP    sales0008:3017          sales0008:0            LISTENING
TCP    sales0008:1031          sales0008:0            LISTENING
TCP    sales0008:23000         sales0008:0            LISTENING
TCP    sales0008:42424         sales0008:0            LISTENING
UDP    sales0008:microsoft-ds  *:.*
UDP    sales0008:isakmp        *:.*
UDP    sales0008:1029          *:.*
UDP    sales0008:1034          *:.*
UDP    sales0008:ms-sql-m      *:.*
UDP    sales0008:1485          *:.*
UDP    sales0008:2967          *:.*
UDP    sales0008:3456          *:.*
UDP    sales0008:4500          *:.*
```

現在使用中のポート番号  
(ホスト名 : ポート番号)



## 4. 複合機設定情報の確認

複合機にアプリケーション登録をする前に、以下の設定をご確認ください。

### ●確認項目一覧

確認項目	確認必須項目	確認チェック欄
管理者パスワード	○	
複合機のIPアドレス	○	
SSL使用	○	
DNSドメイン設定		
DNSサーバー設定		

### 4.1. 複合機本体の管理者パスワードを確認してください。

管理者パスワードは仕分け名人 設定アプリケーションの複合機登録画面にて、複合機情報登録時に必要です。アプリケーション登録手順に関しては、「6. 8. 複合機にアプリケーションを登録する」を参照してください。

### 4.2. 複合機本体の IP アドレスを確認してください。

複合機本体のIPアドレスは、仕分け名人 設定アプリケーションの複合機登録画面にて、複合機情報登録時に必要です。

複合機の IP アドレスは、以下の手順で確認してください。

WebConnectionに管理者としてログイン → [ネットワーク設定] → [TCP/IP 設定]  
→ [TCP/IP 設定 1]

#### 4.3. 複合機の SSL の設定を確認してください。

以下の手順で確認してください。

Web Connection に管理者としてログイン → [ネットワーク] → [OpenAPI 設定]

##### ■ 本製品との通信に SSL 使用しない場合

下図のように「SSL/ポート設定」が「非 SSL 通信のみ可」の場合は、本製品との通信に SSL は使用されません。

The screenshot shows the 'Web Connection' interface for a 'bizhub C360i'. The 'OpenAPI 設定' (OpenAPI Settings) menu is open. Under the 'OpenAPI' section, the 'SSL/ポート設定' (SSL/Port Settings) dropdown is set to '非SSL通信のみ可' (Non-SSL communication only), which is circled in red. Other settings include 'ポート番号' (Port number) as 50001, 'ポート番号(SSL)' (Port number (SSL)) as 50003, and 'HTTPバージョン設定' (HTTP version setting) as HTTP/1.1. There are 'キャンセル' (Cancel) and 'OK' buttons at the bottom right.

##### ■ 本製品との通信に SSL 使用する場合

下図のように「SSL/ポート設定」が「SSL 通信のみ可」の場合は、本製品との通信に SSL が使用されます。

The screenshot shows the same 'Web Connection' interface. In this case, the 'SSL/ポート設定' dropdown is set to 'SSL通信のみ可' (SSL communication only), which is circled in red. All other settings and the layout are identical to the previous screenshot.



#### ご注意

複合機の SSL の設定と、「仕分け名人 設定アプリケーション」の SSL 設定画面の設定が一致していないと、「仕分け名人 設定アプリケーション」のパネル連携設定画面で、アプリケーション登録・削除操作に失敗します。

また、アプリケーション登録後に「仕分け名人 設定アプリケーション」で SSL 設定を変更すると、

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

複合機で本製品が使用できなくなります。「仕分け名人 設定アプリケーション」で SSL 設定を変更する場合は、複合機に登録済みのアプリケーションを全て削除してください。

「仕分け名人 設定アプリケーション」での SSL 設定については、**ユーザーズガイド「5.4 通信設定を行う」**を参照して下さい。



### ひとこと

複合機の OpenAPI 設定画面で「SSL 使用」が表示されていない場合、複合機で SSL を使用できるようにするには Web Connection を使用してセキュリティの設定をする必要があります。詳細は装置のユーザーズガイドをご参照ください。

## 4.4. 複合機の DNS の設定を確認してください

複合機に仕分け名人の情報を登録する際に、仕分け名人設定アプリケーションの「複合機登録情報設定画面」で「DNS ホスト名で複合機に登録する」が設定されている場合は、複合機に DNS ドメイン、DNS サーバー等の設定が必要です。

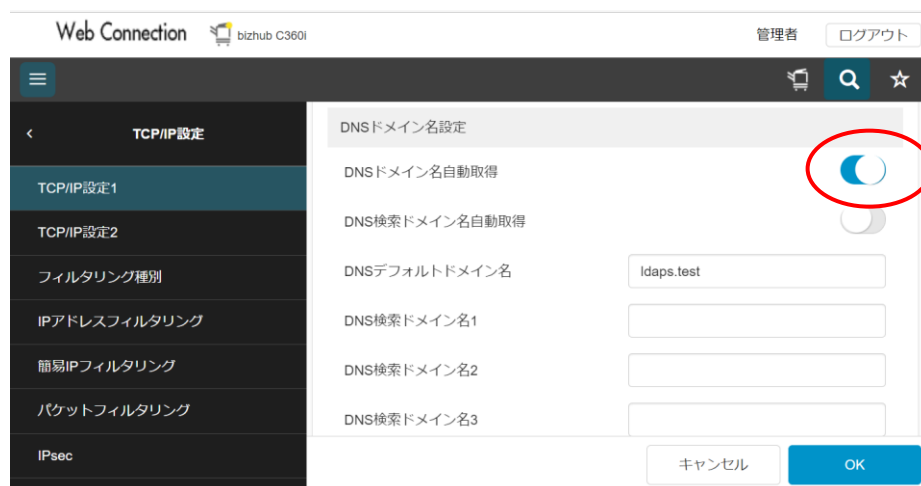
### ■ DNS ドメインの設定

以下の手順で確認してください。

[設定メニュー] → [管理者設定] → [管理者パスワード入力] → [ネットワーク設定] → [TCP/IP 設定] → [DNS ドメイン]

【「DNS ドメイン名自動取得」を有効にする場合】

「DNS ドメイン名自動取得」のトグルを有効にします。



## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

【「DNS ドメイン名自動取得」を無効にし、手動で設定する場合】

「DNS ドメイン名自動取得」のトグルを無効にし、必要な項目を入力します。



※ご使用のネットワーク環境で入力内容が異なります。詳細はネットワーク管理者にお問合せください。

## 仕分け名人 V2 クイックガイド（FAX 連携版）

### ■ DNS サーバー設定

以下の手順で確認してください。

Web Connection に管理者としてログイン → [ネットワーク] → [TCP/IP 設定] → [TCP/IP 設定 1]

#### 【「DNS サーバー自動取得」を有効にする場合】

The screenshot shows the 'Web Connection' management interface for a 'bizhub C360i'. The left sidebar lists navigation options: 'TCP/IP 設定' (selected), 'TCP/IP 設定1', 'TCP/IP 設定2', 'フィルタリング種別', 'IPアドレスフィルタリング', '簡易IPフィルタリング', 'パケットフィルタリング', and 'IPsec'. The main panel is titled 'DNSサーバー設定 (IPv4)' and contains the following fields: 'DNS検索ドメイン名3' (empty), 'DNSサーバー自動取得' (a blue toggle switch, circled in red), '優先DNSサーバー' (0.0.0.0), '代替DNSサーバー1' (0.0.0.0), and '代替DNSサーバー2' (0.0.0.0). Below these is a section for 'DNSサーバー設定 (IPv6)'. At the bottom right are 'キャンセル' (Cancel) and 'OK' buttons.

#### 【「DNS サーバー自動取得」を無効にする場合】

This screenshot is identical to the one above, but the 'DNSサーバー自動取得' toggle switch is greyed out and turned off (circled in red). Additionally, the input fields for '優先DNSサーバー', '代替DNSサーバー1', and '代替DNSサーバー2' (all containing '0.0.0.0') are grouped together and circled in red. The rest of the interface, including the sidebar and navigation buttons, remains the same.

※ご使用のネットワーク環境で入力内容が異なります。詳細はネットワーク管理者にお問合せください。

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

### ■ 複合機が名前解決を行なえるか確認

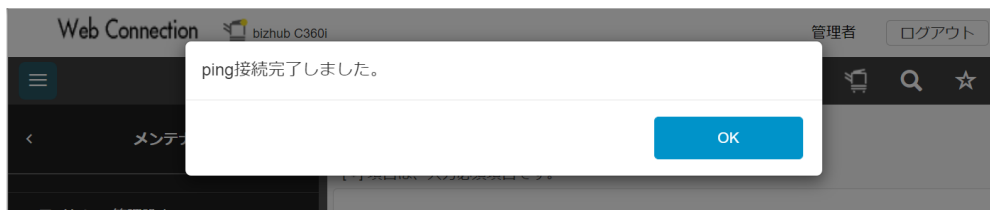
以下の手順で、複合機が正常に名前解決を行えるかどうかの確認してください。

Web Connection に管理者としてログイン → [メンテナンス] → [ping 応答確認]

- ① ①「ホスト名入力時はチェックを ON にする」をチェックし、確認する接続先の DNS ホスト名を入力
- ② 接続確認実行ボタンを押下



正常に名前解決ができた場合、以下の画面が表示されます。



### ひとこと

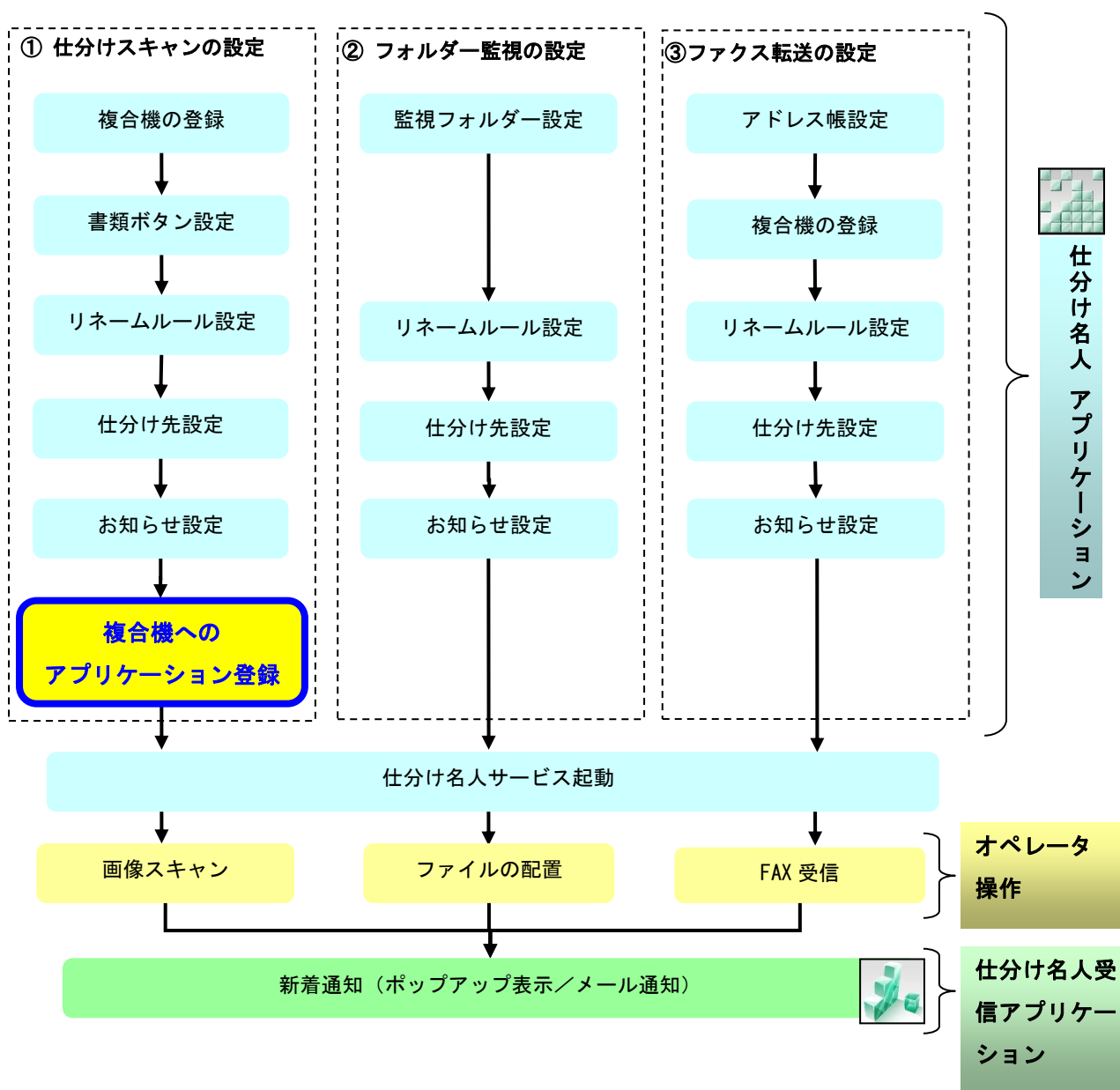
複合機が名前解決を行うためには、DNS サーバーの A レコードに対象のコンピュータが登録されている必要があります。Ping 応答確認で失敗する場合は、DNS サーバーの登録内容をご確認ください。

## 5. 仕分け名人の設定

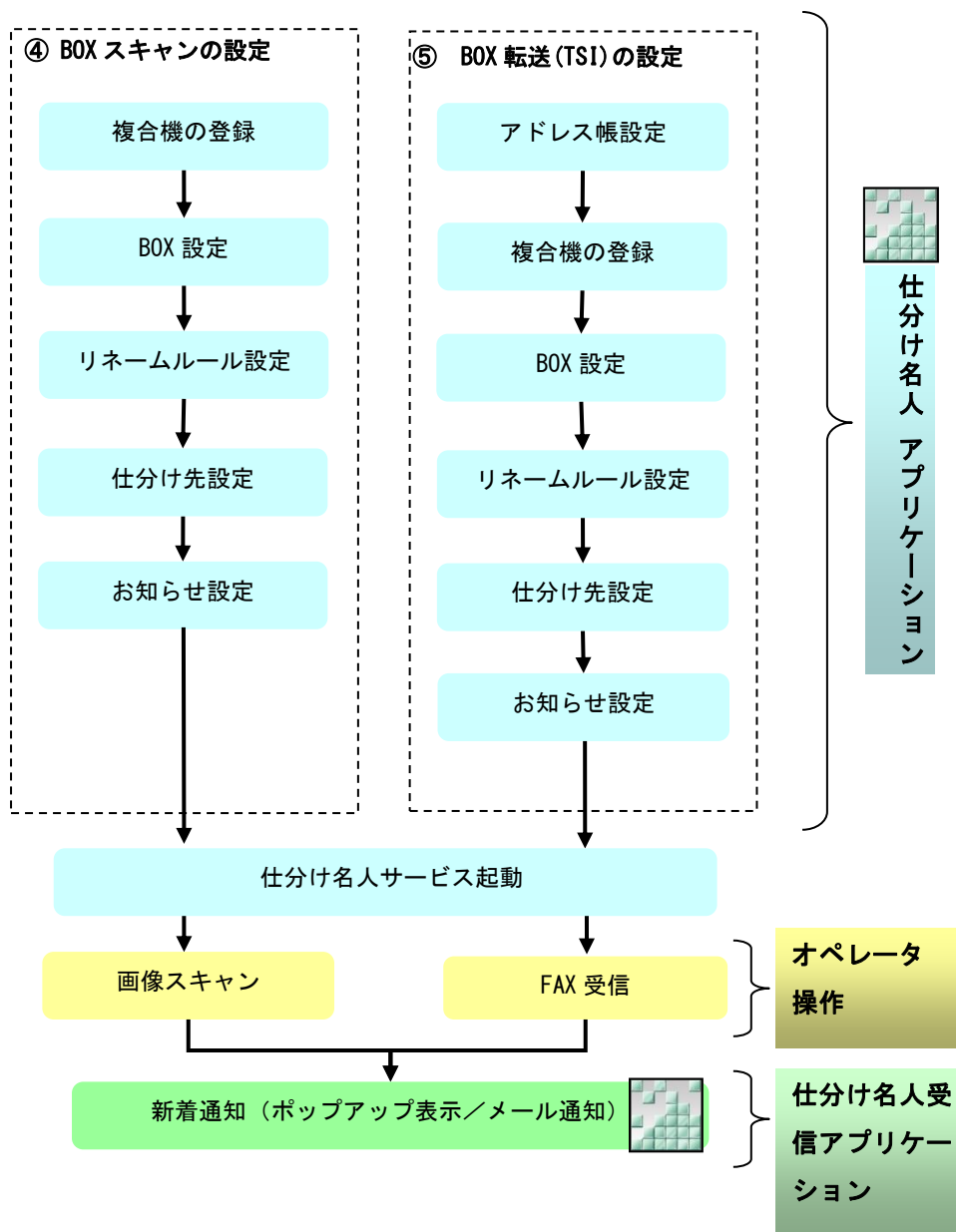
仕分け名人 V2 は、以下の 5 機能を持っています。

- ① 仕分けスキャン (6 章)
- ② フォルダー監視 (7 章)
- ③ ファクス転送 (8 章)
- ④ BOX スキャン (9 章)
- ⑤ BOX 転送 (TSI) (10 章)

下図は本製品の基本的なデータ設定手順です。



## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)



6～10章で、各機能の設定手順を説明します。



## 6. 仕分けスキャンの設定

仕分けスキャン機能を使用するには、複合機にアプリケーションを登録する必要があります。仕分け名人 設定アプリケーションにて、以下の手順で必要な情報を設定し、アプリケーション登録をしてください。

### 6.1. 仕分け名人の SSL 設定を複合機と同じ設定に変更する

インストール直後、仕分け名人の SSL 機能は「無効」になっています。ご使用になる複合機が SSL を使用する設定になっている場合は、以下の SSL 設定変更が必要です。複合機の設定と一致していないと、複合機へのアプリケーション登録に失敗します。

#### ■設定手順

- ・ メイン画面の [高度な設定]→[仕分けスキャン設定]→[通信設定]メニューにて、仕分けスキャン通信設定画面を表示します。
- ・ 複合機の SSL 設定に合わせて「SSL 機能を有効とする。」のチェックをオンにし、複合機側のポート番号を、複合機で設定されたポート番号に設定して「保存ボタン」を押します。  
(通常、SSL が無効の場合は複合機側ポート番号を 50001 に、有効の場合 50003 を設定します。)

仕分けスキャン通信設定

セキュリティ設定

☒ SSL機能を有効とする

仕分けスキャンのアプリケーション登録情報

☒ IPアドレスで複合機に登録する

IPアドレス: 10 - 195 - 48 - 84

☐ DNSホスト名で複合機に登録する

DNSホスト名: BCJSOL01

通信ポート設定

複合機側: 50003

パネル連携サービス用: 50002

仕分けサービス用: 50004

保存(S) キャンセル(C)

## 6.2. 複合機登録情報設定を変更する

アプリケーション登録では、「仕分け名人 PC」のアドレスも複合機に登録します。このアドレスとして固定の IP アドレス／DNS ホスト名のいずれを使用するか、複合機登録情報設定画面にて設定します。インストール直後は固定の IP アドレスを使用する設定になっていますので、DNS 環境で「仕分け名人 PC」をご使用の場合は、以下の複合機登録情報設定の変更が必要です。

### ■設定手順

- ・ メイン画面の[高度な設定]→[仕分けスキャン設定]→[通信設定]メニューにて、仕分けスキャン通信設定画面を表示します。
- ・ 「DNS ホスト名で複合機に登録する」を選択して「保存ボタン」押します。

※この設定を使用するには、複合機側にも設定が必要です。「4. 複合機設定情報の確認」をご参照ください。

仕分けスキャン通信設定

セキュリティ設定

☒ SSL機能を有効にする

仕分けスキャンのアプリケーション登録情報

☐ IPアドレスで複合機に登録する

IPアドレス: 10 . 195 . 48 . 84

☒ DNSホスト名で複合機に登録する

DNSホスト名: BCJSOL01

通信ポート設定

複合機側: 50003

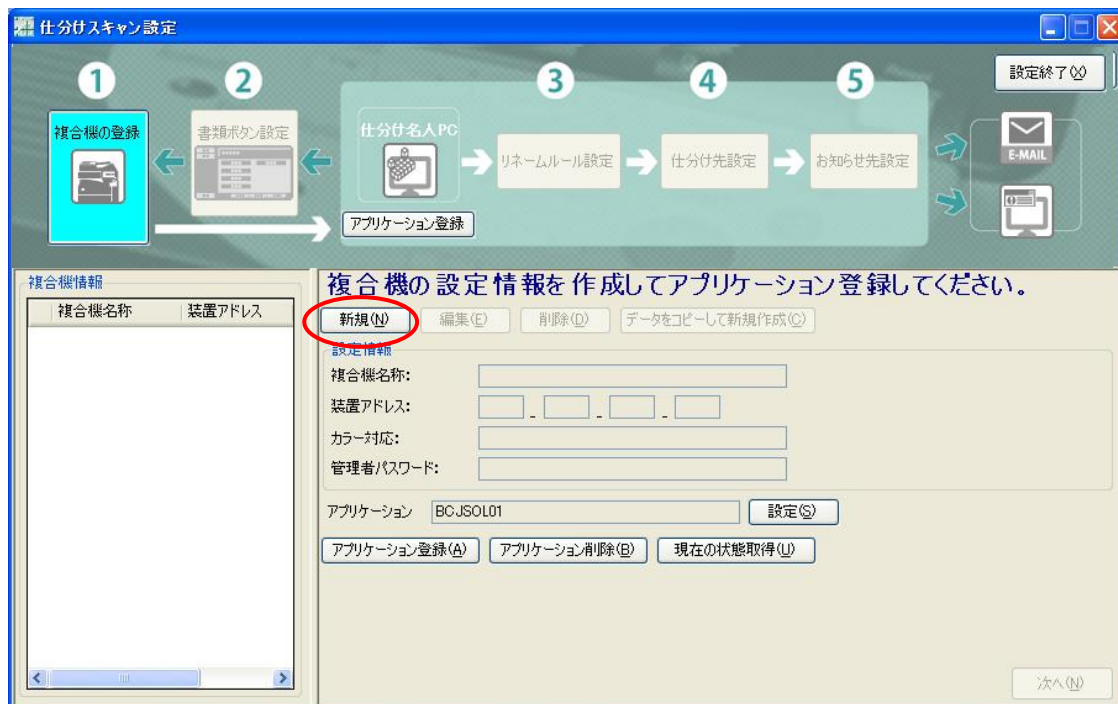
パネル連携サービス用: 50002

仕分けサービス用: 50004

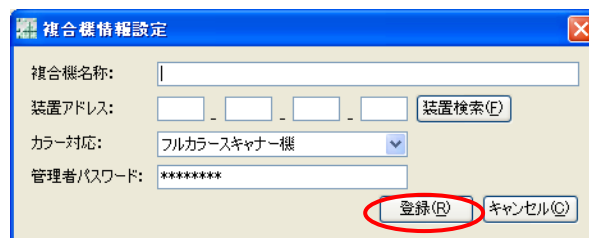
保存(S) キャンセル(C)

### 6.3. 使用する複合機の情報を設定

メイン画面の「仕分けスキャン」ボタンをクリックし、仕分けスキャン設定画面を表示します。



「新規」ボタンを押すと、複合機登録画面が表示されます。

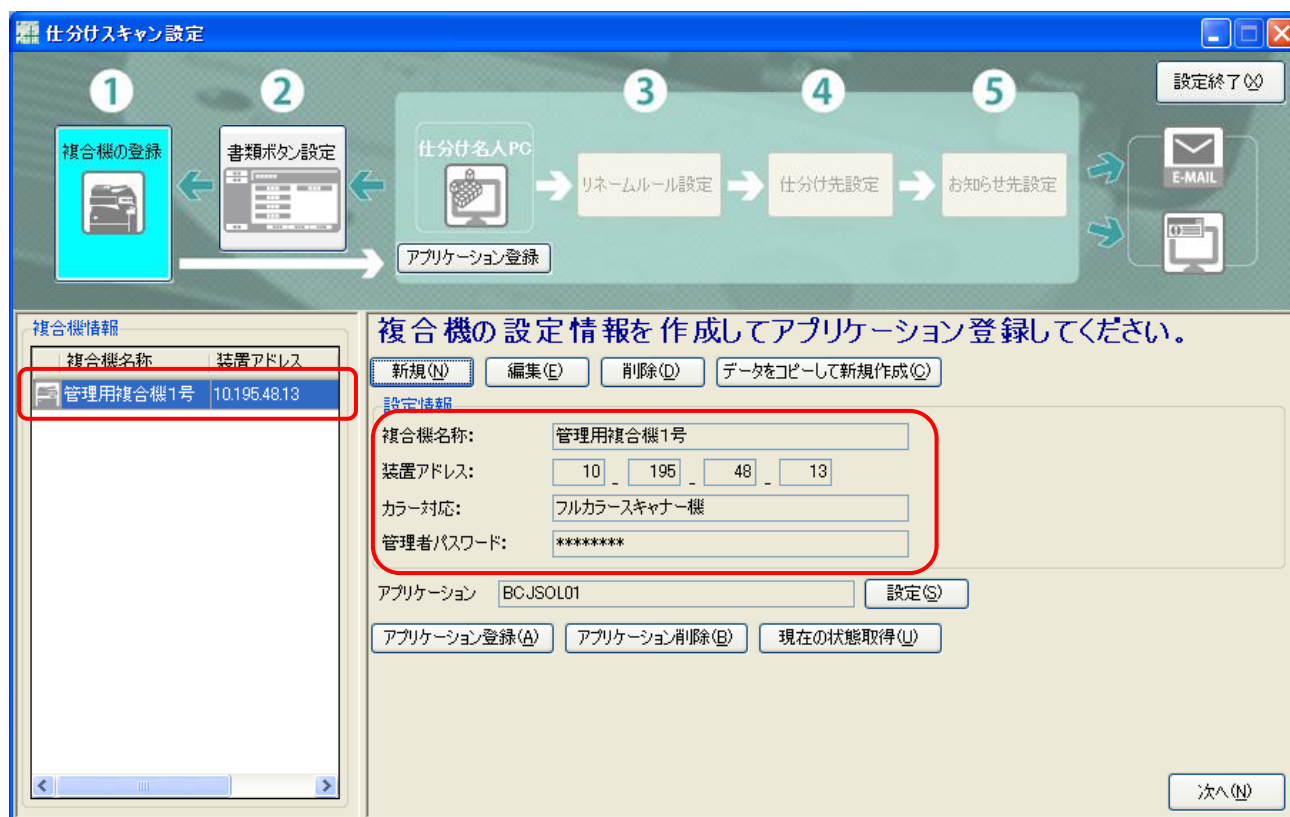


複合機登録画面で下記 4 項目にご使用になる複合機の情報を設定して、「登録」ボタンを押してください。

入力項目	説明
複合機名称	パネル連携設定画面の一覧で複合機を識別するための名称です。任意の名称を設定してください。
装置アドレス	複合機の IP アドレスです。「装置検索」で設定することも可能です。詳細はユーザズガイドを参照してください。
管理者パスワード	複合機に設定されている管理者のパスワードです。
カラー対応	ご使用の複合機のスキャナカラー情報を設定します。フルカラーキャナー機が可能な機種は「フルカラーキャナー機」を、モノクロスキャンのみの機種は「モノクロスキャナー機」を選択します。

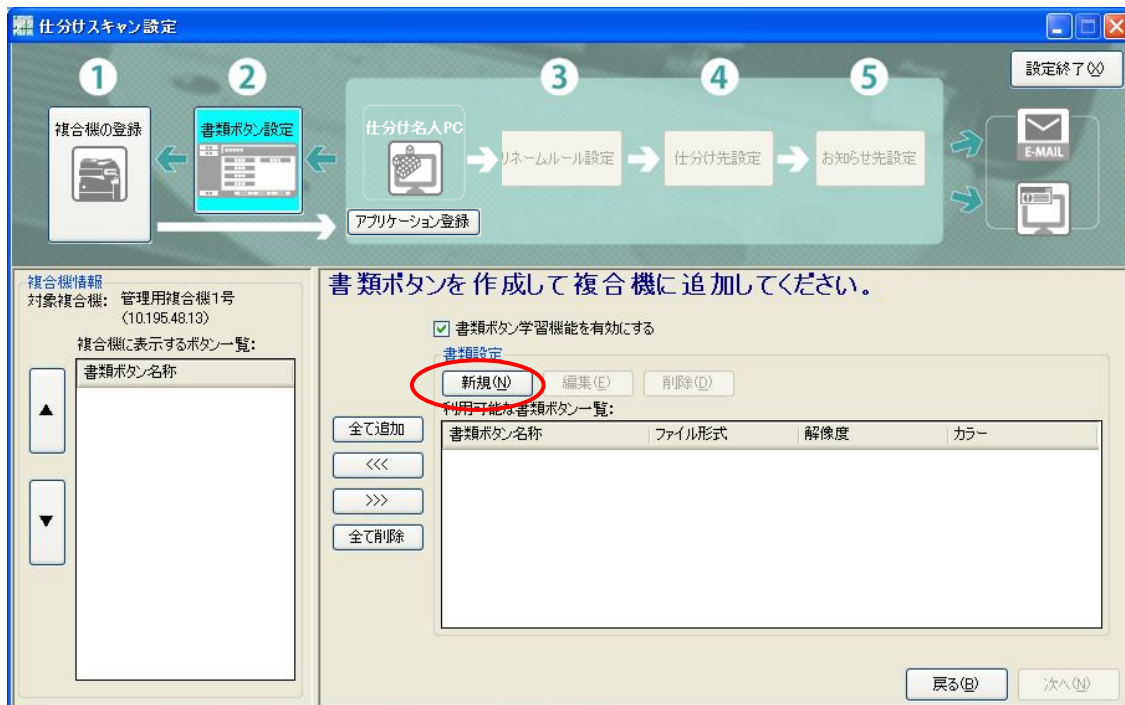
## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

赤枠部分に、登録した情報が表示されます。



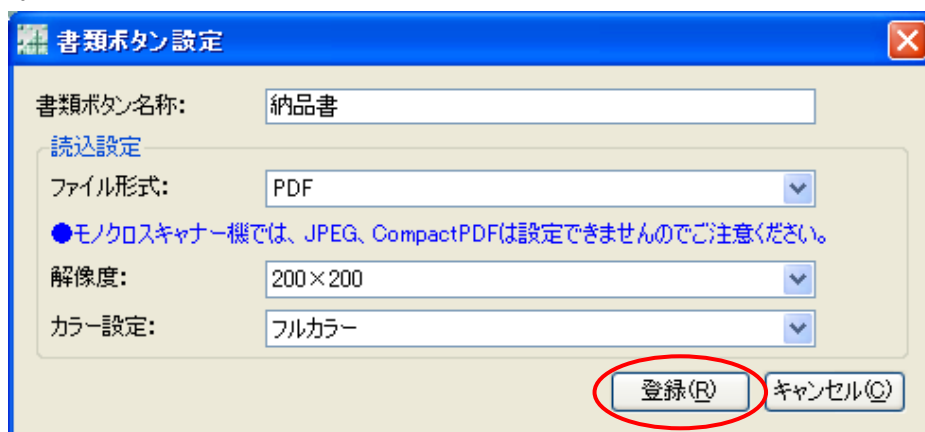
#### 6.4. 複合機のパネルに表示する「書類ボタン」を設定

複合機情報を登録すると、仕分けスキャン設定画面の「次へ」及び「書類ボタン設定」が操作可能になります。「次へ」または「書類ボタン設定」ボタンをクリックして、書類ボタン設定画面を表示します。



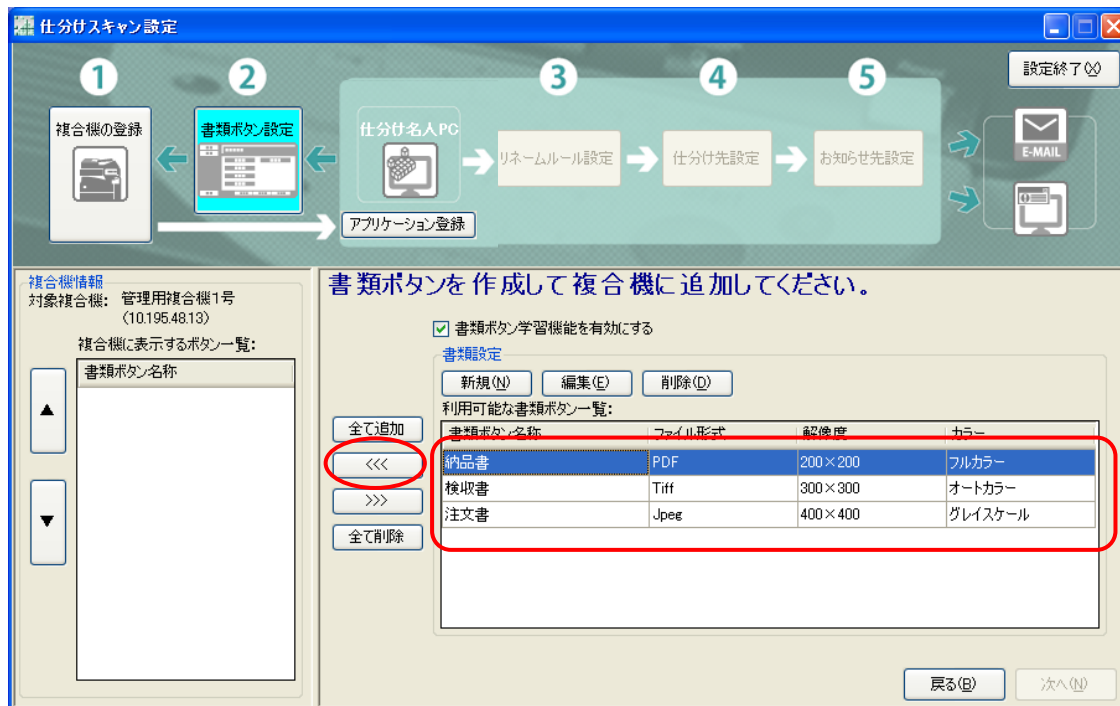
「新規」ボタンをクリックすると、書類ボタン設定画面が表示されます。

書類ボタン名称に、作成したい書類ボタンの名称を入力し、スキャンの形式等を選択し「登録」をクリックします。



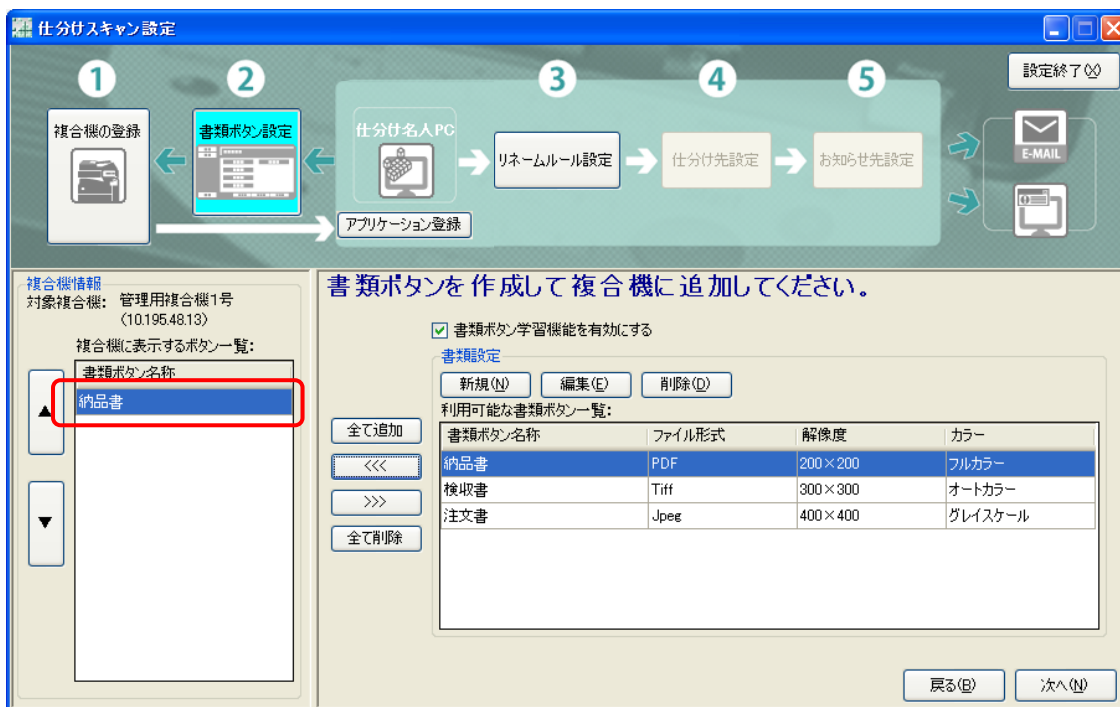
## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

赤枠部分に、登録した情報が表示されます。(下記の画面は、複数の書類ボタンを登録しています。)



「<<<」ボタンをクリックし、複合機に表示する書類ボタンを選択します。

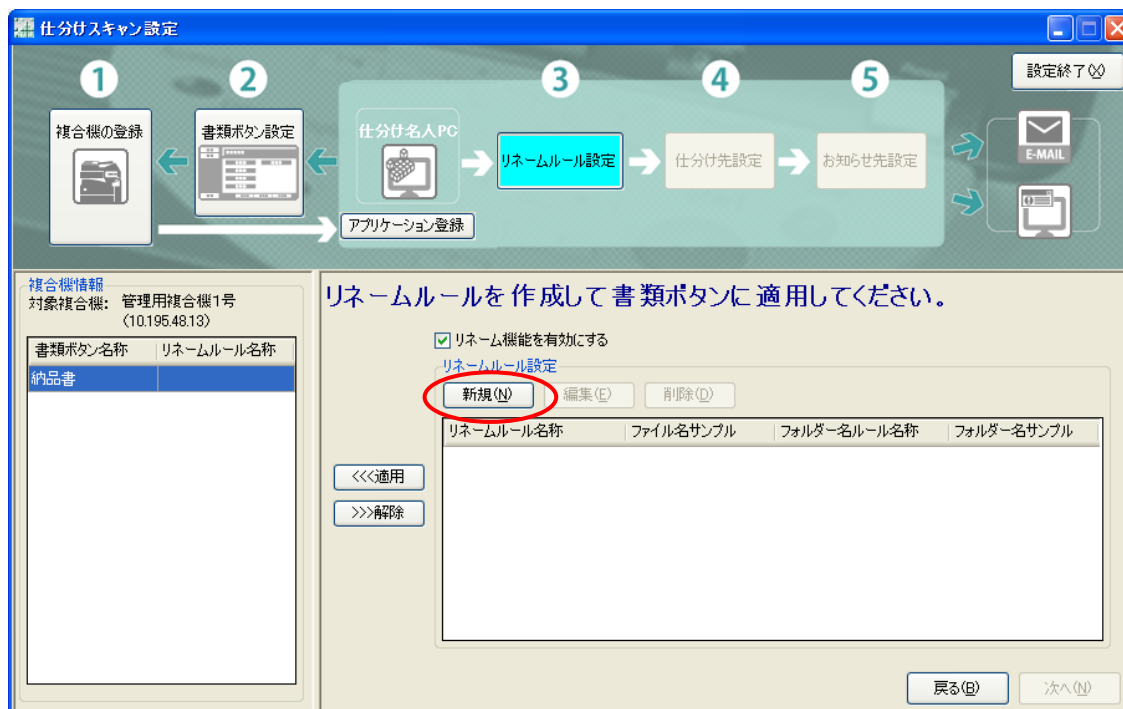
赤枠部分に、利用可能な書類ボタン一覧で選択した書類ボタンが、左欄の「複合機に表示するボタン一覧」に追加されます。複数追加したい場合は、続けて他の書類ボタンを追加します。



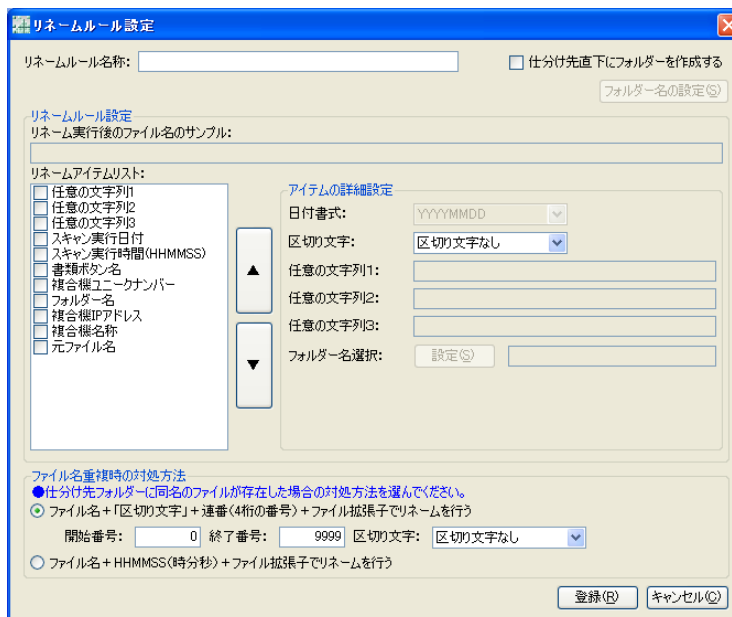
※「複合機登録画面」にて、カラー情報に「モノクロスキャナー機」を選択した場合は、ファイル形式が「Jpeg」「CompactPDF」の「書類ボタン」は表示されません。

## 6.5. リネームルールの設定

書類ボタンの設定を行うと、「次へ」及び「リネームルール設定」ボタンが操作可能になります。「次へ」または「リネームルール設定」ボタンをクリックして、リネームルール設定画面を表示します。リネームルール設定では、複合機でスキャンしたファイルをリネームするルールを作成します。なお、リネームルール設定は、省略（リネームを行わない）することもできます。その場合、「リネーム機能を有効にする」のチェックを外し「6.1. 仕分け先の設定」へ進んで下さい。



「新規」ボタンをクリックすると、リネームルール設定画面が表示されます。





## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

ここでは、リネームルールとして、下記の設定を行います。

- ① リファイル名を書類ボタン名（“納品書”）＋ “\_” ＋ ファイル名を日付（“YYYYMMDD”）＋ 拡張子とする。
- ② 仕分け先に「日付（“YYYY 年 MM 月”）」のフォルダーを作成し、そのフォルダーにリネームしたファイルを作成する。

### ① ファイルリネームルールの設定

リネームルール名称を入力します。（例では、「スキャン用リネームルール1」としています。）

次に、リネームルール設定画面のリネームアイテムリストから、「スキャン実行日付」と「書類ボタン名」を選択します。

最後に、アイテムの詳細設定欄の日付書式を「YYYYMMDD」、区切り文字を「\_（アンダーバー）」を選択し、「仕分け先直下にフォルダーを作成する」にチェックを入れます。

リネームルール設定

リネームルール名称: スキャン用リネームルール1 ☒ 仕分け先直下にフォルダーを作成する

リネーム実行後のファイル名のサンプル:  
YYYYMMDD\_書類ボタン名

リネームアイテムリスト:

- ☐ 任意の文字列1
- ☐ 任意の文字列2
- ☐ 任意の文字列3
- ☒ スキャン実行日付
- ☒ 書類ボタン名
- ☐ 複合機ユーザナンバー
- ☐ フォルダ名
- ☐ 複合機IPアドレス
- ☐ 複合機名称
- ☐ 元ファイル名

アイテムの詳細設定

日付書式: YYYYMMDD

区切り文字: \_

任意の文字列1:

任意の文字列2:

任意の文字列3:

フォルダ名選択: 設定

ファイル名重複時の対処方法

● 仕分け先フォルダーに同名のファイルが存在した場合の対処方法を選んでください。

○ ファイル名 + 「区切り文字」 + 連番(4桁の番号) + ファイル拡張子でリネームを行う

開始番号: 0 終了番号: 9999 区切り文字: 区切り文字なし

○ ファイル名 + HHMMSS(時分秒) + ファイル拡張子でリネームを行う

登録 キャンセル

次に、リネームアイテムリスト欄の「▲▼」ボタンを操作し、「書類ボタン名」と「スキャン実行日付」の順序を入れ替えます。

リネームルール設定

リネーム実行後のファイル名のサンプル:  
YYYYMMDD\_書類ボタン名

リネームアイテムリスト:

- ☐ 任意の文字列1
- ☐ 任意の文字列2
- ☐ 任意の文字列3
- ☒ スキャン実行日付
- ☒ 書類ボタン名
- ☐ 複合機ユーザナンバー
- ☐ フォルダ名
- ☐ 複合機IPアドレス
- ☐ 複合機名称
- ☐ 元ファイル名

リネームルール設定

リネーム実行後のファイル名のサンプル:  
書類ボタン名\_YYYYMMDD

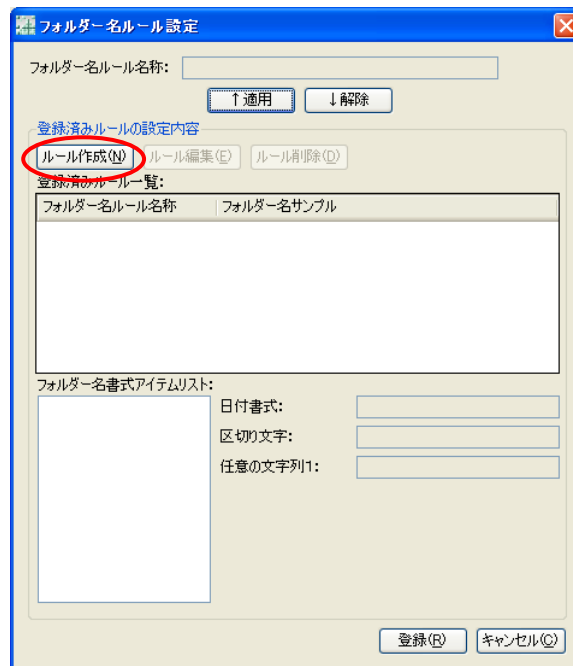
リネームアイテムリスト:

- ☐ 任意の文字列1
- ☐ 任意の文字列2
- ☐ 任意の文字列3
- ☒ 書類ボタン名
- ☒ スキャン実行日付
- ☐ スキャン実行時間(HHMMSS)
- ☐ 複合機ユーザナンバー
- ☐ フォルダ名
- ☐ 複合機IPアドレス
- ☐ 複合機名称
- ☐ 元ファイル名



## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

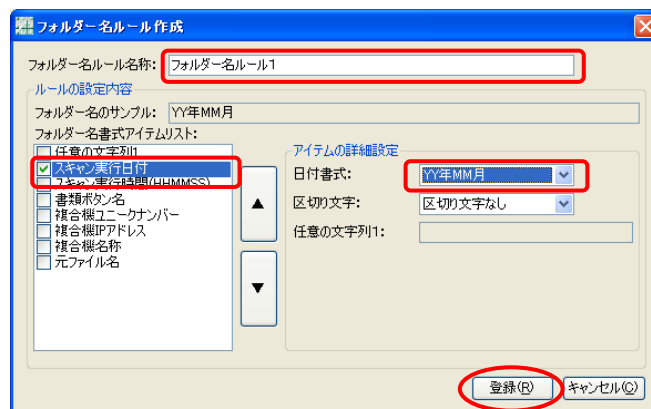
「フォルダー名の設定」ボタンをクリックするとフォルダー名ルール設定画面が表示されます。



「ルール作成」ボタンをクリックして、フォルダー名ルール作成画面を表示します。

表示されたら、フォルダー名ルール名称を入力します（例では「フォルダー名ルール1」としています）

次に、フォルダー名書式アイテムリストのスキャン実行日付をチェックし、日付書式を「YY 年 MM 月」を選択し、「登録」ボタンをクリックします。



フォルダー名ルール作成画面が閉じ、フォルダー名ルール設定画面に、作成したフォルダー名ルールが反映されていることを確認します。

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

フォルダー名ルール設定

フォルダー名ルール名称:

↑適用 ↓解除

登録済みルールを設定

ルール作成(N) ルール編集(E) ルール削除(D)

フォルダー名ルール名称	フォルダー名サンプル
フォルダー名ルール1	YY年MM月

登録済みルールを設定

☐ 任意の文字列1  
☒ スキャン実行日付  
☐ スキャン実行時間(HHMM)  
☐ 書籍ボタン名  
☐ 複合機エラーナンバー  
☐ 複合機IPアドレス  
☐ 複合機名称  
☐ 元ファイル名

日付書式: YY年MM月  
区切り文字: 区切り文字なし

登録(R) キャンセル(C)

反映されていることを確認したら「↑適用」ボタンをクリックし、使用したいフォルダー名ルールを指定し、「登録」ボタンをクリックします。

フォルダー名ルール設定

フォルダー名ルール名称:

↑適用 ↓解除

登録済みルールを設定

ルール作成(N) ルール編集(E) ルール削除(D)

フォルダー名ルール名称	フォルダー名サンプル
フォルダー名ルール1	YY年MM月

リネームルール設定

リネームルール名称: フォルダー名ルール1

↑適用 ↓解除

登録済みルールを設定

ルール作成(N) ルール編集(E) ルール削除(D)

フォルダー名ルール名称	フォルダー名サンプル
フォルダー名ルール1	YY年MM月

フォルダー名ルール設定画面が閉じ、リネームルール設定画面が表示されるので、「登録」ボタンをクリックして、リネームルールを設定を保存します。

リネームルール設定

リネームルール名称: スキャン用リネームルール1

仕分け先直下にフォルダーを作成する ☒

フォルダー名の設定(S)

リネームルール設定

リネーム実行後のファイル名のサンプル: YYYYMMDD\_書籍ボタン名

リネームアイテムリスト:

☐ 任意の文字列1  
☐ 任意の文字列2  
☐ 任意の文字列3  
☒ スキャン実行日付  
☐ スキャン実行時間(HHMMSS)  
☒ 書籍ボタン名  
☐ 複合機エラーナンバー  
☐ フォルダー名  
☐ 複合機IPアドレス  
☐ 複合機名称  
☐ 元ファイル名

アイテムの詳細設定

日付書式: YYYYMMDD  
区切り文字: -

任意の文字列1:   
任意の文字列2:   
任意の文字列3:   
フォルダー名選択: 設定(S)

ファイル名重複時の対処方法

●仕分け先フォルダーに同名のファイルが存在した場合の対処方法を選んでください。

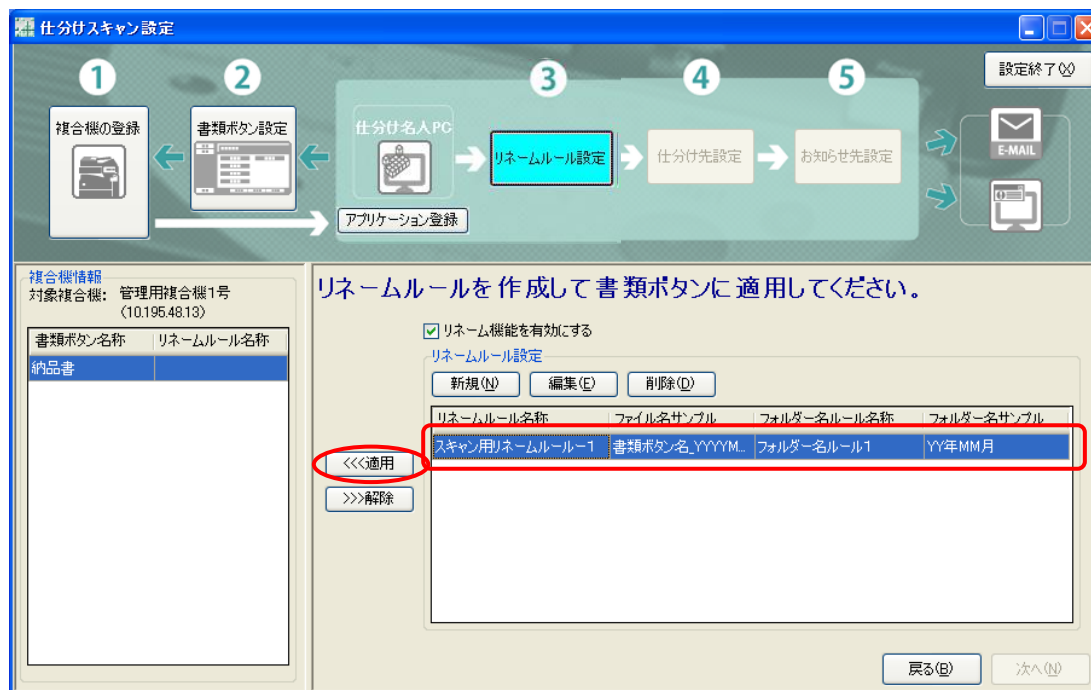
○ ファイル名 + 「区切り文字」 + 連番(4桁の番号) + ファイル拡張子でリネームを行う

開始番号: 0 終了番号: 9999 区切り文字: 区切り文字なし

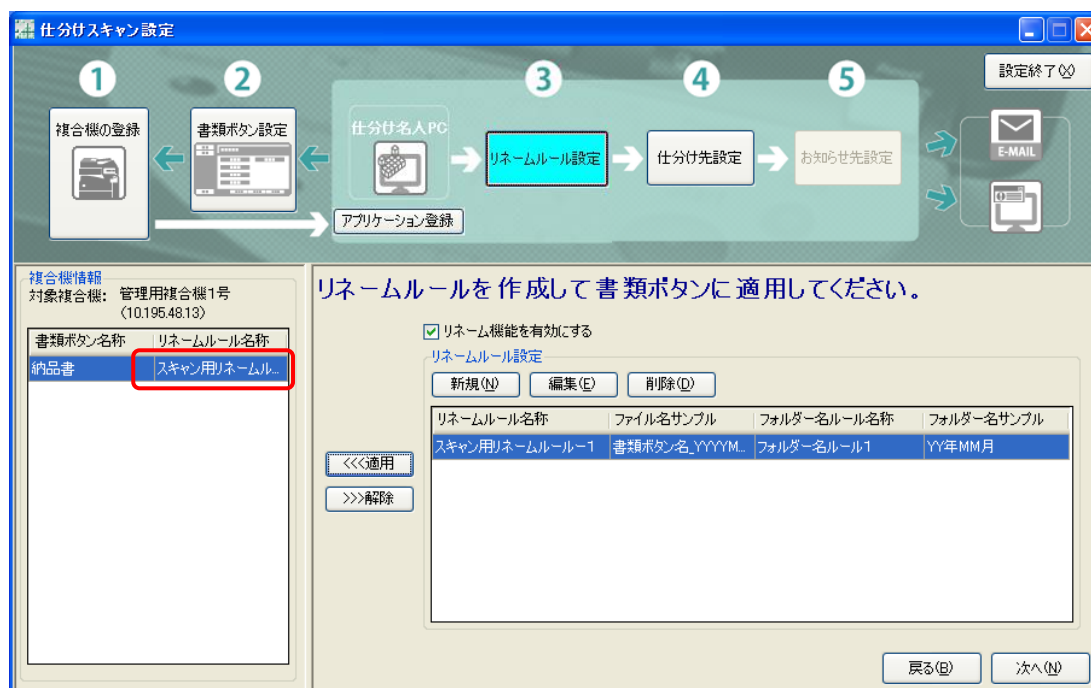
○ ファイル名 + HHMMSS(時分秒) + ファイル拡張子でリネームを行う

登録(R) キャンセル(C)

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)



「<<<適用」ボタンをクリックし、左欄で選択した書類ボタンに、リネームルールを適用します。

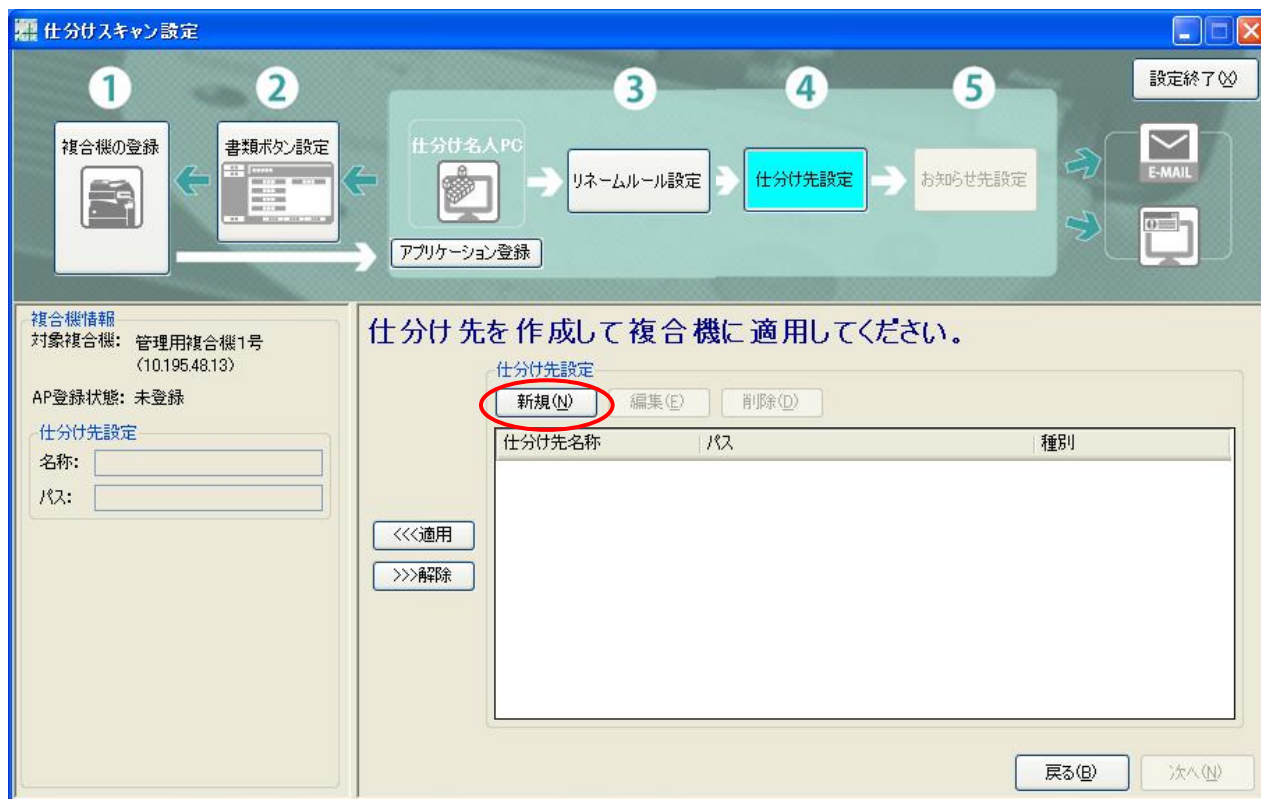


## 6.6. 仕分け先の設定

リネームルールの設定を行うと、「次へ」及び「仕分け先設定」ボタンが操作可能になります。

「次へ」または「仕分け先設定」ボタンをクリックして、仕分け先設定画面を表示します。

仕分け先設定では、複合機でスキャンしたファイルの仕分け先（転送先）を設定します。



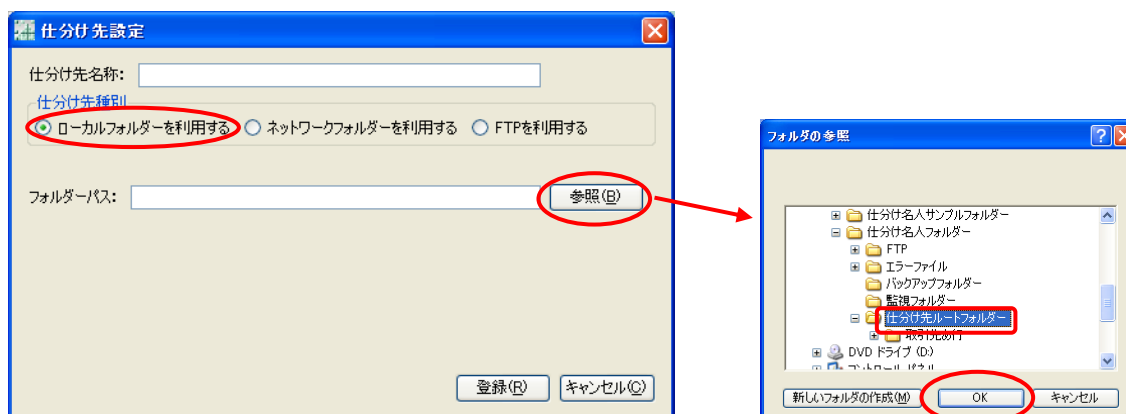
「新規」ボタンをクリックすると、仕分け先設定画面が表示されます。

仕分け先名称を入力し、仕分け先種別は「ローカルフォルダーを利用する」を選択します。

「参照」ボタンをクリックして、仕分け先として利用したいフォルダーを選択します。

下記例では、仕分け先に「C:\仕分け名人フォルダー\仕分け先ルートフォルダー」を選択しています。

必要なフォルダーが存在しない場合は、「新しいフォルダの作成」ボタンで、仕分け先のフォルダーを作成して下さい。



## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)



### ひとこと

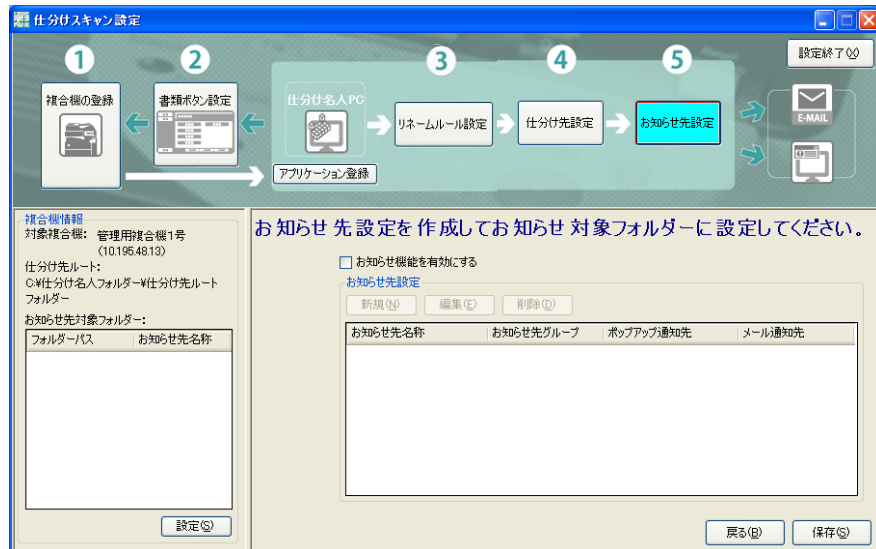
仕分け先に、ローカルフォルダー以外を使用したい場合の設定については、ユーザズガイドの「4.1.4 スキャンファイルの仕分け先を設定する」を参照して下さい。

「登録」ボタンをクリックすると仕分け先設定画面に反映されます。

「適用」ボタンをクリックすると、仕分け先が、左欄に適用されます。

## 6.7. お知らせ先の設定

お知らせ先設定は、初期状態では、お知らせを行わない設定となっています。  
ここでは、そのまま「6.8 複合機にアプリケーションを登録する」に進みます。

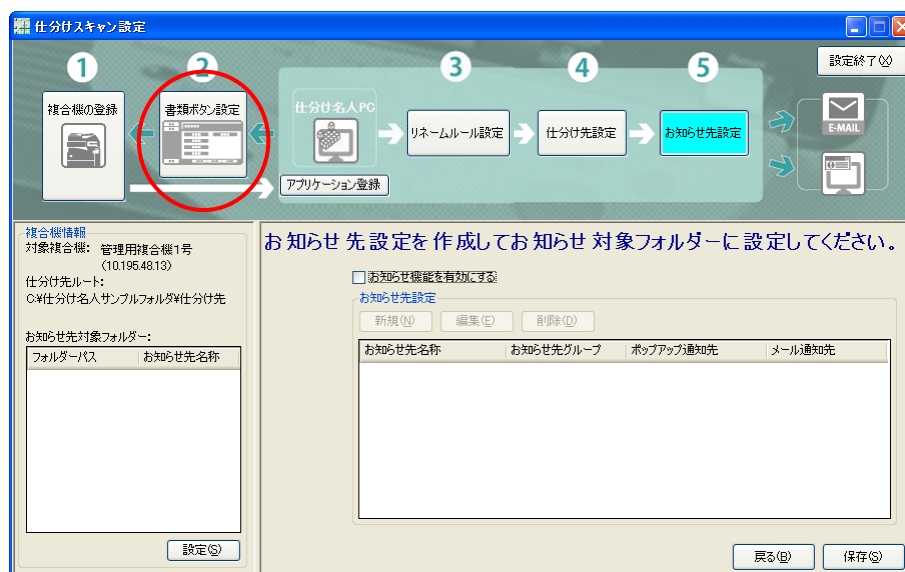


### ひとこと

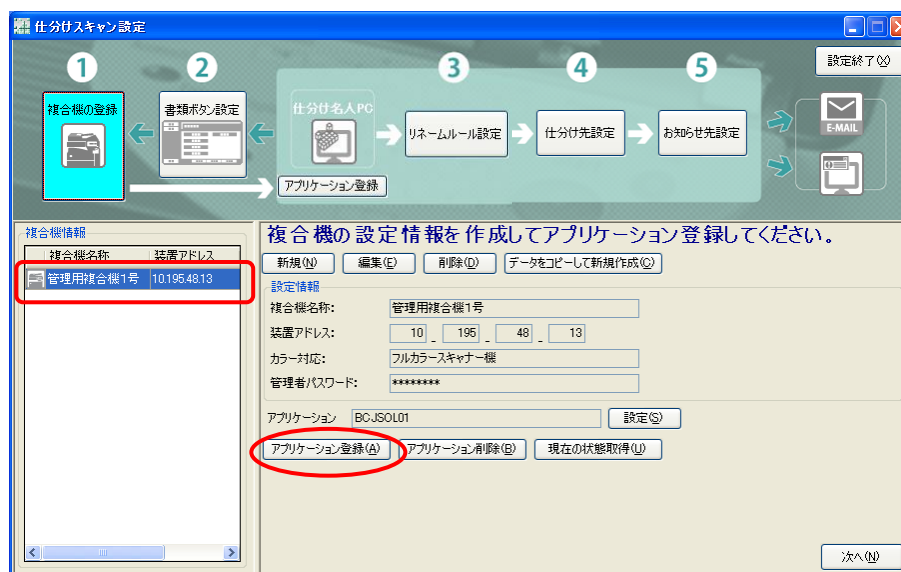
お知らせ先の設定を行いたい場合は、「お知らせ機能を有効にする」にチェックを入れて下さい。  
お知らせ設定については、ユーザーズガイドの「4.1.5 仕分け終了時のお知らせ先を設定する」を参照して下さい。

## 6.8. 複合機にアプリケーションを登録する

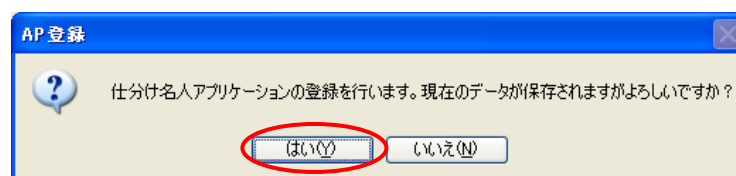
各設定が完了したら、設定した情報を元に、を複合機にアプリケーションを登録します。  
「複合機の登録」ボタンをクリックし、複合機登録画面を表示します。





## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)



「アプリケーション登録」ボタンを押すと、下記メッセージが表示されます。「はい」を押すと、パネル連携設定画面で変更した情報を保存し、複合機への仕分け名人の情報登録処理を開始します。



「仕分け名人アプリケーションの登録に成功しました」というメッセージ画面が表示されると、複合機情報一覧のアイコンが「」から「」になります。



### ご注意

アプリケーションを複合機に登録している間、複合機から「ピー、ピー」という電子音が数回鳴ります。これは正常に複合機にアプリケーションが登録されている過程で鳴るもので、複合機の故障ではありません。



## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

仕分け名人の情報登録をした複合機には、下図のように「APP」ボタンが表示されます。



### ご注意

仕分け名人アプリケーションがインストールされているコンピュータをシャットダウンしても複合機の APP ボタンは表示されたままになりますのでご注意ください。

仕分け名人の旧バージョン（～Ver2.2.7）をご利用の場合は、「仕分け名人」というボタンが表示されます。

仕分け名人 Ver2.2.8 以降を利用する場合でも、旧バージョン（～Ver2.2.7）に上書きインストールにてアップデートを行った場合や旧バージョンの設定ファイルをインポートした場合には、「仕分け名人」と表示される場合があります。

パネル連携設定画面の詳細については、ユーザーズガイドを参照してください。



## 6.9. 複合機で仕分け名人を使ってスキャン

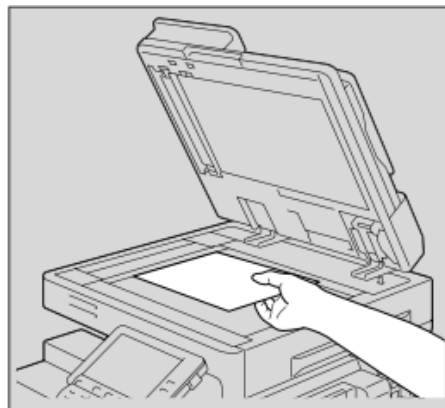
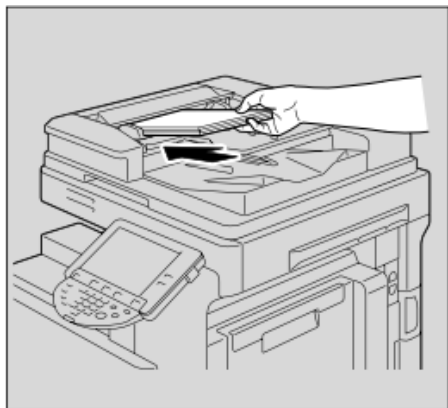
複合機へアプリケーションを登録後、仕分け名人サービスを起動したら、複合機で本製品が使用できるようになります。複合機での使用 방법은以下のとおりです。

### ① 「仕分け名人 PC」にて「仕分け名人 受信アプリケーション」を起動

「仕分け名人 PC」にポップアップメッセージを表示する場合は、下記手順で起動してください。

「スタート」→「すべてのプログラム」→「KONICA MINOLTA」→「仕分け名人」→  
「仕分け名人 受信アプリケーション」メニュー

### ② 複合機で原稿をセット



### ③ 複合機の TOP 画面で「APP」ボタンを押下



### ④ 仕分け先ディレクトリ選択

パネル画面には「仕分け PC」のフォルダー名※が下図のように表示されます。

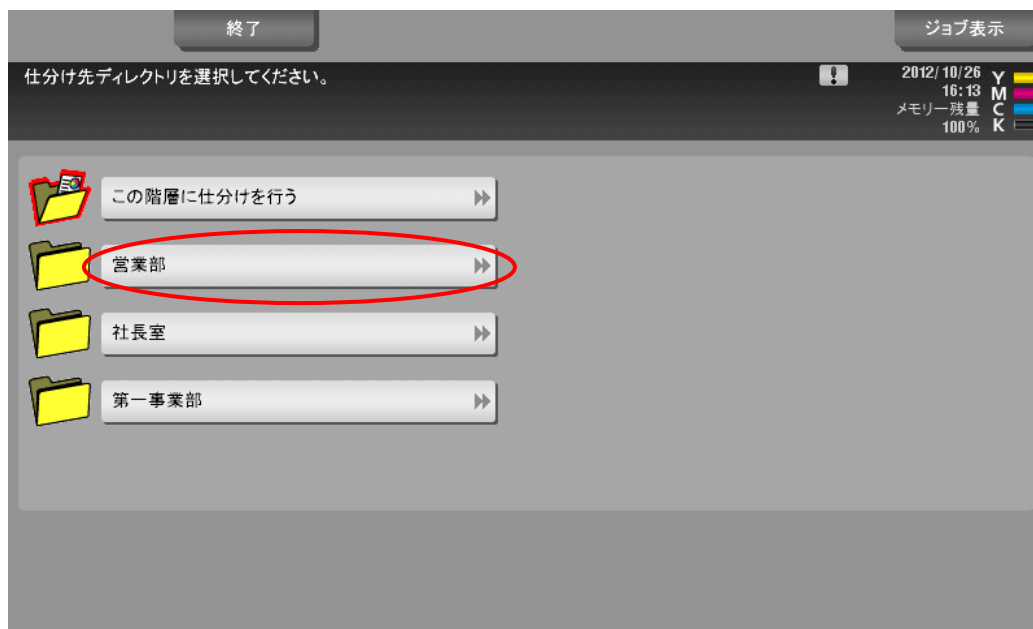
この画面では、スキャンしたファイルを転送する先のフォルダーを選択してください。

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

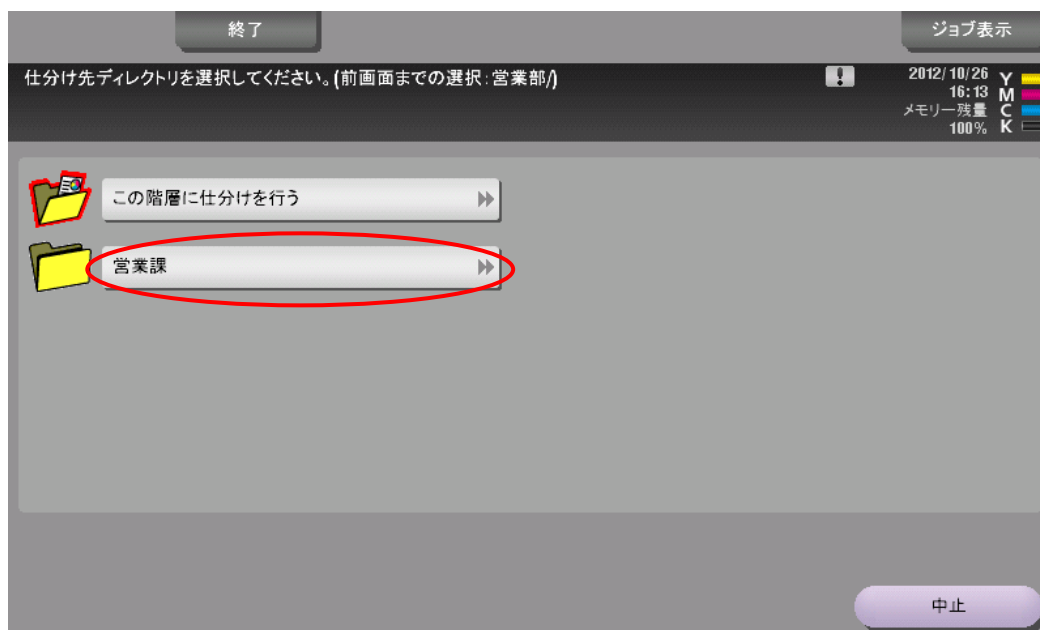
※「C:¥仕分け名人フォルダー¥仕分け先」の下フォルダー名が表示されます。

下記は「C:¥仕分け名人フォルダー¥仕分け先¥営業部¥営業課」にファイルを転送する場合の例です。

■「営業部」を選択します。



■「営業課」を選択します。

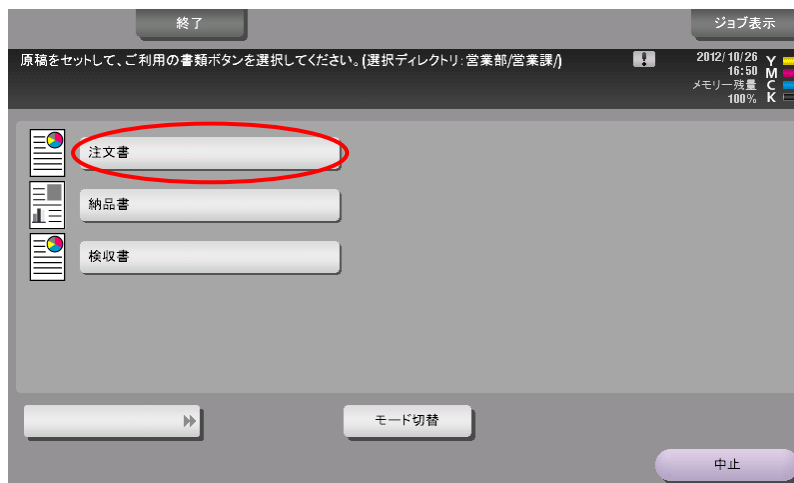


### ⑤ 書類ボタンを選択

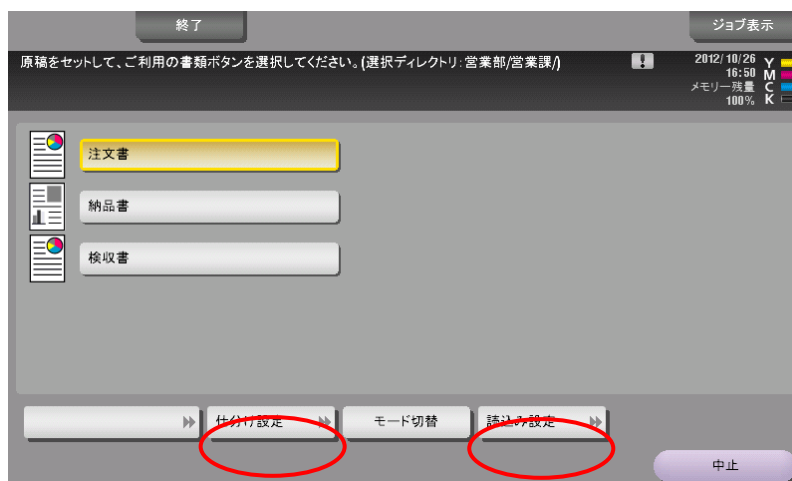
フォルダーが確定すると、書類ボタン選択画面が表示されます。「書類ボタン」にはリネームルールやスキャン時の読込設定情報が設定されています。

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

下記「検収書」を選択した場合の例です。



書類ボタンを押すと、「仕分け設定」、「読込設定」ボタンが表示されます。



### ⑥ 「スタート」ボタンを押してスキャン実行

上記のとおり操作を行いスキャンすると、下記のとおりフォルダーにスキャンファイルがリネームされて「仕分け PC」のフォルダーに転送されます。

例：(スキャン実施日が 2011 年 05 月 01 日の場合の例)

【仕分け先のフォルダー】

C:\¥仕分け名人フォルダー¥仕分け先¥営業部¥営業課¥2011 年 05 月

【リネームされたファイル名】

検収書\_20110501.pdf

書類ボタン「検収書」には、「ファイルリネームルール」と「フォルダーリネームルール」の両方が設定されています。

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

ファイルリネームルール ⇒ 「SCAN ファイル (書類名\_年月日)」

スキャンしたファイル名に「書類タン」の名称\_「スキャン実行日付」をつける設定になっているので、リネームされたファイル名が検収書\_20110501.pdf になります。

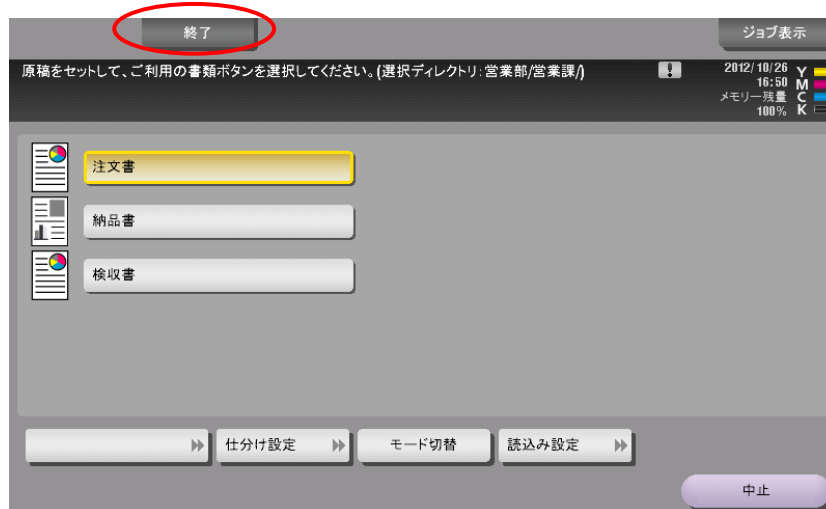
フォルダーリネームルール ⇒ 「SCAN フォルダー (YYYY 年 MM 月)」

フォルダーリネームルールが設定されていると、指定した仕分け先ディレクトリの下に、新しいフォルダーを指定されたりネームルール名で作成します。

「SCAN フォルダー (YYYY 年 MM 月)」は YYYY 年 MM 月形式のフォルダーを作成する設定になっているので、指定した仕分け先ディレクトリの下に 2011 年 5 月 フォルダーが作成されます。

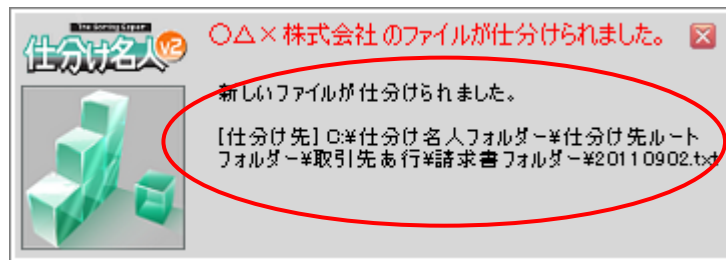
### ⑦ 「終了」ボタンを押して、複合機での仕分け名人を終了する。

スキャン実行後、スキャン実行前の書類ボタン選択画面が表示されます。「終了」ボタンを押下し仕分け名人を終了してください。



## 6.10. 仕分け名人受信アプリケーションの操作

「6.7 お知らせ設定」でポップアップ通知の設定をした場合、仕分け名人 受信アプリケーションが起動されていると、仕分け処理が正常に完了時に下図のようなポップアップメッセージが表示されます。ポップアップメッセージには、仕分け先フォルダーのパスとファイル名が表示されます。この部分をクリックすると、エクスプローラが起動しファイルが格納されているフォルダーが表示されます。

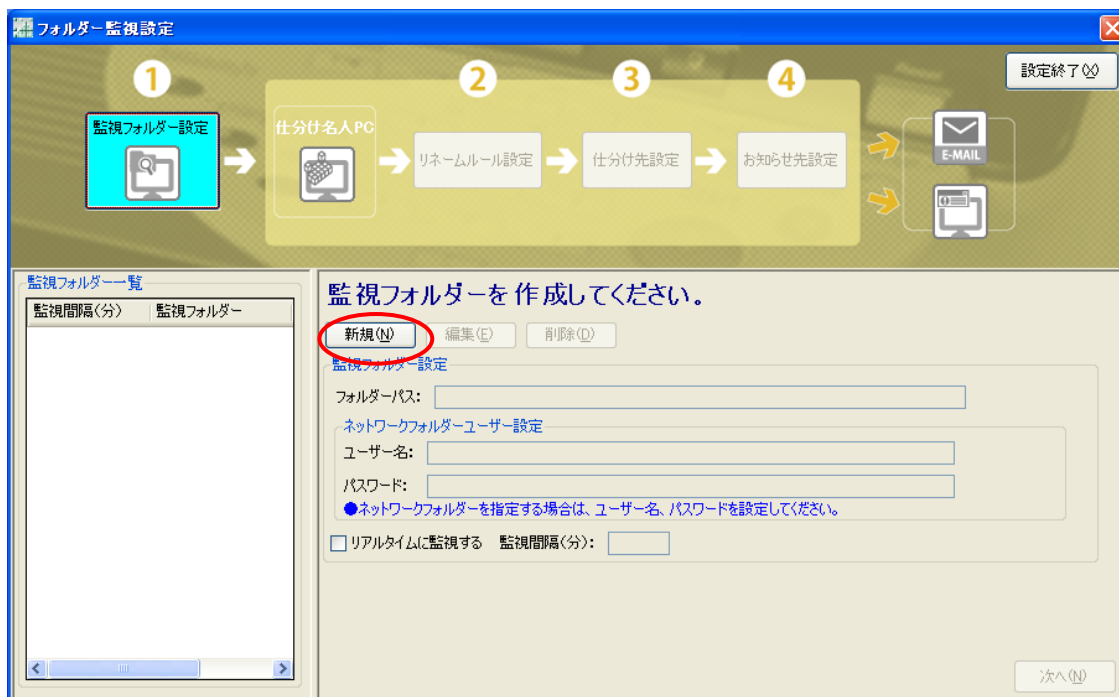


## 7. フォルダー監視の設定

フォルダー監視機能を使用するには、監視対象となるフォルダーと仕分けに必要な情報を登録します。  
仕分け名人 設定アプリケーションにて、以下の手順で必要な情報を設定します。

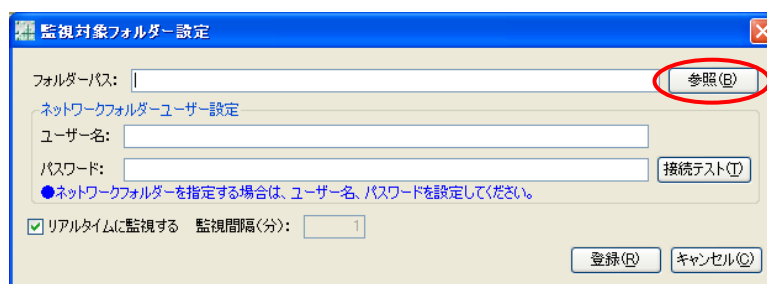
### 7.1. 監視フォルダーの設定

メイン画面の「フォルダー監視」ボタンをクリックし、フォルダー監視設定画面を表示します。



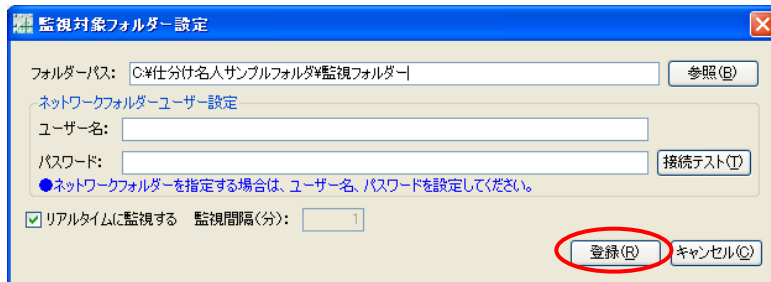
「新規」ボタンを押すと、監視対象フォルダー設定画面が表示されます。

「参照」ボタンをクリックして、監視対象のフォルダーを選択します。



## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

下記では、「C:\仕分け名人フォルダー\監視フォルダー」を選択しています。



監視対象フォルダー設定

フォルダーパス: C:\仕分け名人フォルダー\監視フォルダー 参照(R)

ネットワークフォルダーユーザー設定

ユーザー名:

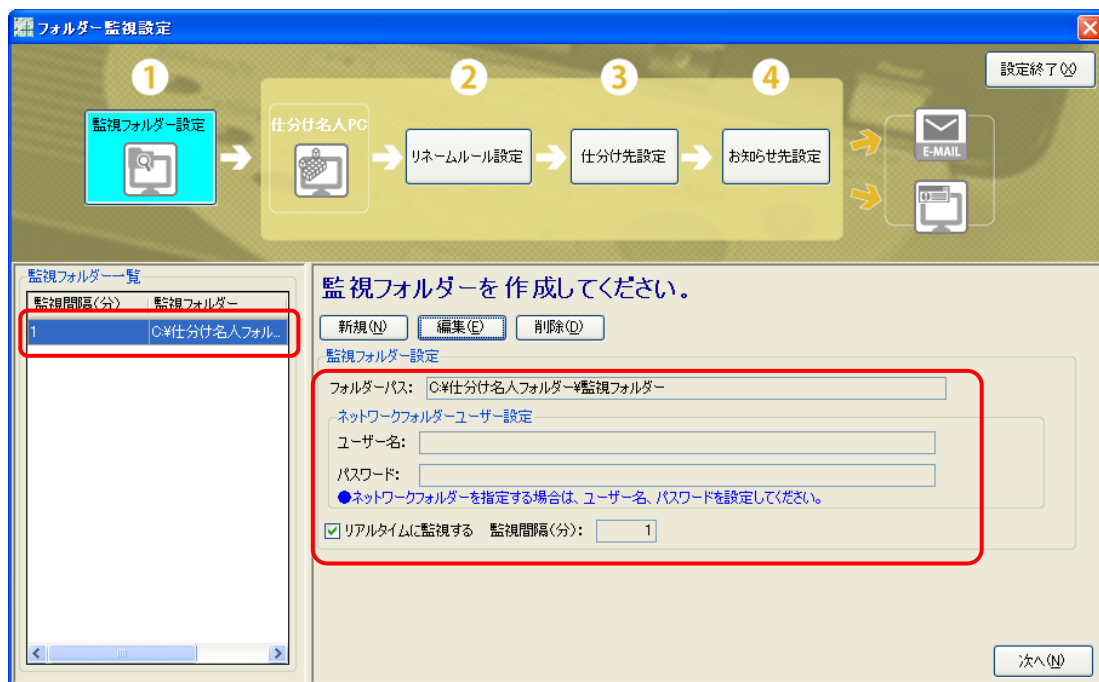
パスワード:  接続テスト(T)

●ネットワークフォルダーを指定する場合は、ユーザー名、パスワードを設定してください。

☒ リアルタイムに監視する 監視間隔(分):

登録(R) キャンセル(C)

「登録」ボタンをクリックすると、監視フォルダー設定画面に反映されます。



フォルダー 監視設定

1 監視フォルダー設定 → 2 仕分け名人PC → 3 リネームルール設定 → 4 仕分け先設定 → お知らせ先設定 → E-MAIL

監視フォルダー一覧

監視間隔(分)	監視フォルダー
1	C:\仕分け名人フォル...

監視フォルダーを作成してください。

新規(N) 編集(E) 削除(D)

監視フォルダー設定

フォルダーパス: C:\仕分け名人フォルダー\監視フォルダー

ネットワークフォルダーユーザー設定

ユーザー名:

パスワード:

●ネットワークフォルダーを指定する場合は、ユーザー名、パスワードを設定してください。

☒ リアルタイムに監視する 監視間隔(分):

次へ(N)

## 7.2. リネームルールの設定、仕分け先設定、お知らせ設定

「6.5 リネームルールの設定」～「6.7 お知らせ設定」を参考に、設定して下さい。

≪設定例≫ (一例ですので、必要に応じ変更して下さい。)

### ■リネームルール

- ・リネームルール名称：リネームルール (監視) 1
- ・リネームアイテムリスト：元ファイル名、ファイル更新日付  
日付書式：YYYYMMDD  
区切り文字：\_ (アンダーバー)
- ・フォルダー名ルール名称：フォルダールール (監視) 1
- ・フォルダー名書式アイテムリスト：ファイル更新日付  
日付書式：YY 年 MM 月  
区切り文字：なし

### ■仕分け先

仕分け先フォルダー：C:\¥仕分け名人フォルダー¥仕分け先 (監視)

## 7.3. フォルダ－監視の確認

仕分けサービスを開始すると、フォルダ－監視が開始されます。

「7.1. 監視フォルダ－の設定」で設定したフォルダ－に任意のファイルをコピーします。

例：(スキャン実施日が 2011 年 05 月 01 日の場合の例)

【監視フォルダ－にコピーするファイル】

仕分けテスト.txt

【仕分け先のフォルダ－】

C:\¥仕分け名人フォルダー¥仕分け先 (監視) ¥2011 年 05 月

【リネームされたファイル名】

仕分けテスト\_20110501.txt



## 8. ファクス転送の設定

ファクス転送機能は、複合機で受信した FAX データを、仕分け名人を介してリネーム及び指定のフォルダーへの転送を行う機能です。

### 8.1. 複合機の受信ファクス転送先フォルダーを設定する

仕分け名人のファクス転送機能を使用するためには、複合機側で、受信した FAX の転送先を指定しておく必要があります。

以下の①～②の手順で、まず宛先を登録し、転送ファクス設定を行ってください。

#### ①宛先の登録

1. Web Connection に管理者としてログイン→「宛先登録」→「短縮宛先」を選択します。
2. 「新規登録」を選択します。(以下は、「ファイル送信 (FTP)」の画面で説明しています。)

The screenshot shows the 'Web Connection' interface for a bizhub C360i. The user is logged in as '管理者' (Administrator). The left sidebar shows the navigation menu with '宛先登録' (Destination Registration) selected, and '短縮宛先' (Shortened Destination) highlighted. The main content area is titled '短縮宛先' and contains the following elements:

- A message: データ送信したい宛先を登録することができます。(You can register destinations you want to send data to.)
- Three dropdown menus for selection:
  - 機能から選択 (Select by function): E-mail宛先
  - 検索方法選択 (Select search method): 番号から検索
  - 番号から検索 (Search by number): 1-50
- A blue 'Go' button next to the search number dropdown.
- A red circle highlights the '新規登録' (New Registration) button.
- At the bottom, there are four buttons: '設定内容' (Set content), '接続確認' (Check connection), '編集' (Edit), and '削除' (Delete).

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

3. 「登録名」「登録 No.」を入力し、「ホストアドレス」「ファイルパス」を続けて入力します。

下記例では、転送先のアドレスを「192.168.200.1」、ファイルパスを「RcvFaxFiles/01」としています。

Web Connection bizhub C360i 管理者 ログアウト

短縮宛先登録

短縮宛先

グループ宛先

プログラム宛先

一時プログラム

E-mail件名

E-mail本文

アプリケーション登録

短縮宛先(新規登録)

[\*] 項目は、入力必須項目です。

機能から選択 FTP宛先

登録No.

☐ 空き番号を使う

☒ 直接入力する 1

キャンセル OK

短縮宛先登録

短縮宛先

グループ宛先

プログラム宛先

一時プログラム

\* 登録名称

登録名称 example

登録名ふりがな example

検索文字 example

宛先を登録名称で検索表示するためのキーワードを指定してください。

あ

☐ 常用(よく使う宛先)

キャンセル OK

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

Web Connection bizhub C360i 管理者 ログアウト

宛先登録

短縮宛先

グループ宛先

プログラム宛先

一時プログラム

E-mail件名

E-mail本文

アプリケーション登録

宛先情報

\* ホストアドレス ☐ ホスト名入力時はチェックをONにする  
192.168.200.1

\* ファイルパス  
RcvFaxFiles/01

\* ユーザーID  
sortexpert

パスワード  
.....

キャンセル OK

実際のファイルパスは、メイン画面の [高度な設定] → [FTP サーバー設定] メニューにて、表示される FTP サーバー設定画面のルートフォルダー配下のフォルダーを指定します。

(インストール後の初期状態であれば、ルートフォルダーパスは「C:¥仕分け名人フォルダー¥FTP」となっています。「RcvFaxFiles」フォルダーは、その直下に自動的に作成されます。)

FTPサーバー設定

ポート番号: 21

ルートフォルダー: C:¥仕分け名人フォルダー¥FTP 参照(B)

ユーザー設定

☐ Anonymous

ユーザー名: sortexpert

パスワード: \*\*\*\*\*

☐ Passiveモードでアクセスする

保存(S) キャンセル(C)

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

4. 次画面で、FTP のユーザーID/パスワードなどの接続設定を入力して、「OK」を押します。

Web Connection bizhub C360i パブリック ログアウト

宛先登録

短縮宛先  
グループ宛先  
プログラム宛先  
一時プログラム

宛先情報

\* ホストアドレス ☐ ホスト名入力時はチェックをONにする  
192.168.200.1

\* ファイルパス  
RcvFaxFiles/01

\* ユーザーID  
sortexpert

パスワード  
.....

キャンセル OK



### ご注意

初期状態のユーザー名は「sortexpert」、パスワードは「sortexpert」となっています。FTP 転送をご使用になる際は、必要に応じて適宜ユーザーID/パスワードを変更して下さい。

5. 登録したファイル送信の宛先が表示されたことを確認して、「閉じる」を押します。

宛先登録

短縮宛先  
グループ宛先  
プログラム宛先  
一時プログラム

機能から選択  
FTP宛先

検索方法選択  
番号から検索

番号から検索  
1-50 Go

新規登録

設定内容 接続確認 編集 削除

No.	機能	登録名称	S/MIME
5	FTP	example	

## ②転送ファクス設定

1. Web Connectionに管理者としてログイン→「ファクス設定」→「機能設定」→「受信データ処理設定」→「転送ファクス設定」を選択します。
2. 「転送ファクス設定」画面で、「転送ファクス設定」のトグルを有効にし、「短縮宛先から選択」を選択します。

Web Connection bizhub C360i 管理者 ログアウト

機能設定

リモート受信設定

再送信設定

受信データ処理設定

PC-FAX送信設定

受信データ削除制限設定

PBX接続設定

IP回線用推奨設定

転送ファクス設定

[\*] 項目は、入力必須項目です。

転送ファクス設定 ☒

出力機能 不達時のみ印刷

転送先

☒ 短縮宛先から選択

キャンセル OK

3. 「短縮宛先一覧」画面で、①で登録した宛先を選択、「OK」を押します。

短縮宛先一覧

検索方法選択 番号から検索

ソート種類 登録名

昇順/降順 昇順

番号から検索 1-50 Go

選択	No.	機能	登録名称	宛先
<input checked="" type="radio"/>	5	FTP	example	\\192.168.200.1\Rc...

キャンセル OK

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

4. 「登録されている宛先」欄に、設定したホストアドレスとパスが表示されます。

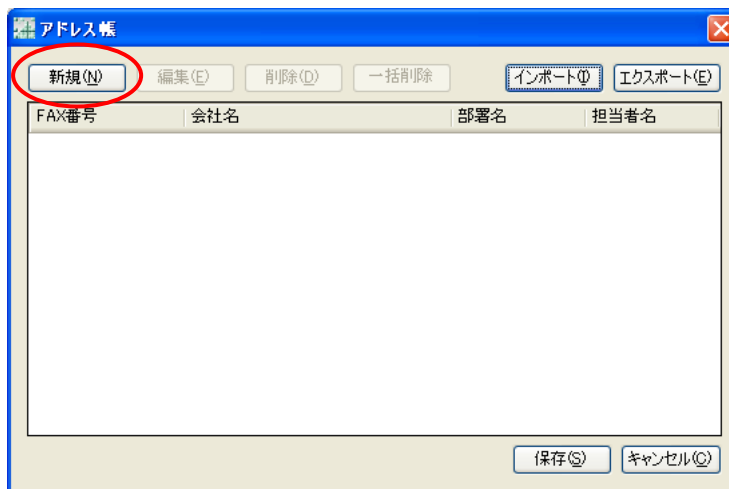


5. 「OK」ボタンを押して、設定を完了します。

## 8.2. アドレス帳を設定する

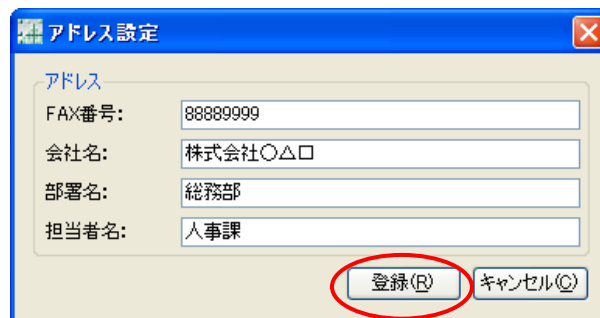
メイン画面で「アドレス帳」ボタンを選択すると、以下の「アドレス帳」画面が表示されます。

「新規」ボタンをクリックし、アドレス設定画面を表示します。



## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

「アドレス設定」画面が表示されます。項目を入力して、「登録」ボタンを選択します。  
登録したアドレスが、アドレス帳画面に表示されます。



アドレス設定

アドレス

FAX番号: 88889999

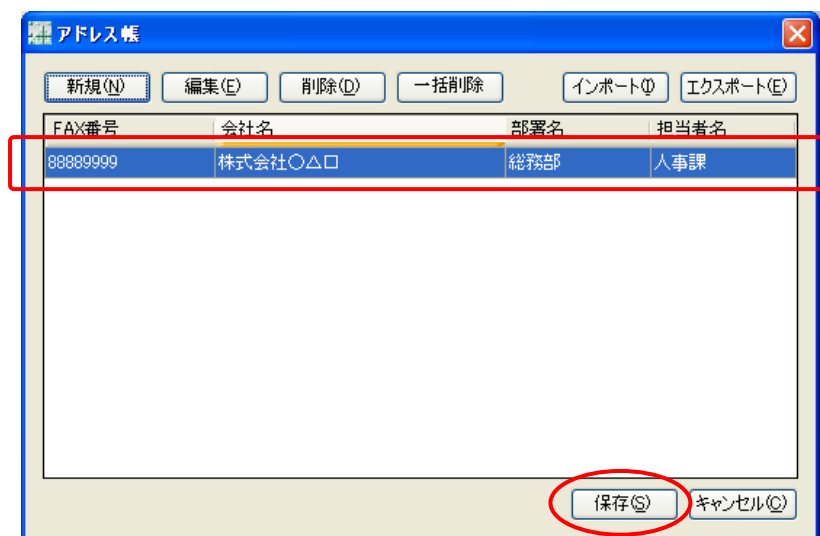
会社名: 株式会社〇△□

部署名: 総務部

担当者名: 人事課

登録(R) キャンセル(Q)

「保存」ボタンをクリックして、設定内容を保存します。



アドレス帳

新規(N) 編集(E) 削除(D) 一括削除 インポート(I) エクスポート(E)

FAX番号	会社名	部署名	担当者名
88889999	株式会社〇△□	総務部	人事課

保存(S) キャンセル(Q)

### 8.3. 使用する複合機の情報を設定

メイン画面の「ファクス転送」ボタンをクリックし、ファクス転送設定画面を表示します。

「6.3 使用する複合機の情報を設定」を実施済みの場合、そこで登録した複合機が複合機情報欄に表示されています。

ただし、「装置種別」欄については、6.3 章では設定していないので、背景が赤く表示されています。

ここでは、既に登録されている複合機を使用するため、ファクス転送機能の使用に不足している情報を設定するため、「編集」ボタンをクリックして、複合機情報設定画面を表示します。



#### ひとこと

新規に別の複合機を登録する場合は、「新規」ボタンをクリックして、新規に複合機を登録して下さい。設定内容は「編集」ボタンと同様ですので、「編集」ボタンを参考にして下さい。



## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

表示時は、6.3 章で設定した複合機名称と装置アドレスのみが設定されているので、その他の不足している情報を入力します。(装置種別は、お使いの複合機を選択して下さい。)

複合機情報設定

複合機名称: 管理用複合機1号

装置アドレス: 10 . 195 . 48 . 13 装置検索(F)

装置種別: bizhub C360/C280/C220

FAX回線1の情報

ファクスID:

備考:

部署名:

担当者:

FAX回線2の情報

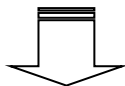
ファクスID:

備考:

部署名:

担当者:

登録(R) キャンセル(C)



複合機情報設定

複合機名称: 管理用複合機1号

装置アドレス: 10 . 195 . 48 . 13 装置検索(F)

装置種別: bizhub C360/C280/C220

FAX回線1の情報

ファクスID: 55556666

備考: 受信専用

部署名: 第一事業部第一システム部

担当者: コエカ花子

FAX回線2の情報

ファクスID: 7778888

備考: 送受信用

部署名: 第一事業部第一システム部

担当者: ミノルタ太郎

登録(R) キャンセル(C)

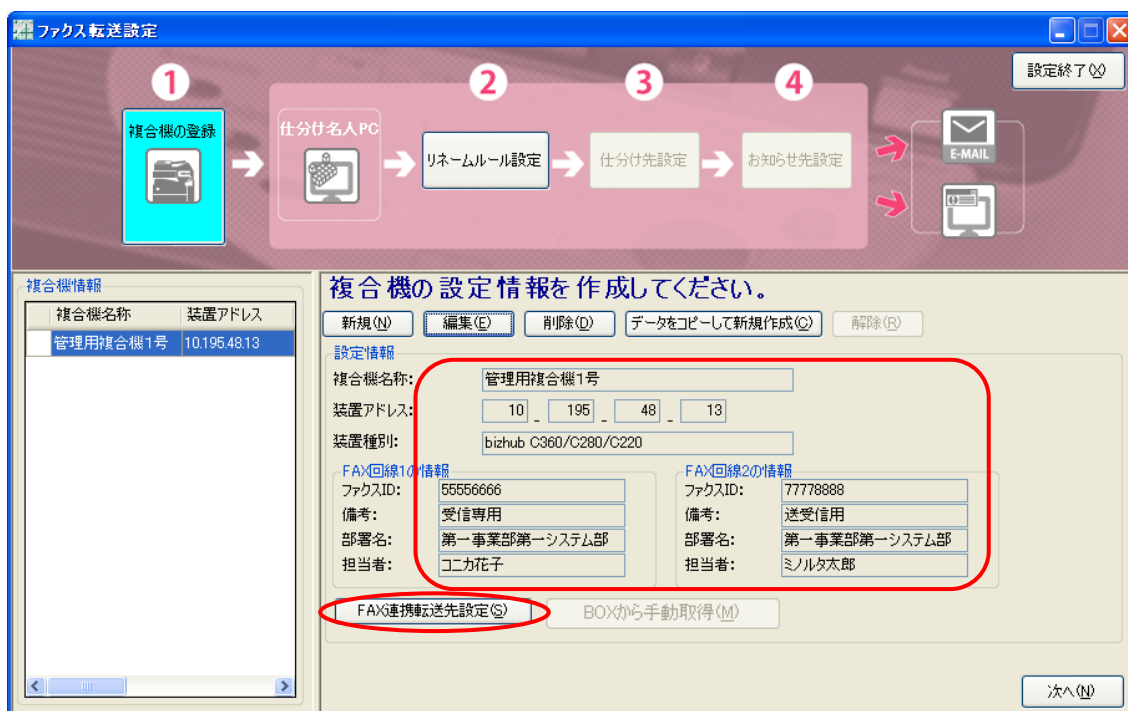
設定が完了したら、「登録」ボタンをクリックし、設定内容を反映します。



### ご注意

「複合機名称」、「装置アドレス」を変更すると、仕分けスキンの同一複合機の情報も変更されます。

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

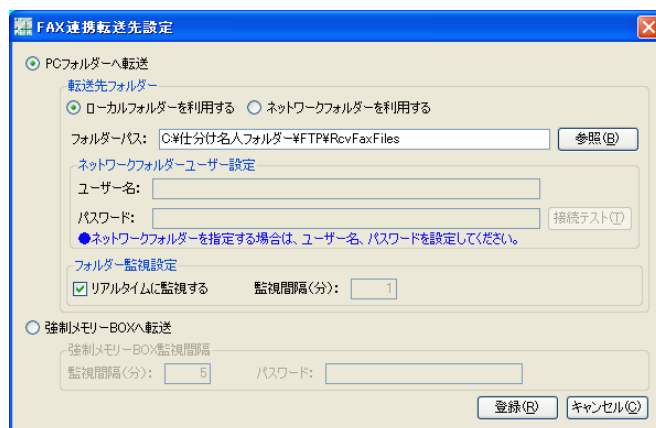


「FAX 連携転送先設定」ボタンをクリックし、FAX 連携転送先設定画面を表示します。

ここで設定するフォルダーは、「8.1. 複合機の受信ファクス転送先フォルダーを設定する」で設定した、FAX データファイルの複合機からの転送先フォルダーです。

インストール直後は、下記の設定となっており、で「FTP サーバー設定」画面に設定したルートフォルダー配下の RcvRFaxFiles フォルダーとなっています。

8.1 章の設定を使用する場合は、特に変更する必要が無いので、このまま「登録」ボタンをクリックして設定を登録します。



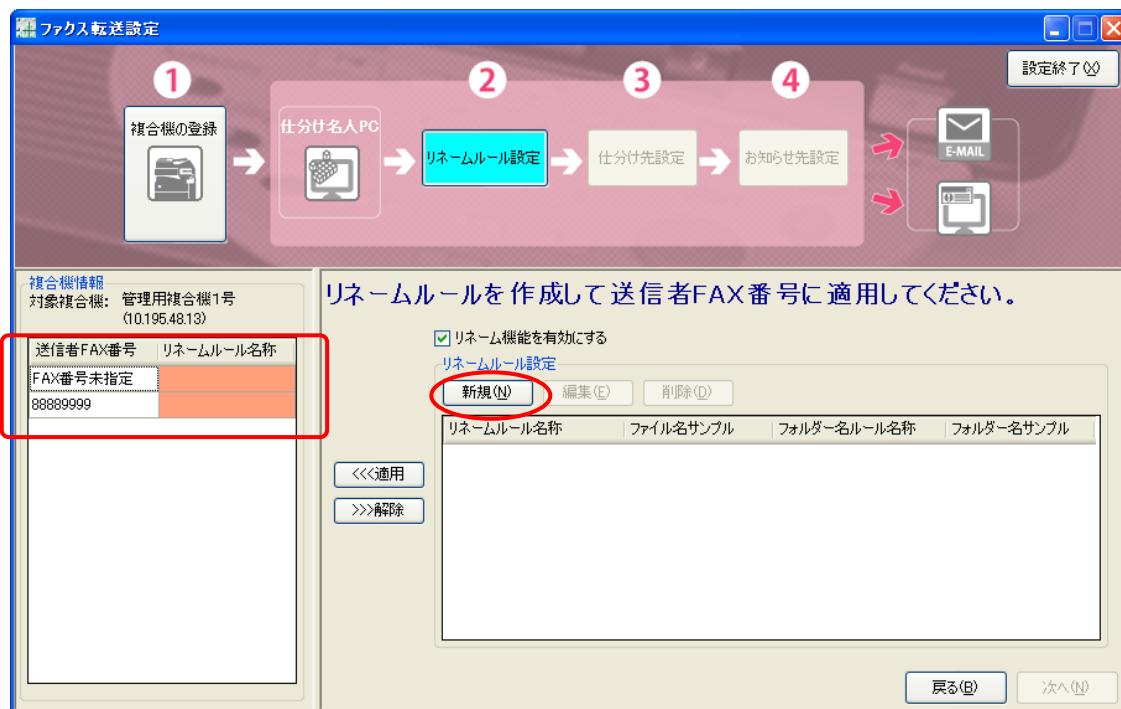
### ご注意

フォルダーパスは、複合機毎に異なるフォルダーを指定する必要があります。

また、フォルダー監視機能の監視フォルダーや、FTP サーバーのルートフォルダーと同じフォルダーも指定できません。

## 8.4. リネームルールの設定

複合機の登録を行うと、「次へ」及び「リネームルール設定」ボタンが操作可能になります。「次へ」または「リネームルール設定」ボタンをクリックして、リネームルール設定画面を表示します。



画面の左欄に、8.2章でアドレス帳に登録したFAX番号の一覧と、「FAX番号未指定」という項目が表示されます。

このFAX番号毎にリネームルールを適用します。

「新規」ボタンをクリックし、リネームルール設定画面を表示します。



### ひとこと

送信者FAX番号一覧には、標準で『FAX番号未指定』行が表示されています。

これは、アドレス帳に登録されていない送信者ファクス番号から、FAXを受信した場合の「リネームルール」、「仕分け先」、「お知らせ先」を設定するために使用します。

なお、アドレス帳に登録したファクス番号に、「仕分け先」を設定しなかった場合にも『FAX番号未指定』の設定が使用されます。

『FAX番号未指定』に対しては、仕分け先の設定が**必須**です。

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

### 例) 設定例

#### ■設定内容

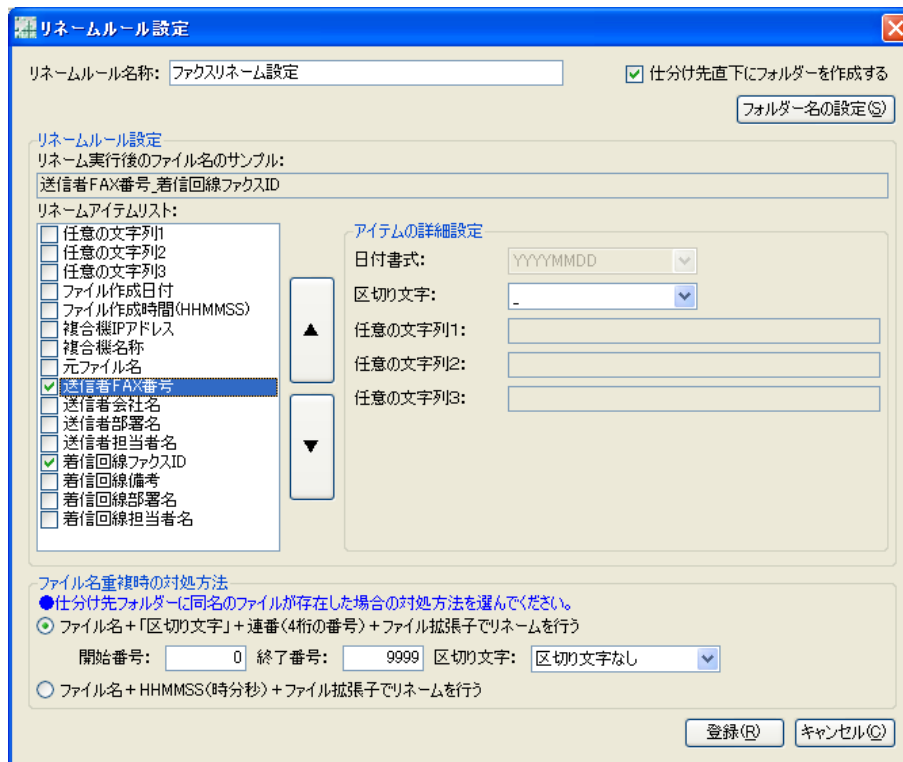
送信者ファクス番号	リネームルール設定	仕分け先設定	お知らせ先設定
① FAX 番号未指定	リネーム 1	仕分け先 1	お知らせ 1
② 0300001111	(無し)	(無し)	(無し)
③ 0300002222	リネーム 2	(無し)	お知らせ 2
④ 0300003333	(無し)	仕分け先 2	(無し)

#### ■仕分け結果

送信者ファクス番号	リネーム結果	仕分け先結果	お知らせ先結果
① FAX 番号未指定	リネーム 1	仕分け先 1	お知らせ 1
② 0300001111	リネーム 1	仕分け先 1	お知らせ 1
③ 0300002222	リネーム 1	仕分け先 1	お知らせ 1
④ 0300003333	(無し)	仕分け先 2	(無し)

上記②、③は、仕分け先設定を行っていないので、FAX 番号未指定の設定が反映されます。

「6.5. リネームルールの設定」を参考に、リネームルール設定を行います。




### ご注意

以下のリネームアイテムを使用するには、仕分け名人対応ファームウェアが搭載された複合機が必要です。

- ・ 送信者 FAX 番号
- ・ 送信者会社名
- ・ 送信者部署名
- ・ 送信者担当者名

仕分け名人対応ファームウェアについては、サービス実施店までお問い合わせください。

## 8.5. 仕分け先設定

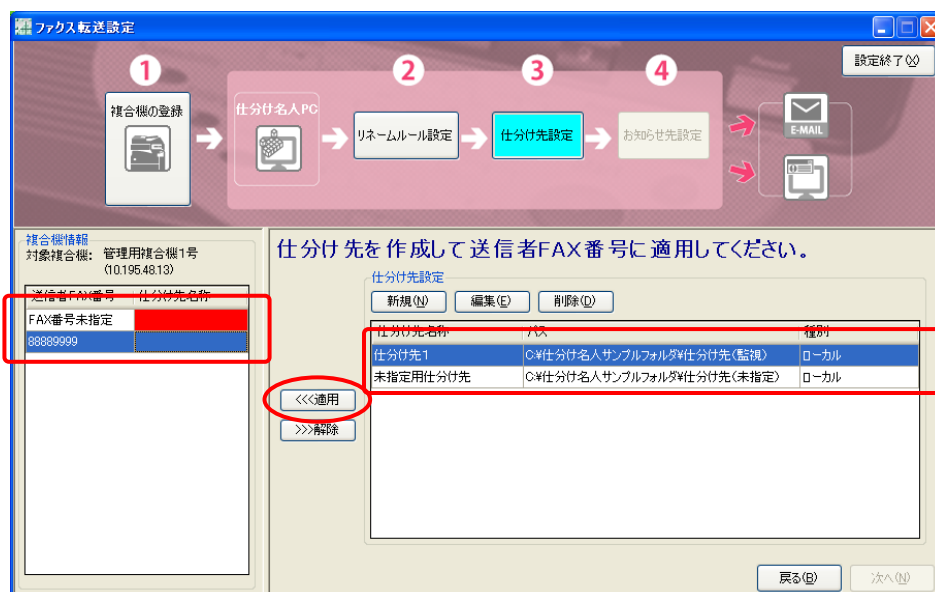
リネームルール設定を行うと、「次へ」及び「仕分け先設定」ボタンが操作可能になります。「次へ」または「仕分け先設定」ボタンをクリックして、仕分け先設定画面を表示します。

「FAX 番号未指定」行の「仕分け先名称」欄背景が赤くなっていますが、「FAX 番号未指定」の仕分け先設定は必須となっています。これは、アドレス帳で未指定の FAX 番号からの FAX データを仕分け可能とするためです。

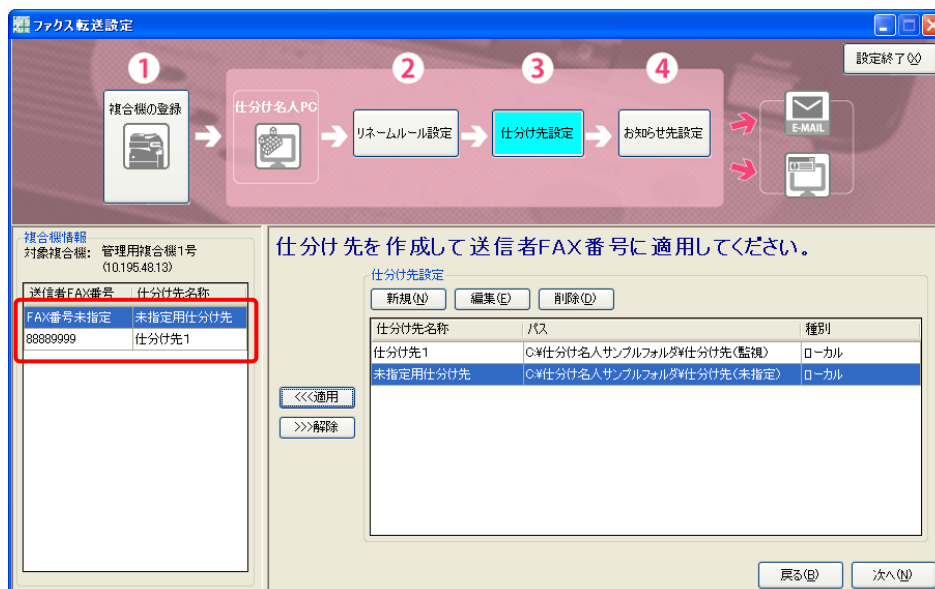
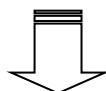
「新規」ボタンを押して仕分け先を指定します。

(仕分け先の作成については、「6.6. 仕分け先の設定」を参照して下さい。)

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)



「適用」ボタンを押して、各送信者 FAX 番号に仕分け先を適用します。

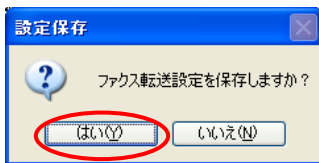


## 8.6. お知らせ先の設定

お知らせ先の設定は、「6.7. お知らせ先の設定」を参照して下さい。

ここでは、このまま「保存」ボタンを押します。

保存の確認画面が表示されますので、「はい」ボタンを押します。



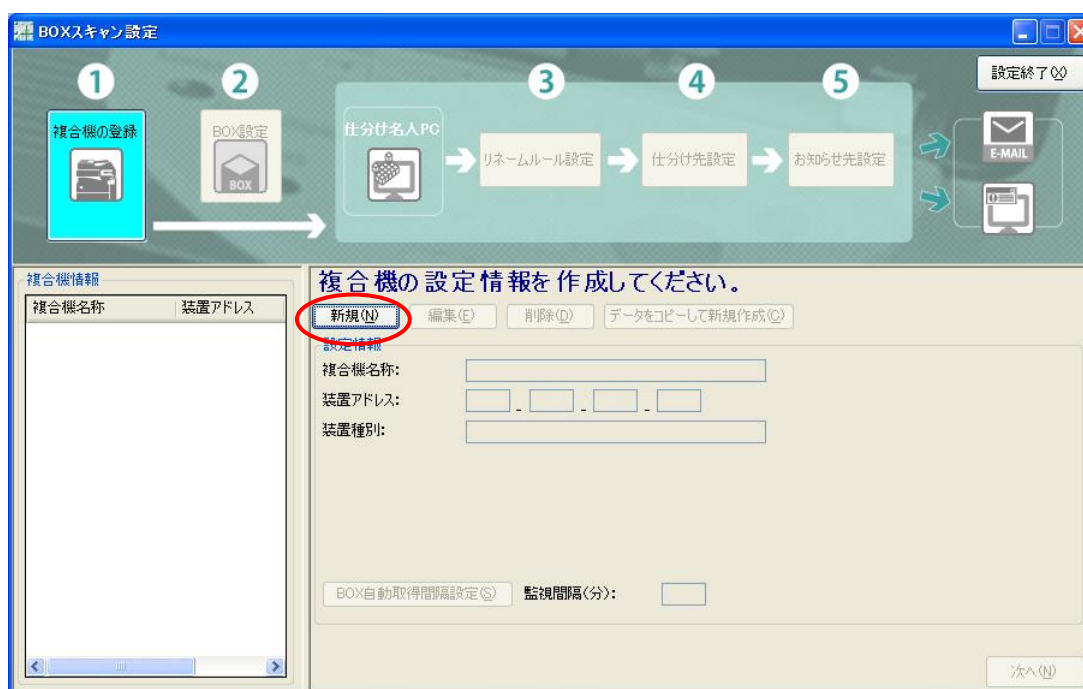
保存が完了したら、「設定終了」ボタンを押し、ファクス転送設定画面を閉じます。

## 9. BOX スキャンの設定

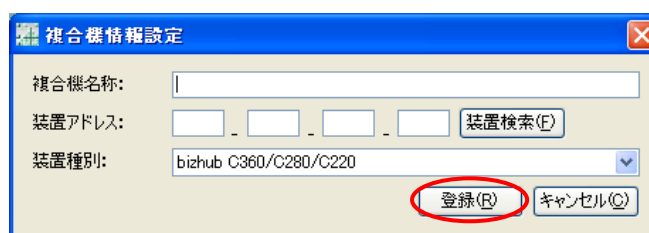
BOX スキャン機能を使用するには、監視対象となる BOX の情報と仕分けに必要な情報を登録します。  
仕分け名人 設定アプリケーションにて、以下の手順で必要な情報を設定します。

### 9.1. 複合機の登録

メイン画面の「BOX スキャン」ボタンをクリックし、BOX スキャン設定画面を表示します。



「新規」ボタンを押すと、複合機情報設定画面が表示されます。



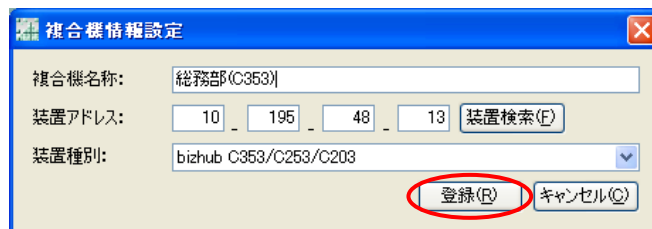
複合機情報設定画面で下記3項目にご使用になる複合機の情報を設定して、「登録」ボタンを押してください。

入力項目	説明
複合機名称	複合機を識別するための名称です。任意の名称を設定してください。
装置アドレス	複合機の IP アドレスです。「装置検索」で設定することも可能です。詳細はユーザズガイドを参照してください。
装置種別	ご使用の複合機の機種を選択して下さい。



## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

下記では、複合機名称を「総務部 (C353)」とし、各設定をしています。



複合機情報設定

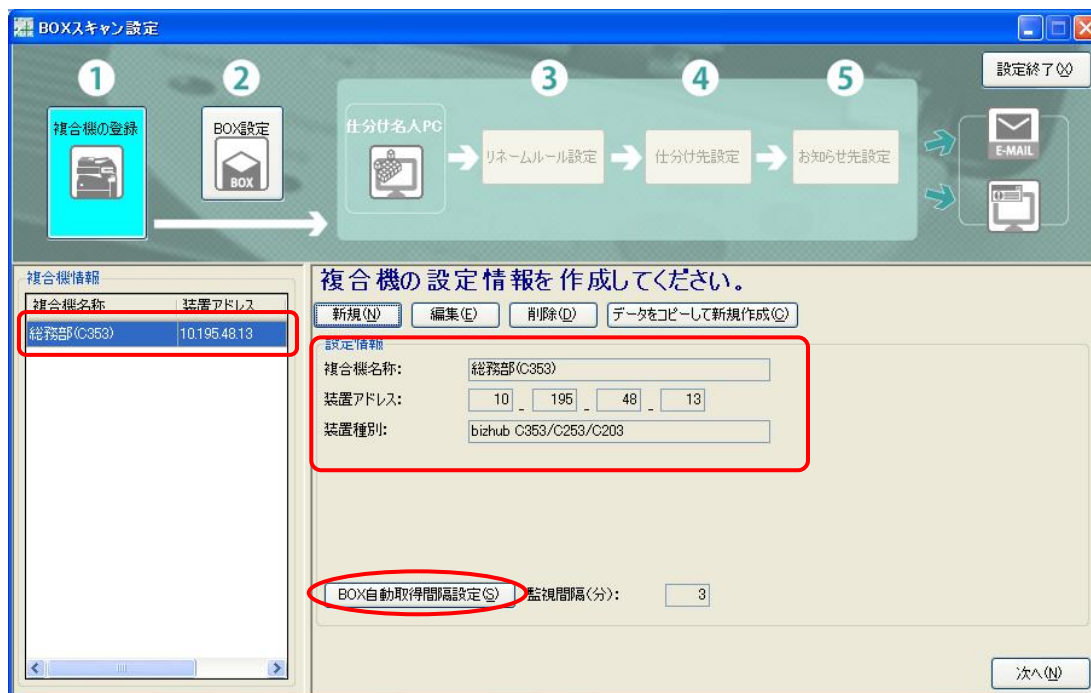
複合機名称: 総務部 (C353)

装置アドレス: 10 - 195 - 48 - 13 [装置検索(F)]

装置種別: bizhub C353/C253/C203

[登録(R)] [キャンセル(Q)]

「登録」ボタンをクリックすると、赤枠部分に、登録した情報が表示されます。



BOXスキャン設定

1 複合機の登録 2 BOX設定 3 仕分け名人PC 4 リネームルール設定 5 仕分け先設定 6 お知らせ先設定

設定終了

複合機情報

複合機名称	装置アドレス
総務部 (C353)	101954813

複合機の設定情報を作成してください。

[新規(N)] [編集(E)] [削除(D)] [データをコピーして新規作成(C)]

設定情報

複合機名称: 総務部 (C353)

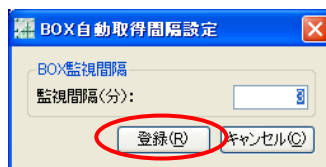
装置アドレス: 10 - 195 - 48 - 13

装置種別: bizhub C353/C253/C203

[BOX自動取得間隔設定(S)] [監視間隔(分): 3]

次へ(N)

「BOX 自動取得間隔設定」ボタンをクリックし、BOX ヘデータを取得する間隔を指定します。  
(標準では、3 分間隔。)



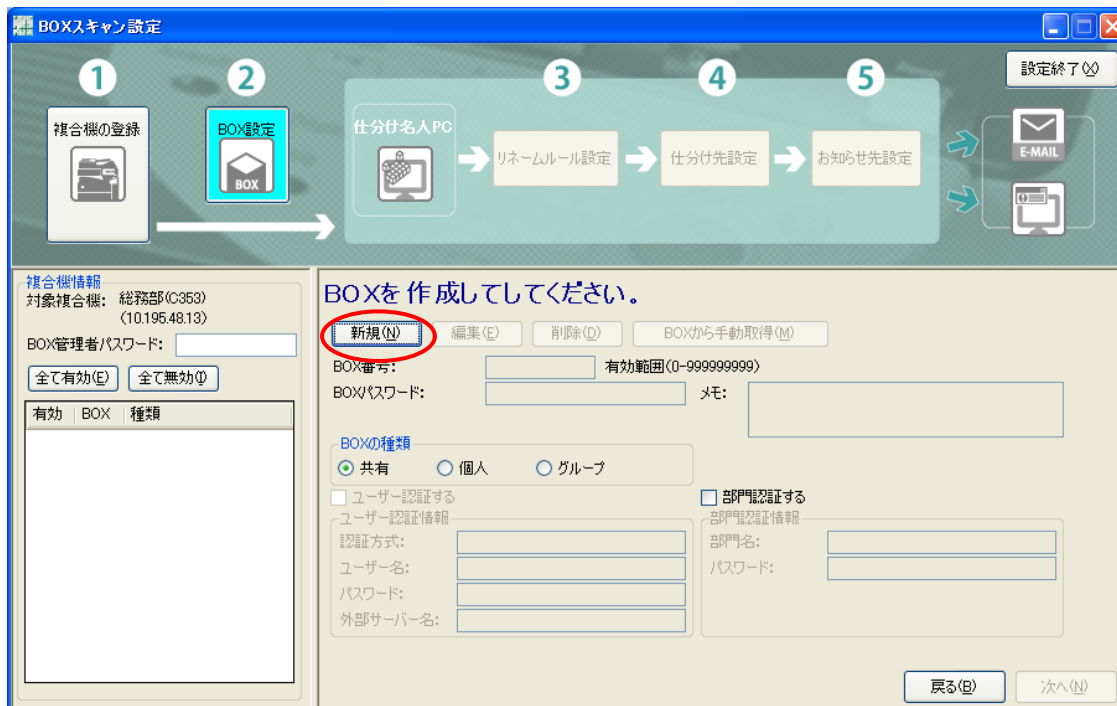
BOX自動取得間隔設定

BOX監視間隔

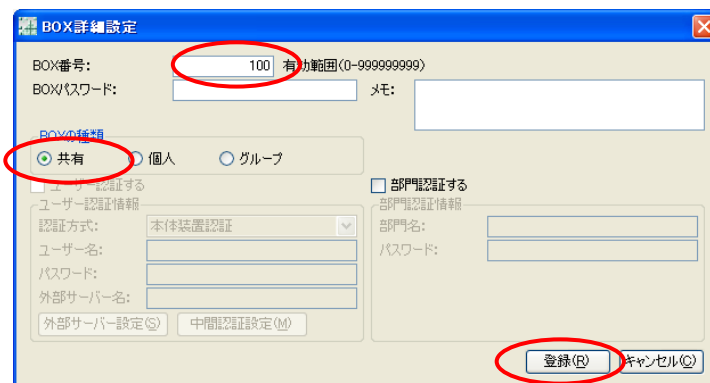
監視間隔(分): 3

[登録(R)] [キャンセル(Q)]

## 9.2. BOX の設定



「新規」ボタンを押すと、BOX 詳細設定画面が表示されます。



「BOX 番号」に取得したい BOX 番号を入力します。BOX にパスワードが設定されている場合は、パスワードも入力します。

次に、取得したい BOX の種類を選択します。(上記例では、「共有」を選択。実際の BOX の種類に合わせて選択します。「共有」以外の場合については、ユーザーズガイドを参照して下さい。)

設定が完了したら、「登録」ボタンをクリックします。

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

「登録」ボタンをクリックすると、BOX スキャン設定画面に反映されます。



### ご注意

「BOX スキャン機能」および「BOX 転送 (TSI) 機能」にて連携可能な BOX の上限は 63 個までとなります。

64 個以上のボックスとの連携設定を行っても、ボックス内のファイルを取得することはできません。

強制メモリー受信ボックスは対象外となります。

### 9.3. リネームルールの設定、仕分け先設定、お知らせ設定

「6.5 リネームルールの設定」～「6.7 お知らせ設定」を参考に、設定して下さい。

《設定例》（一例ですので、必要に応じ変更して下さい。）

#### ■リネームルール

- ・リネームルール名称：リネームルール (BOX) 1
- ・リネームアイテムリスト：任意の文字列 1、ファイル更新日付  
任意の文字列 1：BOX スキャン  
日付書式：YYYYMMDD  
区切り文字：\_ (アンダーバー)
- ・フォルダー名ルール名称：フォルダールール (BOX) 1
- ・フォルダー名書式アイテムリスト：ファイル更新日付  
日付書式：YY 年 MM 月  
区切り文字：なし

■仕分け先

仕分け先フォルダー : C:\¥仕分け名人フォルダー¥仕分け先 (BOX)

#### 9. 4. BOX スキャンの確認

仕分けサービスを開始すると、BOX スキャンが開始されます。

「9. 2. BOX の設定」で設定した BOX にスキャンデータを保存します。

例 : (BOX スキャン実施日が 2011 年 05 月 01 日の場合の例)

【100 番 BOX のデータファイル名】

SKMBT\_C353C110501133210.pdf

【仕分け先のフォルダー】

C:\¥仕分け名人フォルダー¥仕分け先 (BOX) ¥2011 年 05 月

【リネームされたファイル名】

BOX スキャン\_仕分けテスト\_20110501.pdf

## 10. BOX 転送 (TSI) の設定

BOX スキャン機能を使用するには、複合機にて「ファクス設定」－「機能設定」で「TSI 受信振分け設定」で TSI 受信振分け先の登録を行う必要があります。

複合機には下記の TSI 振分け設定が行なわれているものとします。

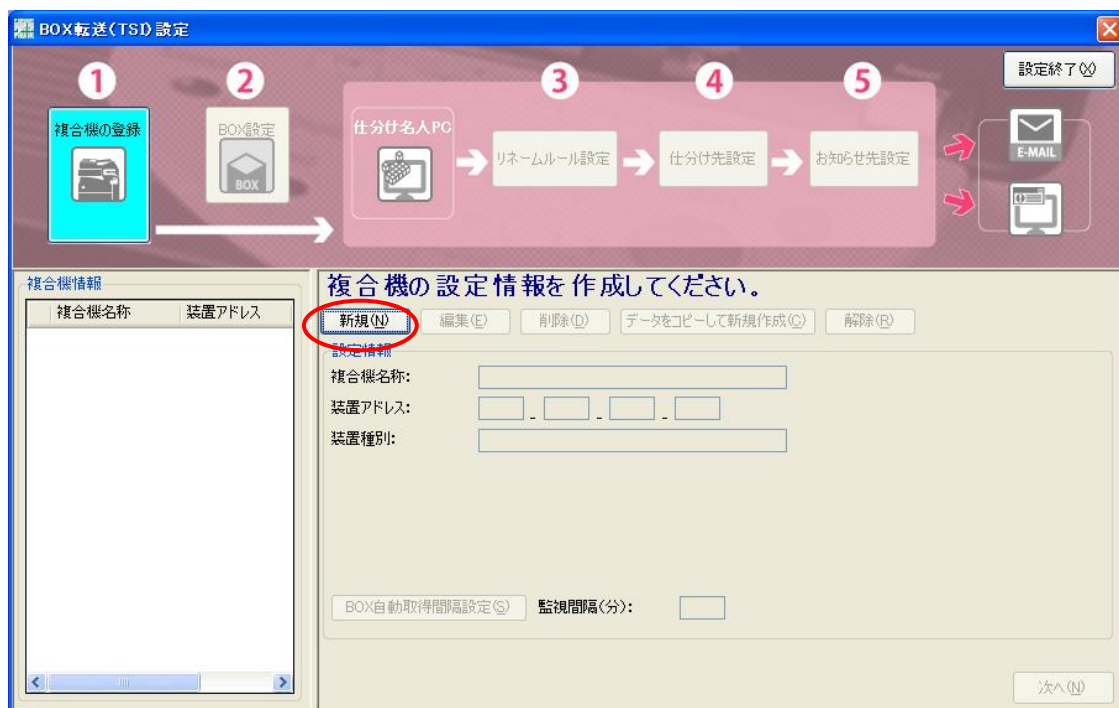
BOX 番号	TSI 番号
101	0344445555
102	0455556666

(TSI 受信振分け設定方法の詳細は、複合機のマニュアルを参照して下さい。)

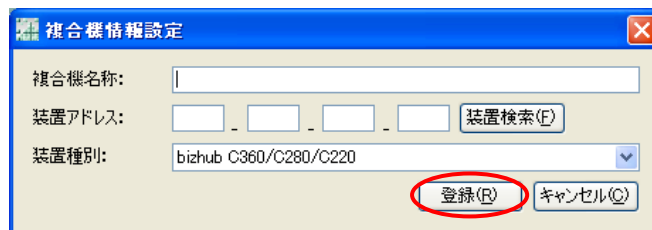
仕分け名人 設定アプリケーションにて、以下の手順で必要な情報を設定します。

### 10.1. 複合機の登録

メイン画面の「BOX 転送 (TSI)」ボタンをクリックし、BOX 転送 (TSI) 設定画面を表示します。



「新規」ボタンを押すと、複合機情報設定画面が表示されます。

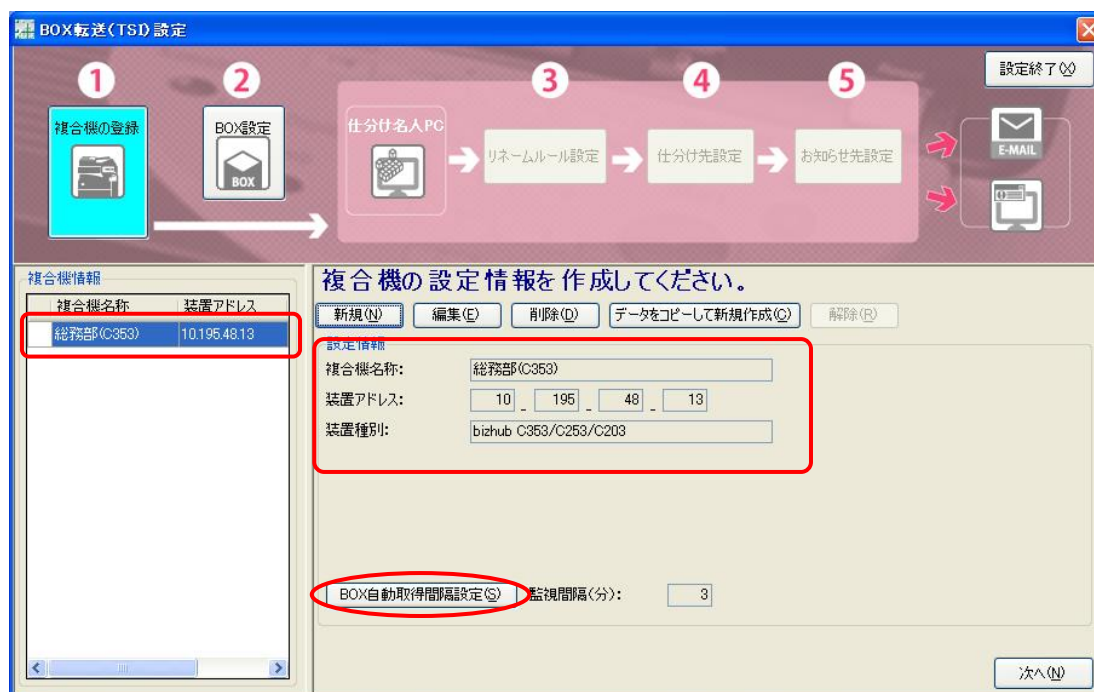


## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

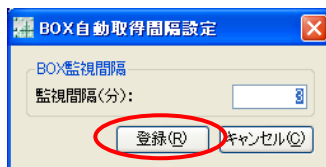
複合機情報設定画面で下記 3 項目にご使用になる複合機の情報を設定して、「登録」ボタンを押してください。

入力項目	説明
複合機名称	複合機を識別するための名称です。任意の名称を設定してください。
装置アドレス	複合機の IP アドレスです。「装置検索」で設定することも可能です。詳細はユーザズガイドを参照してください。
装置種別	ご使用の複合機の機種を選択して下さい。

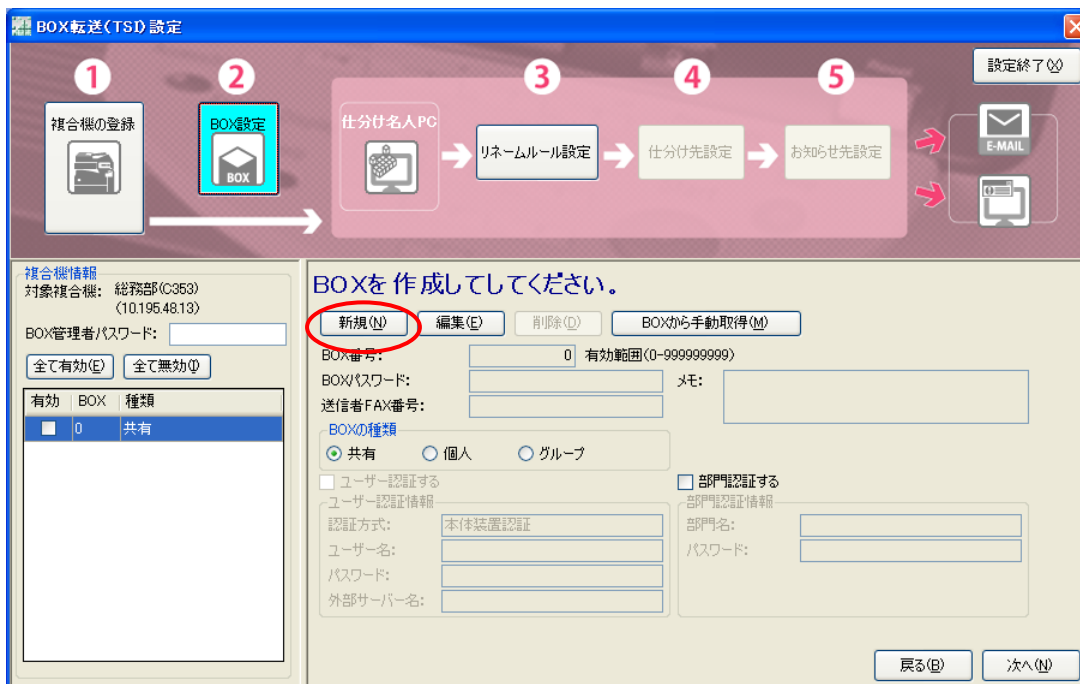
「登録」ボタンをクリックすると、BOX 転送 (TSI) 設定画面の赤枠部分に、登録した情報が表示されます。



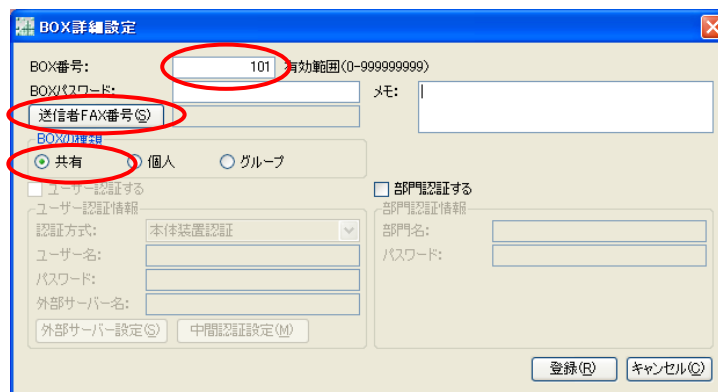
「BOX 自動取得間隔設定」ボタンをクリックし、BOX ヘデータを取得する間隔を指定します。  
(標準では、3 分間隔。)



## 10.2. BOX の設定



「新規」ボタンを押すと、BOX 詳細設定画面が表示されます。



「BOX 番号」に取得したい BOX 番号を入力します。BOX にパスワードが設定されている場合は、パスワードも入力します。

次に、取得したい BOX の種類を選択します。(上記例では、「共有」を選択。実際の BOX の種類に合わせて選択します。「共有」以外の場合については、ユーザズガイドを参照して下さい。)

次に、「送信者 FAX 番号」ボタンを押し、アドレス帳一覧画面を表示します。

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

FAX番号	会社名	部署名	担当者名
0344445555	コニカミノルタ株式会社	総務部	山下一郎
0455556666	コニミ商事	外商部	鈴木均
0666666666	ABC商事	第一システム部	第一次郎
0366666666	株式会社コニミ	管理部	山本花子
0377777777	コニカミノルタ化学工業	第2工場	児玉環
0344455556	コニカミノルタワークス	開発部	小田洋一

複合機の「TSI 受信振分け設定」で当該 BOX に設定されている FAX 番号を選択し「選択」ボタンを押すと、BOX 詳細設定画面に FAX 番号が反映されます。

BOX番号: 101 有効範囲(0-999999999)

BOXパスワード:

送信者FAX番号(S): 0344445555

BOXの種類

☒ 共有 ☐ 個人 ☐ グループ

☐ ユーザー認証する

ユーザー認証情報

認証方式: 本体装置認証

ユーザー名:

パスワード:

外部サーバー名:

外部サーバー設定(S) 中間認証設定(M)

☐ 部門認証する

部門認証情報

部門名:

パスワード:

登録(R) キャンセル(C)

設定が完了したら、「登録」ボタンをクリックします。



### ひとこと

アドレス帳に該当の FAX 番号が存在しない場合は、「新規」ボタンで登録できます。

アドレス帳画面の詳細は、「8.2 アドレス帳を設定する」または、ユーザーズガイドを参照して下さい。



## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

設定内容が、BOX 転送 (TSI) 画面に反映されます。



### ご注意

「BOX スキャン機能」および「BOX 転送 (TSI) 機能」にて連携可能な BOX の上限は 63 個までとなります。

64 個以上のボックスとの連携設定を行っても、ボックス内のファイルを取得することはできません。強制メモリー受信ボックスは対象外となります。

### 10.3. リネームルールの設定、仕分け先設定、お知らせ設定

「6.5 リネームルールの設定」～「6.7 お知らせ設定」を参考に、設定して下さい。

＜設定例＞（一例ですので、必要に応じ変更して下さい。）

#### ■リネームルール

- ・リネームルール名称：リネームルール (BOXTSI) 1
- ・リネームアイテムリスト：送信者会社名、送信者部署名、ファイル更新日付  
日付書式：YYYYMMDD  
区切り文字：\_（アンダーバー）
- ・フォルダー名ルール名称：フォルダールール (BOXTSI) 1
- ・フォルダー名書式アイテムリスト：ファイル更新日付  
日付書式：YY 年 MM 月  
区切り文字：なし

#### ■仕分け先

仕分け先フォルダー：C:\仕分け名人フォルダー\仕分け先 (BOXTSI)

### 10.4. BOX 転送 (TSI) の確認

仕分けサービスを開始すると、BOX スキャンが開始されます。

「10.2. BOX の設定」で設定した BOX にスキャンデータを保存します。

例：(BOX スキャン実施日が 2011 年 05 月 01 日の場合の例)

【100 番 BOX のデータファイル名】

SKMBT\_C353C110501154311.pdf

【仕分け先のフォルダー】

C:\仕分け名人フォルダー\仕分け先 (BOXTSI) \2011 年 05 月

【リネームされたファイル名】

コニカミノルタ株式会社\_総務部\_20110501.pdf

## 11. こんな時には

この章ではご使用いただいている中で表示されるメッセージや事象の対応方法を説明しています。

こちらに記載されていないメッセージや事象につきましてはユーザーズマニュアルをご確認ください。

また下記 Web サイトにございますよくあるご質問ページにも最新情報を発信しておりますのでご確認をお願いします。

Web サイト URL : <http://Konicaminolta.jp/pr/shiwake2-qa>

ご確認いただき、ご対応方法がご不明な場合は、サービス実施店までお問い合わせください（お問い合わせは、「製品版」をご利用の場合のみとさせていただきます）。

### 11.1. 複合機にアプリケーション登録できない

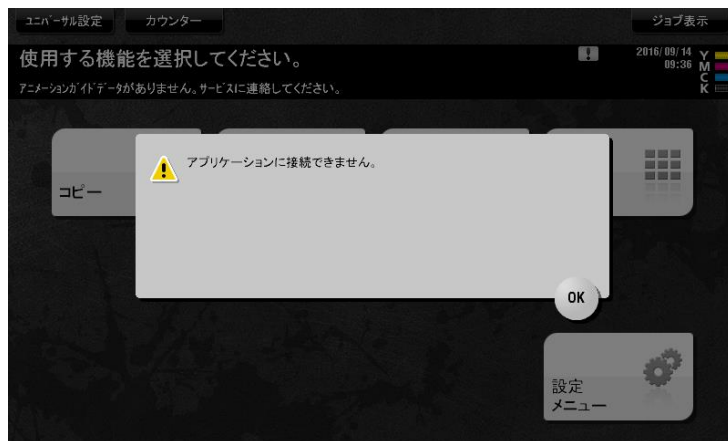
仕分け名人設定アプリケーションの「パネル連携設定画面」の「アプリケーション登録」ボタン操作で、複合機に仕分け名人の情報を登録したとき、「仕分け名人アプリケーション登録に失敗しました。」メッセージが表示される場合は下記の内容をご確認ください。

また、メッセージ中にアプリケーション登録の失敗原因が記載されているため、下記内容と合わせてご確認ください。

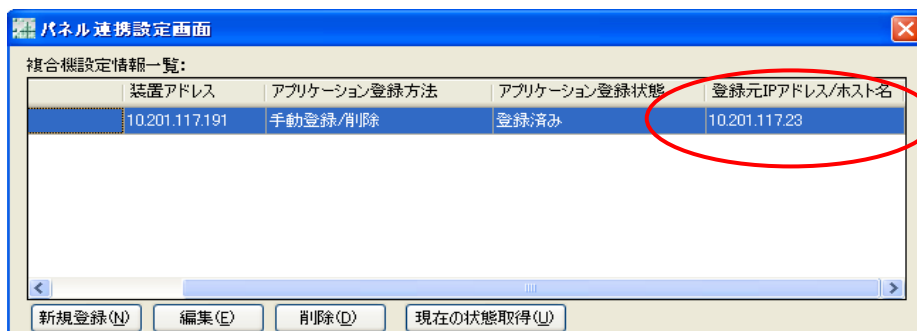
- ① 複合機の電源は ON になっていますか？
- ② 複合機はネットワークに接続されていますか？
- ③ 仕分け名人 設定アプリケーションに設定した複合機の IP アドレスが間違っていないですか？  
→ パネル連携設定画面の複合機設定情報一覧に表示されている、装置アドレスが複合機本体の IP アドレスが一致しているかご確認ください。
- ④ 複合機登録画面で設定した管理者パスワードと、複合機に設定されている管理者パスワードは一致していますか？
- ⑤ 登録対象の複合機に、既に 10 件以上のアプリケーションが登録されていませんか？
- ⑥ 複合機で、仕分け名人を使用してスキャン実行中またはスキャンファイル転送中ではありませんか？  
スキャン実行、スキャンファイル転送が終了してから再度アプリケーション登録を実施してください。
- ⑦ 複合機のパネルに「リモート操作中です 電源を切断しないでください」が表示されていませんか？  
複合機に他のコンピュータから WebConnection の管理者モードでログインしている場合や、仕分け名人の登録/削除/複合機検索/最新状態取得中操作をしている場合などは「リモート操作中です 電源を切断しないでください」が表示されます。この画面が表示されている間、アプリケーション登録は出来ません。
- ⑧ 複合機を管理者モードで使用中ではありませんか？  
管理者モードで複合機を使用中の場合、アプリケーション登録は出来ません。管理者モードを終了してからアプリケーション登録を実施してください。

## 11.2. 複合機のパネルに「接続エラー」と表示される

複合機で仕分け名人を操作して「接続エラー」または、「アプリケーションに接続できません」のメッセージが表示される場合は以下を確認してください。



- ① 複合機がネットワークに接続されていますか？
- ② 仕分け名人をインストールしているコンピュータの電源は ON になっていますか？
- ③ 仕分け名人をインストールしているコンピュータはネットワークに接続されていますか？
- ④ 仕分け名人をインストールしているコンピュータにて仕分け名人サービスが起動していますか？  
⇒起動方法、起動確認方法は、ユーザズガイドの「4.7 仕分けを開始・停止する」をご参照ください。
- ⑤ Windows ファイアウォール（または Windows ファイアウォール以外のファイアウォールアプリケーション）の許可プログラムとして仕分け名人が登録されていますか？  
⇒「11.4. Windows ファイアウォールの設定変更」をご参照ください。
- ⑥ 仕分け名人をインストールしているコンピュータの IP アドレス（または DNS ホスト名）と、アプリケーション登録で複合機に登録したコンピュータの IP アドレス（または DNS ホスト名）は一致していますか？  
⇒パネル連携設定画面の複合機設定情報一覧の「登録元 IP アドレス/ホスト名」欄に、アプリケーション登録で複合機に登録したコンピュータのアドレスが表示されます。この情報がコンピュータの現在の情報と一致しているかご確認ください。一致していない場合は、アプリケーション削除操作にて複合機に登録した情報を削除後、再度アプリケーション登録をしてください。



### 11.3. 複合機からのファイル転送に失敗する

複合機から仕分け名人をインストールしているコンピュータにスキャンファイルを転送できない場合は下記の項目をご確認ください。

- ① 仕分け名人をインストールしているコンピュータにて仕分け名人サービスが起動していますか？
- ② 仕分け名人をインストールしているコンピュータの電源はONになっていますか？
- ③ 仕分け名人をインストールしているコンピュータはネットワークに接続されていますか？
- ④ 仕分け名人をインストールしているコンピュータのIPアドレス（またはDNSホスト名）と、複合機がファイル転送先として指定しているIPアドレス（またはDNSホスト名）は一致していますか？
- ⑤ 仕分け名人 設定アプリケーションの FTP サーバー設定画面にて設定したポート番号が、他のアプリケーションで使用されていませんか？ 使用中のポート番号の確認方法は「3.2. 仕分け名人アプリケーションが使用するポート番号の確認」をご参照ください。
- ⑥ Windows ファイアウォール（または Windows ファイアウォール以外のファイアウォールアプリケーション）の許可プログラムとして仕分け名人が登録されていますか？  
⇒「11.4. Windows ファイアウォールの設定変更」をご参照ください。
- ⑦ FTP サーバー設定画面で設定したルートフォルダーが存在しますか？
- ⑧ FTP サーバー設定画面で設定したルートフォルダーにアクセスできますか？

## 11.4. Windows ファイアウォールの設定変更

仕分け名人アプリケーションは、複合機や他のコンピュータと通信を行います。この通信が Windows ファイアウォールでブロックされないように、Windows ファイアウォールで許可されたプログラムに下記プログラムの追加が必要です。

- ◇ KonicaMinoltaFTP.exe
- ◇ BoxManagerService.exe
- ◇ ScanMfpPanelManager.exe
- ◇ SortManager.exe

複合機との通信に失敗する場合は、以下の手順で Windows ファイアウォールの設定を確認・変更してください。



### ご注意

ご使用のコンピュータに、Windows ファイアウォール以外のファイアウォールアプリケーションがインストールされている場合は、当該アプリケーションのマニュアル等をご参照いただき、以下 Windows ファイアウォールで許可したアプリケーションを許可するよう設定してください。

### 11.4.1. Windows 8.1 以降のファイアウォール設定

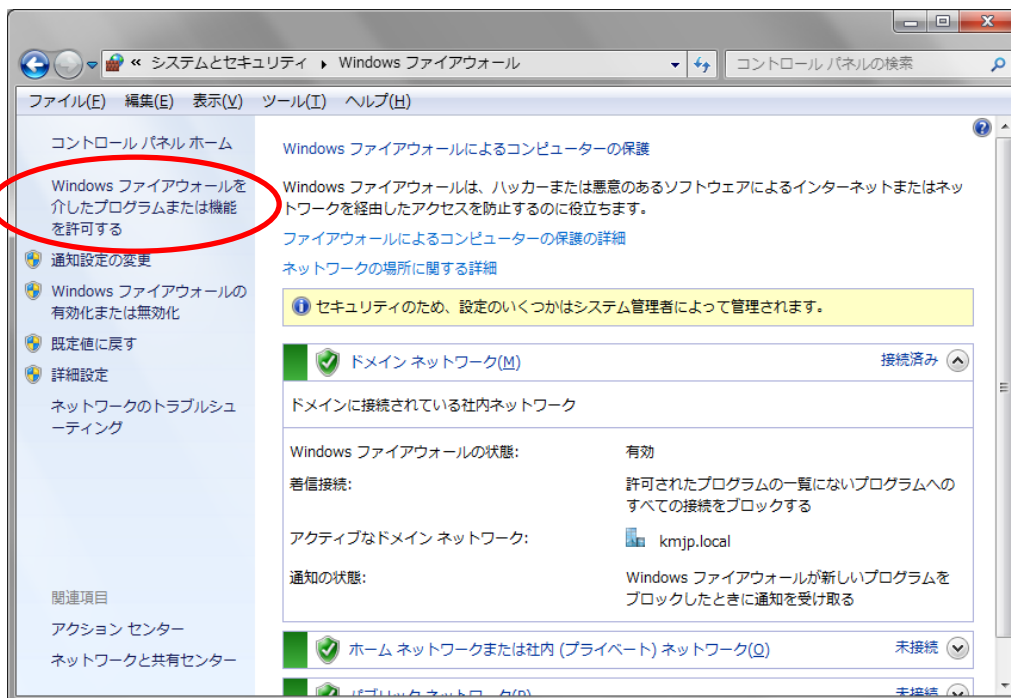
- ① [コントロールパネル]->[システムとセキュリティ]->[Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]をクリックします。



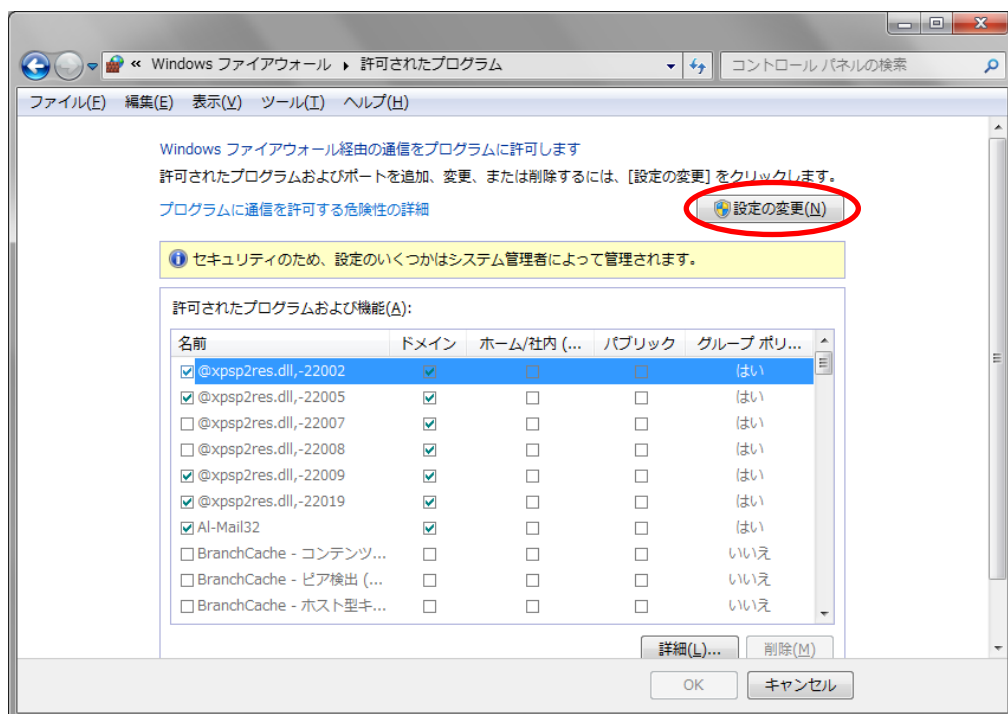
※クラシック表示の場合には、[コントロールパネル]->[Windows ファイアウォール]から、

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

「Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する」をクリックします。

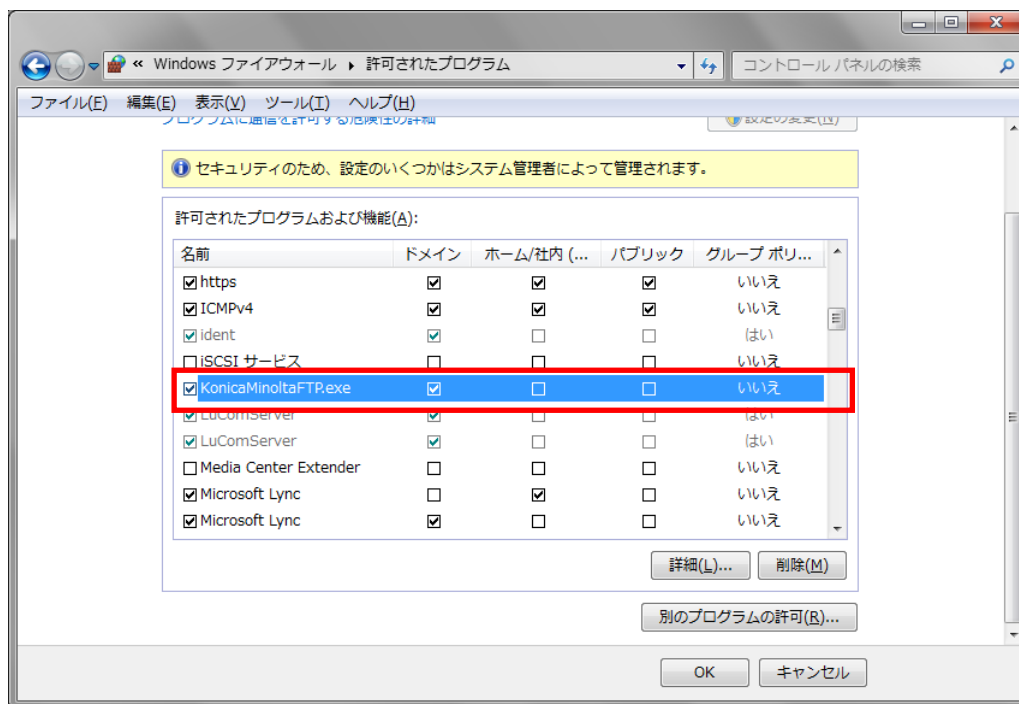


② 「設定の変更」をクリックします。



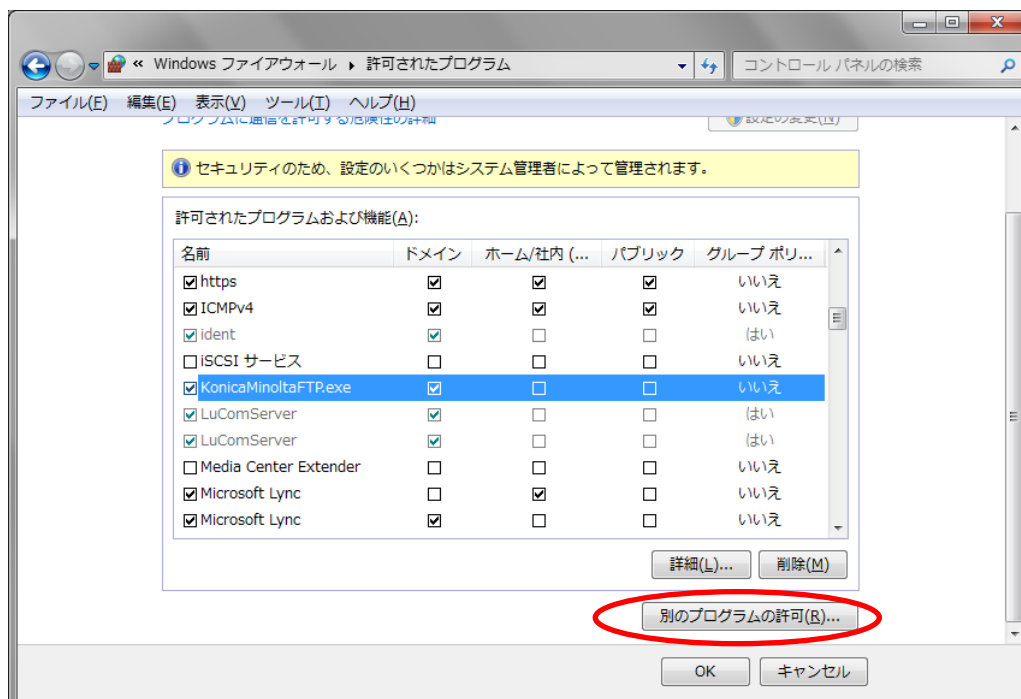
③ Windows ファイアウォールで許可されているプログラムが画面中央に表示されます。「プログラムおよび機能」欄に、「KonicaMinoltaFTP.exe」「ScanMfpPanelManager.exe」「SortManager.exe」「BoxManagerService.exe」が表示されていることを確認してください。

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)



ひとつでも表示されていない項目があれば、以下の手順で設定を追加してください。

- ④ Windows ファイアウォールで許可されているプログラムが画面中央に表示されます。「別のプログラムの追加」ボタンをクリックします。



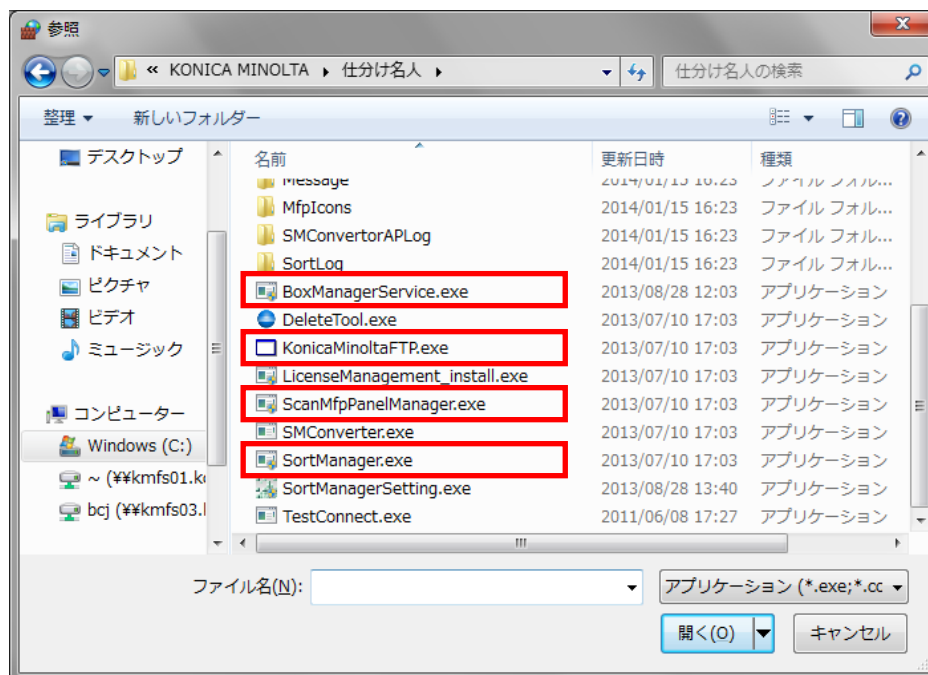
- ⑤ プログラムの一覧が表示されます。仕分け名人アプリケーションは、一覧中には表示されていませんので、「参照」ボタンをクリックして検索します。



## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

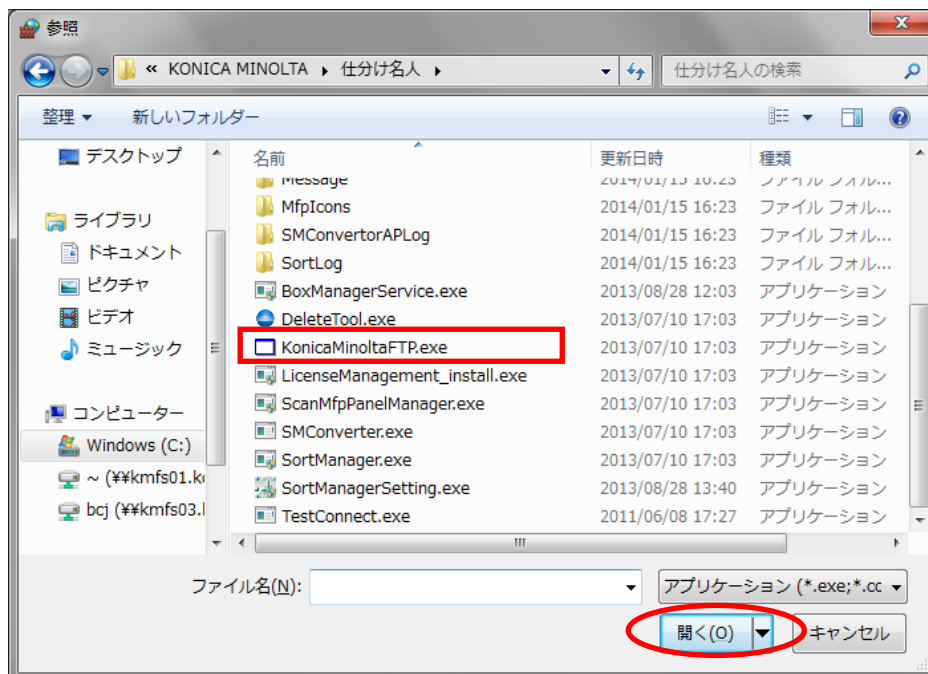


- ⑥ 参照ダイアログが表示されます。仕分け名人のインストールディレクトリ(デフォルトでは C:\Program Files\KONICA MINOLTA\仕分け名人)まで移動すると、以下の画面が表示されます。赤枠内の 4 つのアプリケーション (KonicaMinoltaFTP.exe、BoxManagerService.exe、ScanMfpPanelManager.exe、SortManager.exe) を 1 つずつ許可されたプログラムとして登録する必要があります。

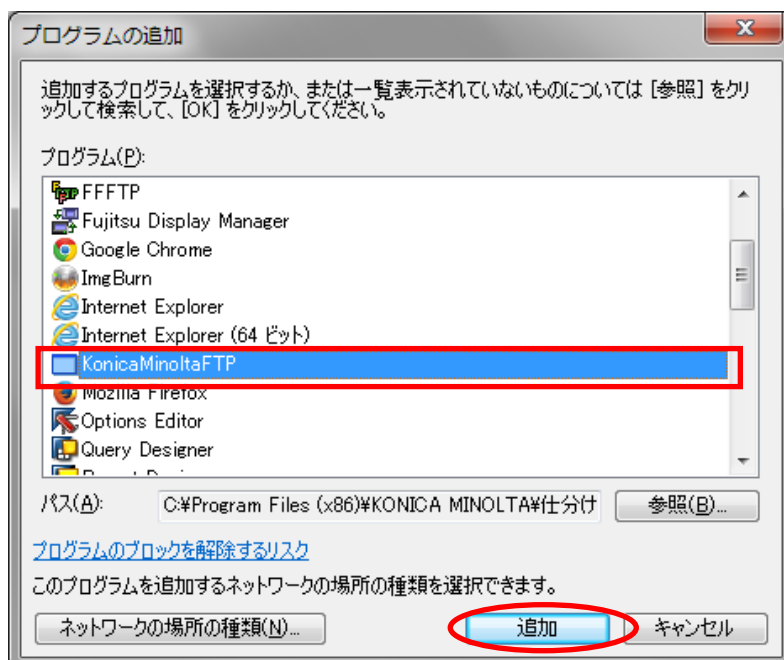


## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

- ⑦ 以下、「KonicaMinoltaFTP.exe」を登録する手順を示します。KonicaMinoltaFTP.exe を選択し、「開く」ボタンをクリックします。

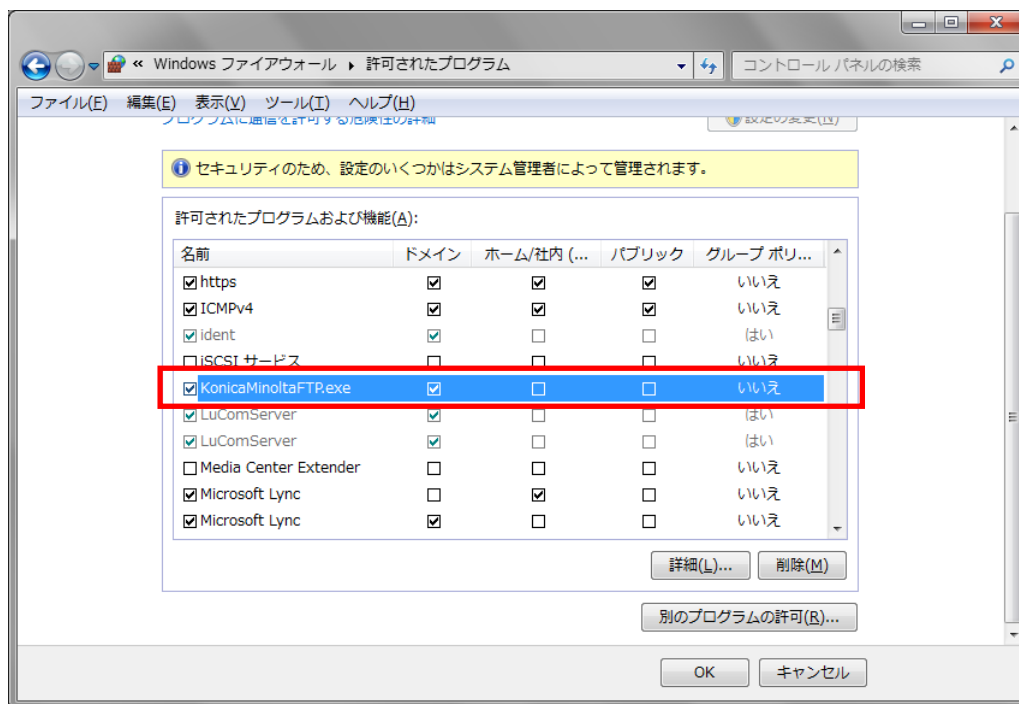


- ⑧ プログラムの一覧に、KonicaMinoltaFTP.exe が追加されます。「追加」ボタンをクリックします。



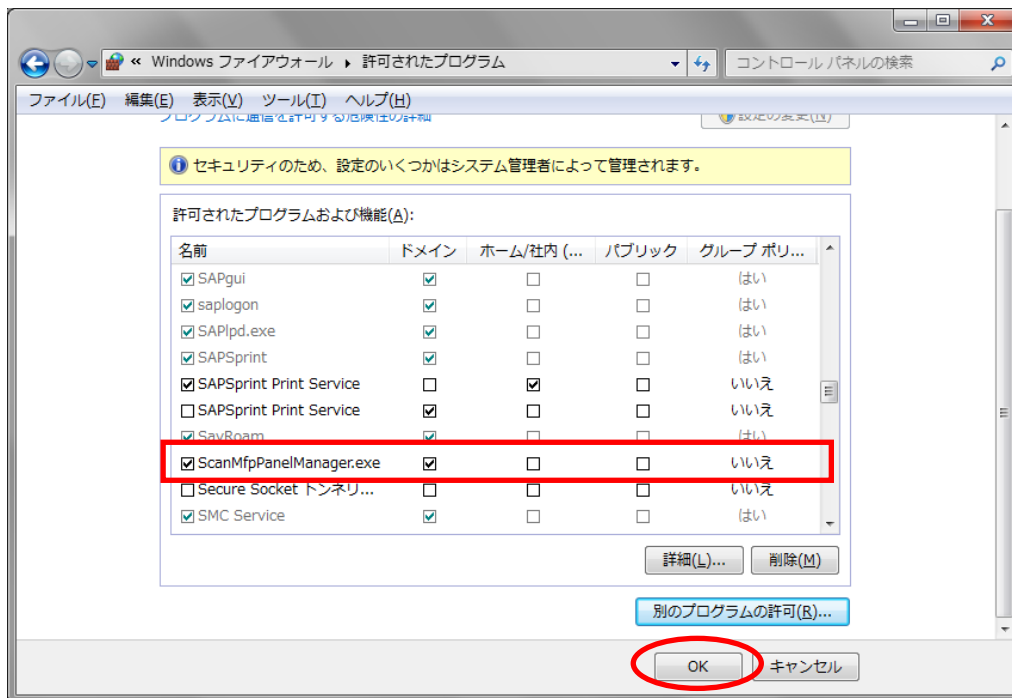
- ⑨ Windows ファイアウォールで許可されているプログラムに、KonicaMinoltaFTP.exe が追加されます。

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)



- ⑩ 以上の手順で、Windows ファイアウォールでのプログラムの許可設定ができます。  
**KonicaMinoltaFTP.exe** と同様の手順で **BoxManagerService.exe**、**ScanMfpPanelManager.exe**、**SortManager.exe** も登録してください。登録後、「OK」ボタンをクリックして、画面を閉じます。

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)



Windows ファイアウォールの設定は以上です。

## 11.5. 仕分け名人アプリケーションが使用するポート番号を変更する

仕分け名人アプリケーションでは、複合機との通信に下記ポート番号を使用します。

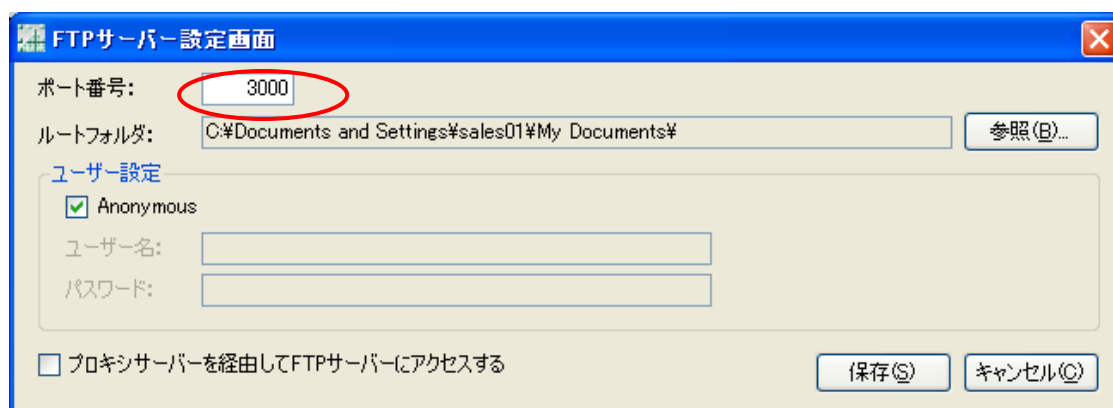
- KonicaMinoltaFTP.exe → ポート番号 21
- ScanMfpPanelManager.exe → ポート番号 50002
- SortManager.exe → ポート番号 50004

これらのポート番号が既に使用されている場合、以下の手順で変更してください。

### 11.5.1. KonicaMinoltaFTP.exe が使用するポート (21) の変更

設定アプリケーションの「メイン画面」メニュー「共通設定」→「FTP サーバー設定」より「FTP サーバー設定画面」を表示し、設定を変更します。

以下はポート番号に「3000」を設定した場合の例です。



#### ご注意

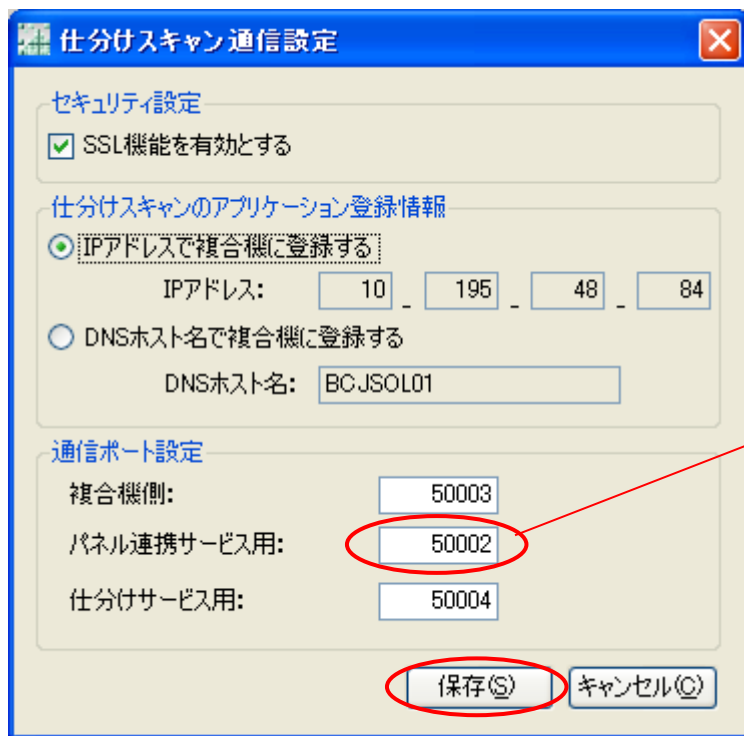
変更したポート番号は、「仕分け名人サービス」の再起動後に有効になります。

### 11.5.2. ScanMfpPanelManager.exe が使用するポート (50002) の変更

仕分けサービスが開始されている場合は、メインメニューの

メイン画面の [高度な設定] → [仕分けスキャン設定] → [通信設定] メニューにて、仕分けスキャン通信設定画面を表示します。

画面下部の「パネル連携サービス用」欄の数値を変更します。



The image shows a Windows-style dialog box titled "仕分けスキャン通信設定" (Job Sorting Scan Communication Settings). It has a blue title bar with a close button. The dialog is divided into three sections: "セキュリティ設定" (Security Settings) with a checked "SSL機能を有効とする" (Enable SSL function) checkbox; "仕分けスキャンのアプリケーション登録情報" (Job Sorting Scan Application Registration Information) with two radio buttons, "IPアドレスで複合機に登録する" (Register with the multifunction device by IP address) which is selected, and "DNSホスト名で複合機に登録する" (Register with the multifunction device by DNS host name); and "通信ポート設定" (Communication Port Settings) with three text boxes: "複合機側:" (50003), "パネル連携サービス用:" (50002), and "仕分けサービス用:" (50004). The "50002" value is circled in red. At the bottom, there are "保存(S)" (Save) and "キャンセル(C)" (Cancel) buttons, both of which are also circled in red. A red arrow points from a text box on the right to the "50002" value.

ここを変更する。  
例) 50002 ⇒ 10002

変更後、「保存」ボタンをクリックすることで、設定が保存されます。



#### ご注意

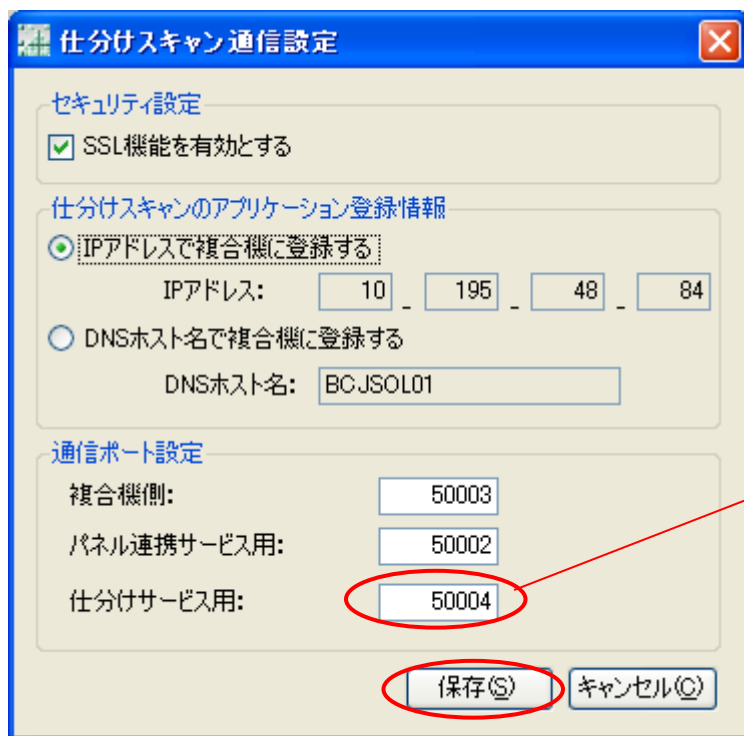
ポート番号を変更する前に、複合機にアプリケーション登録済みでないかご確認ください。既に登録済みだった場合はパネル連携設定画面にてアプリケーション削除してください。

また、変更したポート番号は、「仕分け名人設定アプリケーション」、「仕分け名人サービス」の再起動後に有効になります。

### 11.5.3. SortManager.exe が使用するポート (50004) の変更

メイン画面の [高度な設定]→[仕分けスキャン設定]→[通信設定] メニューにて、仕分けスキャン通信設定画面を表示します。

画面下部の「仕分けサービス用」欄の数値を変更します。



The image shows a Windows-style dialog box titled "仕分けスキャン通信設定" (Sorting Scan Communication Settings). It has three main sections: "セキュリティ設定" (Security Settings) with a checked box for "SSL機能を有効とする"; "仕分けスキャンのアプリケーション登録情報" (Application Registration Information for Sorting Scan) with two radio buttons, "IPアドレスで複合機に登録する" (selected) and "DNSホスト名で複合機に登録する", and corresponding input fields for IP address (10.195.48.84) and DNS host name (BCJSOL01); and "通信ポート設定" (Communication Port Settings) with three rows: "複合機側:" (50003), "パネル連携サービス用:" (50002), and "仕分けサービス用:" (50004). The "仕分けサービス用:" value is circled in red. At the bottom are "保存(S)" (Save) and "キャンセル(C)" (Cancel) buttons, both also circled in red.

ここを変更する。  
例) 50004 ⇒ 10004

変更後、「保存」ボタンをクリックすることで、設定が保存されます。



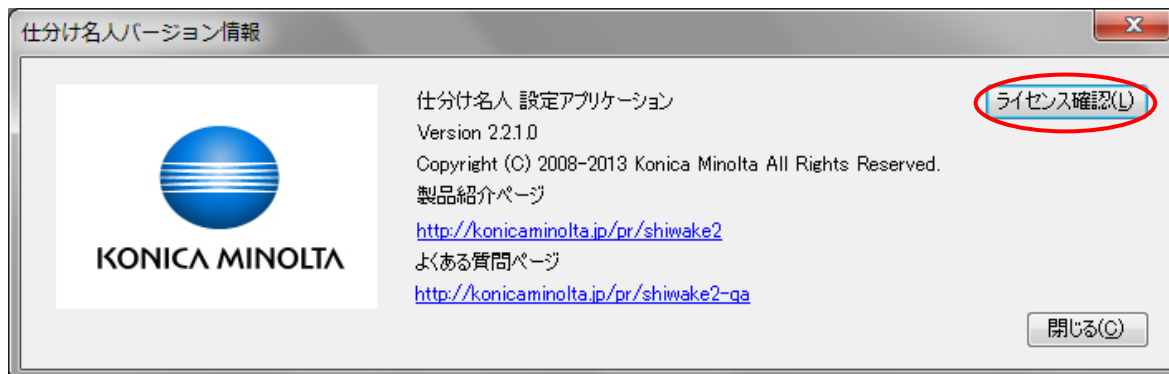
#### ご注意

ポート番号を変更する前に、複合機にアプリケーション登録済みでないかご確認ください。既に登録済みだった場合はパネル連携設定画面にてアプリケーション削除してください。

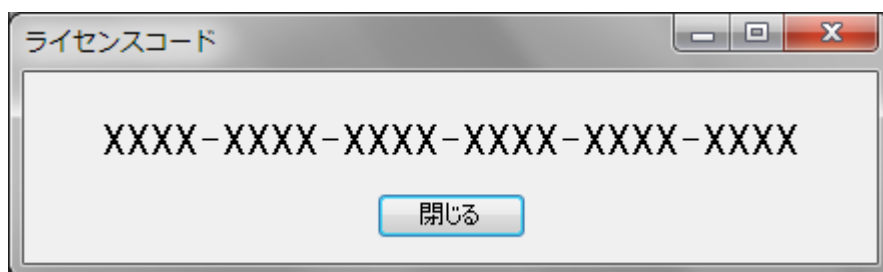
また、変更したポート番号は、「仕分け名人設定アプリケーション」、「仕分け名人サービス」の再起動後に有効になります。

## 11.6. 仕分け名人のライセンスコードを確認する

メイン画面の [バージョン情報] メニューにて、仕分け名人バージョン情報画面を表示します。



ライセンス認証済みの場合、右上に「ライセンス確認」ボタンがあるため、ボタンを押下します。



登録済みのライセンスコードが表示されます。



## 11.7. 仕分け名人サービスの起動に失敗する

仕分け名人サービスの起動に失敗する場合は下記の項目をご確認ください。

### ●設定データが不足している場合、下表のメッセージが表示されます

表示されるエラーメッセージ	対処方法
FTP サーバーのルートフォルダが存在しない為、サービス起動を中止します。	FTP サーバー設定画面の「ルートフォルダ」で設定されたフォルダが存在しません。存在するフォルダを再設定してください。
書類ボタンに仕分け先フォルダが設定されていません。	パネル連携設定画面の複合機設定情報一覧に設定されている複合機と関連付けられている「書類ボタン」に、仕分け先フォルダが設定されていません。書類ボタン設定画面にて「仕分け先名称」を設定してください。

### ●「仕分名人サービスの起動に失敗しました

XXXX で使用しているポート番号 (nn) は、他のアプリケーションで使用されています。他のアプリケーションを終了するか、ポート番号を変更してください。」メッセージが表示される

⇒ 仕分け名人アプリケーション (XXXX) で使用するポート番号 (nn) が別のアプリケーションで使用されていないかご確認ください。現在使用中のポート番号の確認方法は「3.2. 仕分け名人アプリケーションが使用するポート番号の確認」ご参照ください。ポート番号の変更方法は「11.5. 仕分け名人アプリケーションが使用するポート番号を変更する」をご参照ください。

### ●「仕分名人サービスの起動に失敗しました

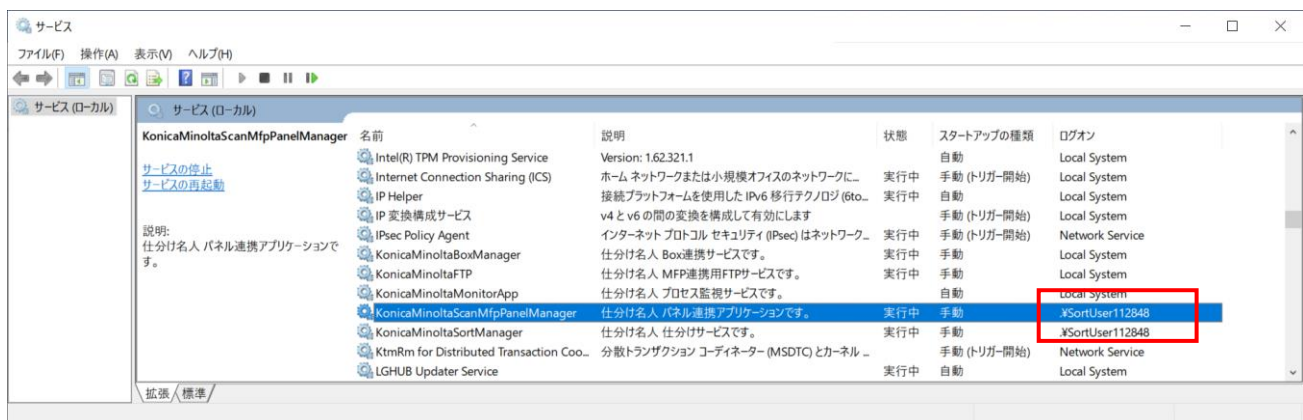
コンピュータ XXXX でサービス' KonicaMinoltaScanMfpPanelManager' を開始できません。」メッセージが表示される

#### ⑪ 仕分け名人サービスに設定されているアカウント情報が変更された

仕分け名人アプリケーションを「ネットワークフォルダを利用する」設定でインストールした場合、仕分け名人のサービス (KonicaMinoltaScanMfpPanelManager, KonicaMinoltaSortManager) にログオンアカウントが設定されます。このログオンアカウント情報が存在しないか、変更されている場合、仕分け名人サービスの起動で失敗します。下記の手順で正しく設定が行われているか確認してください。

[コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [管理ツール] → [サービス] より、「サービス」画面を開きます。

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)



ログオン欄に設定されている値を確認します。上図の場合「SortUser112848」が設定されています。このユーザーが以下の条件を全て満たすか、ご確認ください。

- ・ 管理者権限 (Administrators) が設定されていること
- ・ パスワードが設定されていること (パスワードが未設定のユーザーは設定できません)
- ・ インストールするコンピュータのローカルユーザーであること

管理者権限が設定されているかどうかの確認方法は、「11.6.1. 管理者権限を持つユーザーの確認」をご参照ください。

新しく仕分け名人サービスに設定するユーザーを作成する場合は、「11.6.2. 仕分け名人サービス用のユーザーを作成する」をご参照ください。

仕分け名人サービスのログオンアカウントを変更する場合は、「11.6.3. 仕分け名人サービスにログオンアカウントを設定する」をご参照ください。

### ⑫ 仕分け名人サービスが使用できない

仕分け名人サービスが削除されているか、無効になっている可能性があります。[コントロールパネル] -> [システムとセキュリティ] -> [管理ツール] -> [サービス] より、「サービス」画面を開き、下記3つの仕分け名人サービスが存在するか、「スタートアップの種類」が KonicaMinoltaFTP, KonicaMinoltaScanMfpPanelManager, KonicaMinoltaSortManager, KonicaMinoltaBoxManager は「手動」、KonicaMinoltaMonitorApp は「自動」になっていることをご確認ください。

- KonicaMinoltaFTP
- KonicaMinoltaScanMfpPanelManager
- KonicaMinoltaSortManager
- KonicaMinoltaBoxManager
- KonicaMinoltaMonitorApp

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

【仕分け名人サービスが削除されている場合】

インストールマニュアル (仕分けアプリケーション) 「2.3 プログラムの修復」をご参照の上、仕分け名人アプリケーションの修復を実行してください。

【スタートアップが無効の場合】

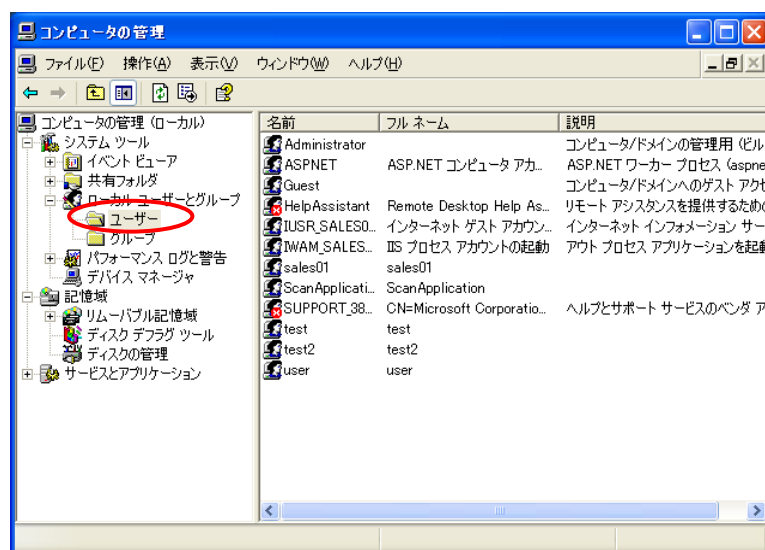
サービスのプロパティ画面を開き、スタートアップの種類にそれぞれ、KonicaMinoltaFTP, KonicaMinoltaScanMfpPanelManager, KonicaMinoltaSortManager, KonicaMinoltaBoxManager は「手動」、KonicaminoltaMoniorApp は「自動」を設定してください。

### 11.7.1. 管理者権限を持つユーザーの確認

ユーザーが管理者権限をもつかどうかは、以下の手順で確認してください。

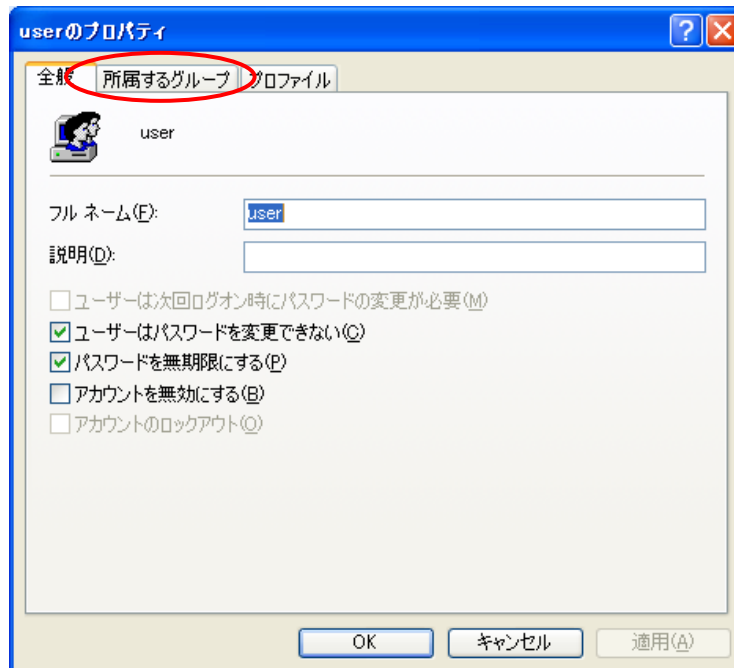
1. [コントロールパネル] -> [システムとセキュリティ] -> [管理ツール] -> [コンピュータの管理] より、「コンピュータの管理」画面を開きます。
2. [ローカルユーザーとグループ] -> [ユーザー] を選択します。

コンピュータに登録されているユーザーのユーザー名の一覧が表示されます。

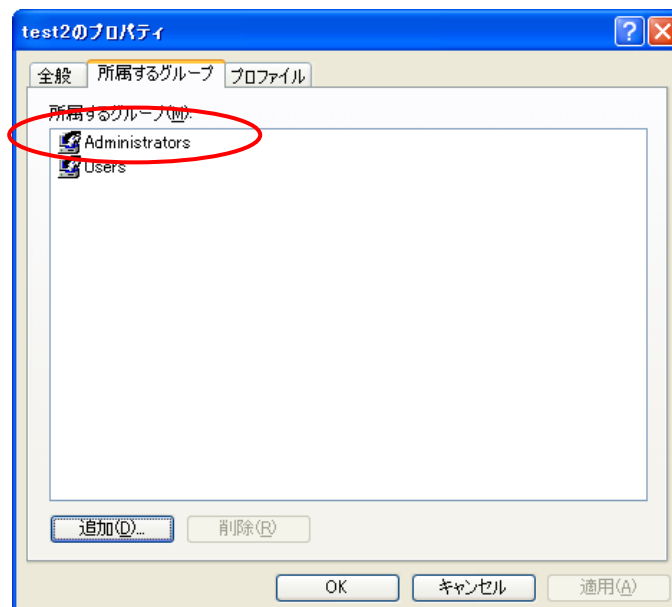


## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

3. ユーザー名をダブルクリックし、プロパティ画面を開きます。次に、プロパティ画面の「所属するグループ」タブをクリックします。



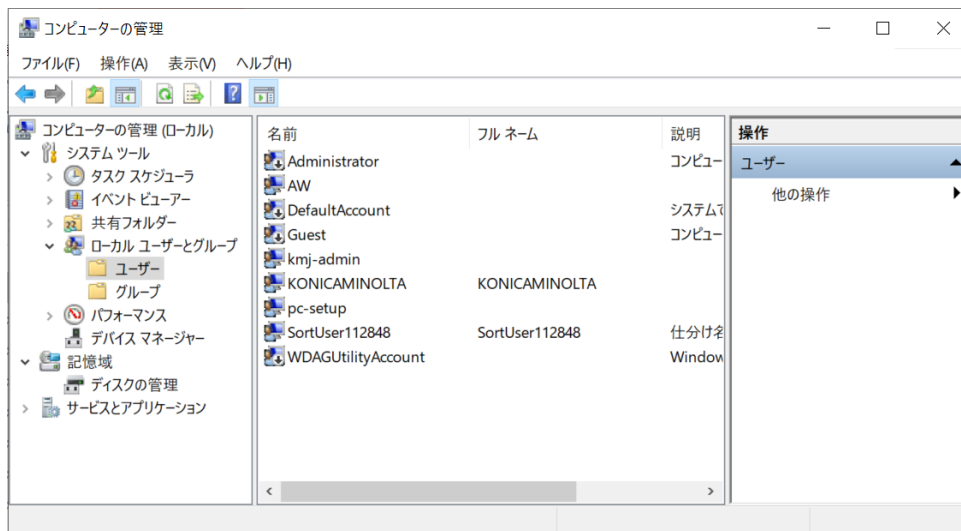
4. ユーザーが所属しているグループ名が表示されます。表示されているグループ内に、「Administrators」があれば、管理者権限を有するユーザーになります。



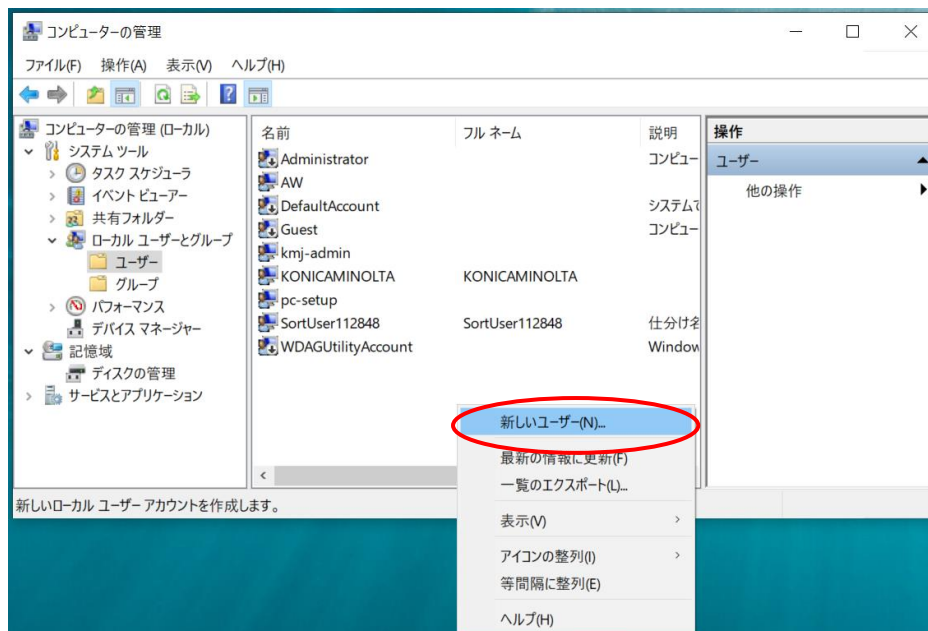
### 11.7.2. 仕分け名人サービス用のユーザーを作成する

仕分け名人サービスのログオンアカウントとして使用するユーザーを作成する手順は以下の通りです。

1. [コントロールパネル] -> [システムとセキュリティ] -> [管理ツール] -> [コンピュータの管理] より、「コンピュータの管理」画面を開き、[ローカルユーザーとグループ] -> [ユーザー] を選択します。



2. 次に、画面右側の空いたスペースで右クリックし、「新しいユーザー」を選択します。



## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

3. 「新しいユーザー」画面が表示されます。以下の項目を入力し「作成」ボタンをクリックします。

項目	入力内容	備考
ユーザー名	SortUser	任意のユーザー名を入力
フルネーム	(空欄)	
説明	仕分け名人アプリケーション用のユーザーです。	
パスワード	(任意の文字列)	空欄不可
パスワードの確認入力	(任意の文字列)	空欄不可
ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要	チェック OFF	
ユーザーはパスワードを変更できない	チェック OFF	
パスワードを無期限にする	チェック ON	
アカウントを無効にする	チェック OFF	

新しいユーザー

ユーザー名(U): SoftUser

フルネーム(F):

説明(D): 仕分け名人アプリケーション用のユーザーです。

パスワード(P): ●●●●●●●●

パスワードの確認入力(C): ●●●●●●●●

☐ ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要(M)

☐ ユーザーはパスワードを変更できない(S)

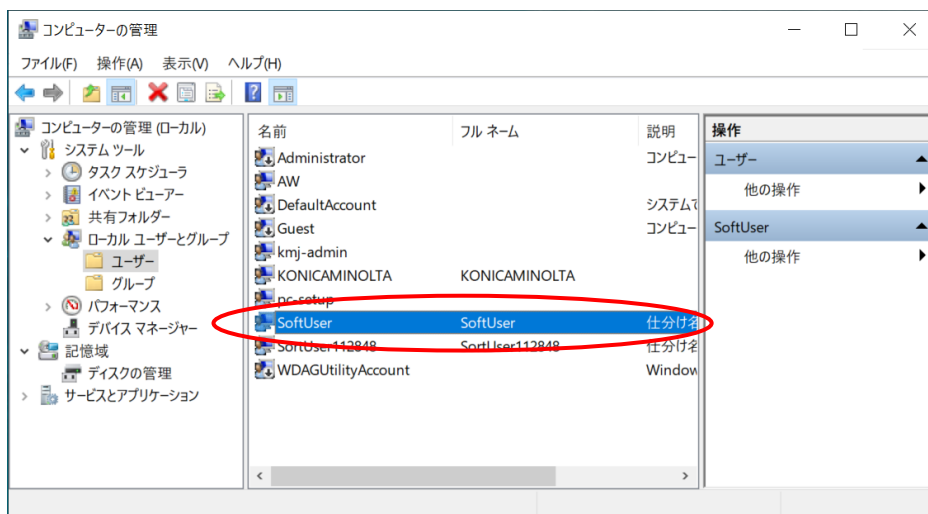
☐ パスワードを無期限にする(W)

☐ アカウントを無効にする(B)

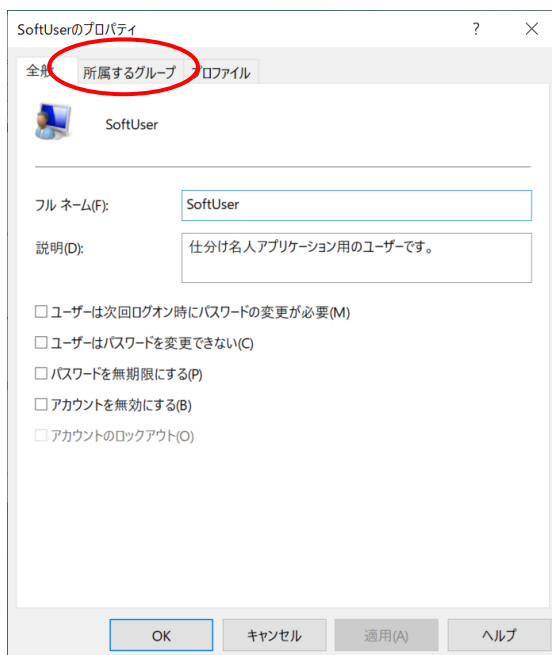
ヘルプ(H) 作成(E) 閉じる(O)

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

4. 「コンピュータの管理」画面に戻ります。追加したユーザーが表示されていることを確認し、追加したユーザーをダブルクリックします。

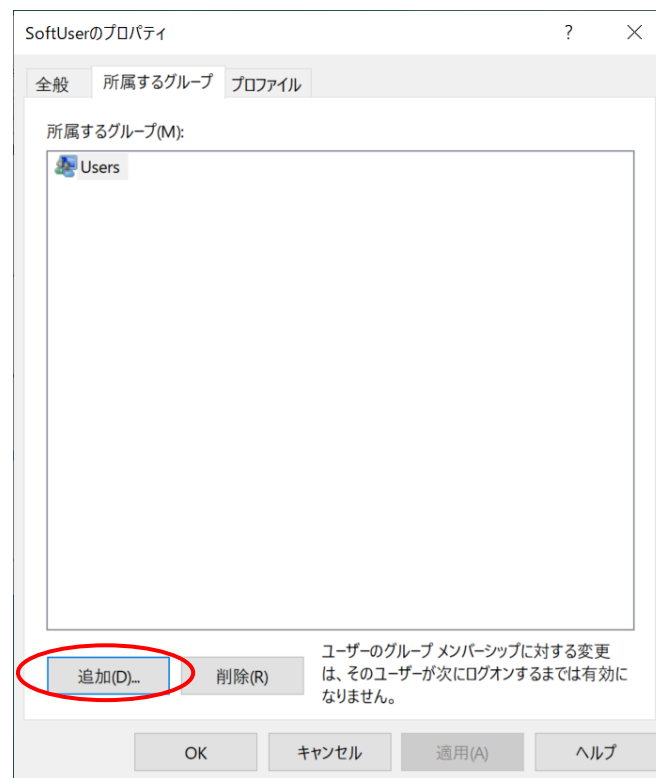


5. ユーザーのプロパティ画面が表示されます。「所属するグループ」をクリックします。

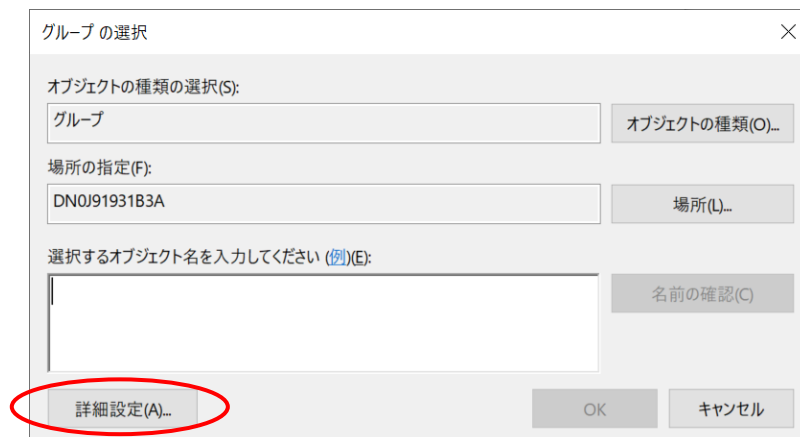


## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

6. 「追加」 ボタンをクリックします。



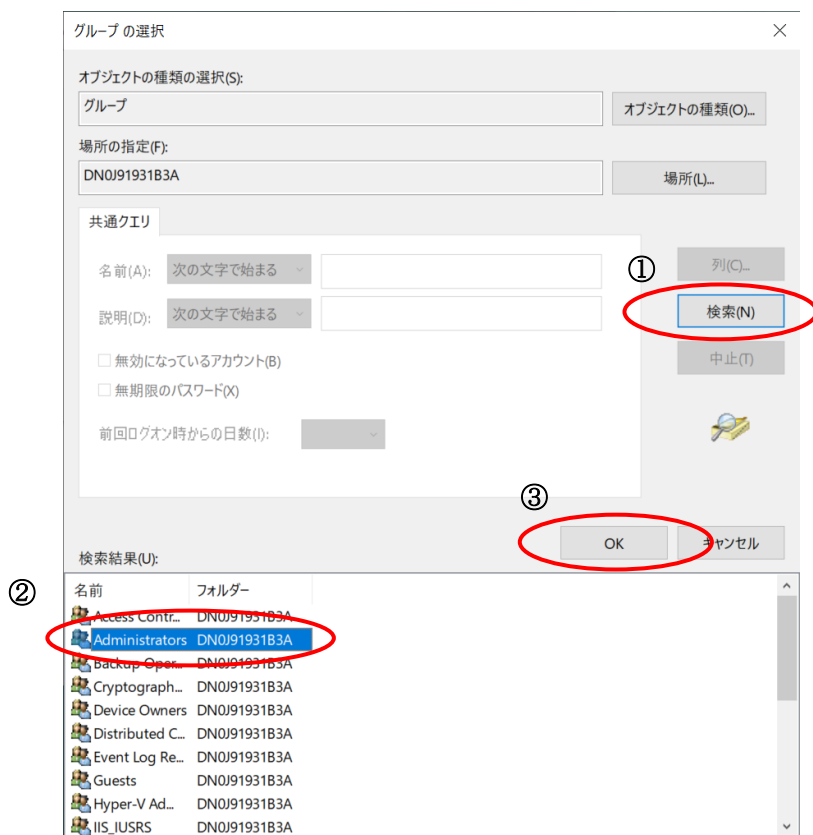
7. 「グループの選択」画面が表示されます。「詳細設定」ボタンをクリックします。



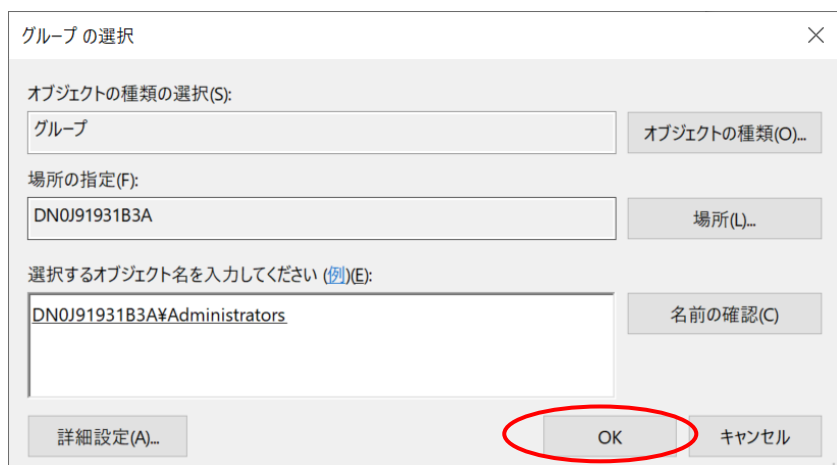


## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

8. 「検索」ボタンをクリックし、グループの一覧を表示します。次に、「Administrators」を選択し、最後に「OK」ボタンをクリックします。

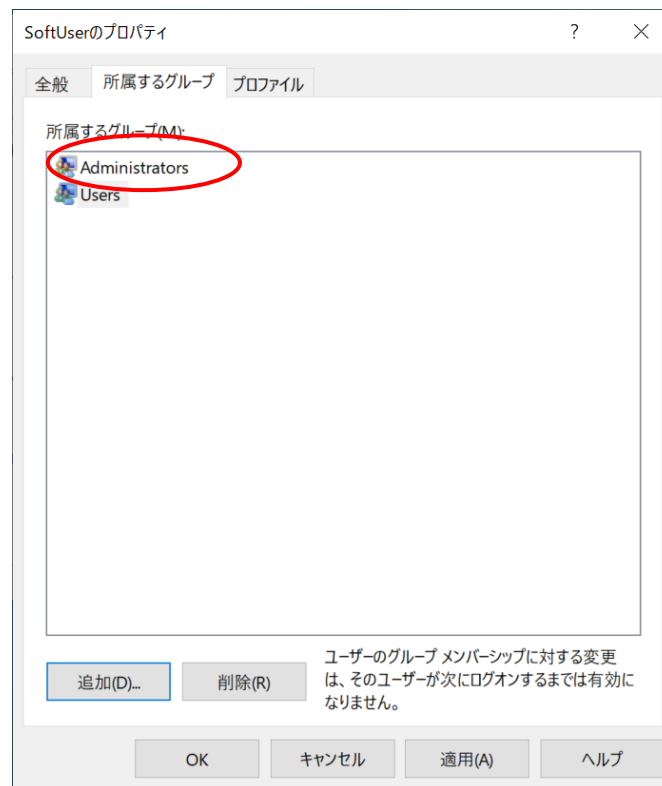


9. グループ名が入力された状態で「グループの選択」画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックし、画面を閉じます。



## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

10. 選択したユーザーのグループに、Administrators が付加されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。

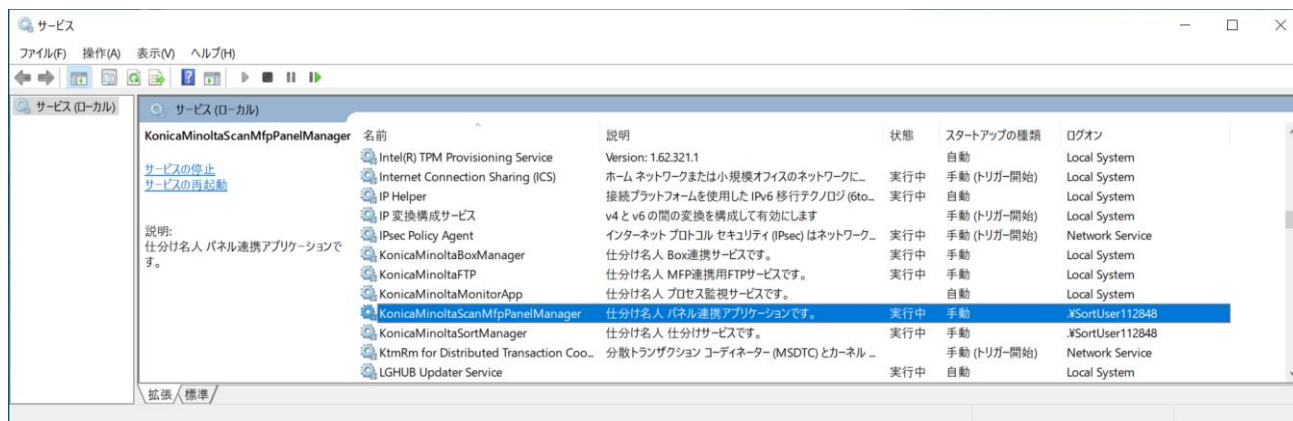


## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

### 11.7.3. 仕分け名人サービスにログオンアカウントを設定する

仕分け名人サービスにログオンアカウントを設定するには、以下の手順で設定してください。設定するユーザーは管理者権限を持ち、パスワードが設定されている必要があります。

1. [コントロールパネル] -> [システムとセキュリティ] -> [管理ツール] -> [サービス] より、「サービス」画面を開きます。

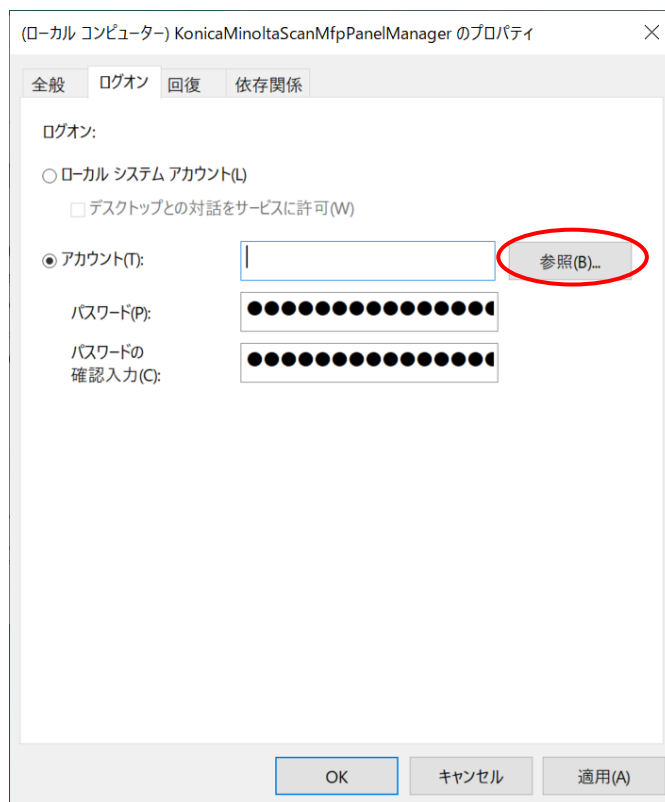


2. 「KonicaMinoltaScanMfpPanelManager」をダブルクリックし、「プロパティ」画面を開き、「ログオン」タブをクリックします。

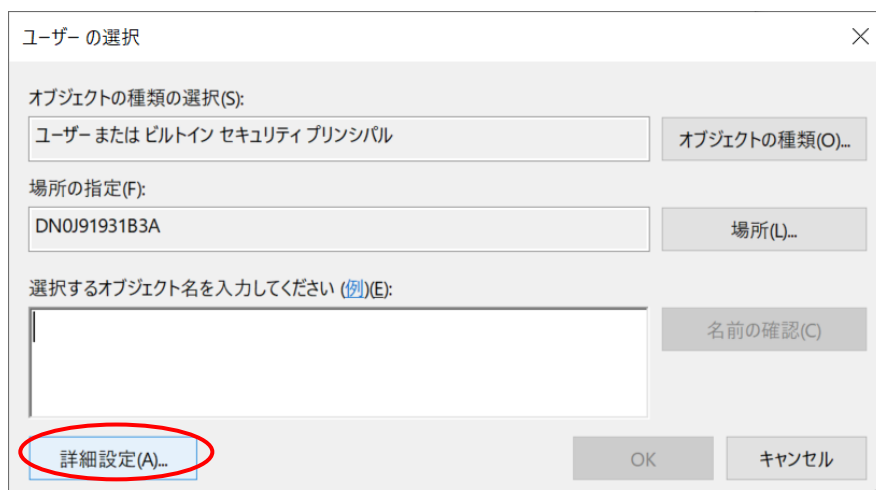


## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

3. 「アカウント」のラジオボタンをクリックした後、「参照」ボタンをクリックし、「ユーザーの選択画面」を開きます。



4. 「詳細設定」ボタンをクリックし、「ユーザーの選択画面」を開きます。



## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

5. 「検索」ボタンをクリックし、ユーザーの一覧を表示します。次に、管理者権限を持ち、パスワードが設定されているユーザーを選択し、最後に「OK」ボタンをクリックします。

ユーザーの選択

オブジェクトの種類を選択(S):  
ユーザーまたはビルトインセキュリティプリンシパル

場所の指定(F):  
DN0J91931B3A

共通クエリ

名前(A): 次の文字で始まる

説明(D): 次の文字で始まる

☐ 無効になっているアカウント(B)

☐ 無期限のパスワード(X)

前回ログイン時からの日数(I):

列(C)...

① 検索(N)

中止(T)

③ OK

キャンセル

②

名前	フォルダー
Guest	DN0J91931B3A
kmj-admin	DN0J91931B3A
KONICAMIN...	DN0J91931B3A
LOCAL SERV...	
NETWORK S...	
pc-setup	DN0J91931B3A
② SoftUser	DN0J91931B3A
SoftUser.4128	DN0J91931B3A
WDAGUtility...	DN0J91931B3A

6. ユーザー名が入力された状態で「ユーザーの選択」画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックし、画面を閉じます。

ユーザーの選択

オブジェクトの種類を選択(S):  
ユーザーまたはビルトインセキュリティプリンシパル

場所の指定(F):  
DN0J91931B3A

選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E):  
DN0J91931B3A¥SoftUser

名前確認(C)

詳細設定(A)...

③ OK

キャンセル

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

7. アカウント欄が入力された状態で、「プロパティ」画面に戻ります。「パスワード」欄も入力された状態になりますが、一度削除し、選択したアカウントのパスワードを再度入力してください。

入力後、「OK」ボタンをクリックします。



(ローカル コンピューター) KonicaMinoltaScanMfpPanelManager のプロパティ

全般 ログオン 回復 依存関係

ログオン:

☐ ローカル システム アカウント(L)

☐ デスクトップとの対話をサービスに許可(W)

☒ アカウント(T): .¥SoftUser 参照(B)...

パスワード(P):

パスワードの確認入力(C):

OK キャンセル 適用(A)



選択したアカウントが、現在まで一度もサービスのログオンアカウントとして設定されていない場合、下記のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックして画面を閉じてください。



サービス

!

アカウント .¥SoftUser にサービスとしてログオンする権利が与えられました。

OK

## 仕分け名人 V2 クイックガイド (FAX 連携版)

8. 続いて「KonicaMinoltaSortManager」を選択し、同様の操作(手順 1-7)を行います。

以上の操作で、仕分け名人サービスにアカウントが設定され、ネットワークフォルダーにアクセスできるようになります。

こちらに記載されていないメッセージや事象につきましてはユーザーズマニュアルをご確認ください。  
また下記Webサイトにございますよくあるご質問ページにも最新情報を発信しておりますのでご確認をお願いします。

WebサイトURL : <http://Konicaminolta.jp/pr/shiwake2-qa>

ご確認いただき、ご対応方法がご不明な場合は、サービス実施店までお問い合わせください（お問い合わせは、「製品版」をご利用の場合のみとさせていただきます）。



製造・国内総販売元

コニカミノルタジャパン株式会社

〒105-0023 東京都港区芝浦 1-1-1 浜松町ビルディング